FS-C5400DN

使用説明書

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。お読みになった後は、本製品の近くに大切に保管してください。

はじめに

FS-C5400DN をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この使用説明書は、本機を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法・日常の手入れおよび簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

目次

安全に正しくお使いいただくために

本機をご使用になる前に、まず最初にお読みください。ここでは次の内容を説明しています。

法律上のご注意

本資料の全部又は一部を無断で複写複製（コピー）することは著作権法上での例外を除き、禁じられています。

本製品の省エネ制御機能について

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に機器を使用してから一定時間経過すると自動的に消費電力を最小にする「スリープ」に移行する省エネ制御機能を備えています。

「スリープ」

最後に使用してから 45 分を経過しますと自動的に「スリープ」に移行します。なお「スリープ」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは、4-69 ページの**「タイマー設定」（タイマーの設定）**を参照してください。

自動両面印刷機能について

本製品は、標準で用紙の両面に印刷できる機能を備えています。例えば、片面原稿 2 ページを 1 枚の用紙に両面印刷することで、紙の使用量を軽減できます。詳しくは、4-45 ページの**「両面」（両面印刷の設定）**を参照してください。

再生紙

本製品は、環境への負荷の少ない再生紙を使用できます。推奨紙などは京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口へご相談ください。

国際エネルギースター（ENERGY STAR®）プログラム

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

注意ラベルについて

本製品には、下記に示す位置に安全に関する注意ラベルを貼っています。紙づまり処置時に、火傷などの事故のないようご注意ください。

レーザー光に関する警告（本体内部）

DANGER ・CLASS 3B LASER RADIATION WHEN OPEN.
AVOID DIRECT EXPOSURE TO BEAM.
ATTENTION ・CLASE 3B RAYONNEMENT LASER EN CAS D'OUVERTURE.
EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU.
VORSICHT ・KLASSE 3B LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET.
NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
ATTENZIONE ・CLASSE 3B RADIAZIONE LASER IN CASO DI APERTURA.
EVITARE L'ESPOSIZIONE AL FASCIO.
PRECAUCION ・CLASSE 3B RADIACIONE LASER CUANDO SE ABRE.
EVITAR EXPONERSE AL RAYO.
VARO! ・AVATTAESSA OLET ALTTIINA LUOKAN 3B LASERSÄTEILYLLE.
ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.
警告 ・该产品为3B类激光产品，打开盖子后会有激光辐射，请避免光束照射。
警告 ・該產品爲3B類激光產品，打開蓋子後會有激光輻射，請避免光束照射。
위험 ・CLASS 3B 가시 레이저광선을 직접 보지마십시오.
警告 ・ここを開くとクラス3Bレーザー光がでます。
ビームを直接見たり、触れないでください。

高温注意

この部分は高温になっています。火傷のおそれがありますので、触れないようにしてください。

定格ラベル

一般的な注意と定格値を表示しています。

お願い：これらのラベルははがさないようにしてください。

本書中の注意表示について

この使用説明書及び本製品への表示では、本製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

警告：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

「注意一般」、「感電注意」、「高温注意」

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

「禁止一般」、「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

「強制一般」、「電源プラグをコンセントから抜け」、

「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本書の注意・警告事項が判読できない場合や、本書を紛失した場合には、弊社製品取り扱い店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。（有償）

使用説明書の内容は、機械性能改善のために、予告なく変更する場合がありますので御了承ください。

機械を設置する時のご注意

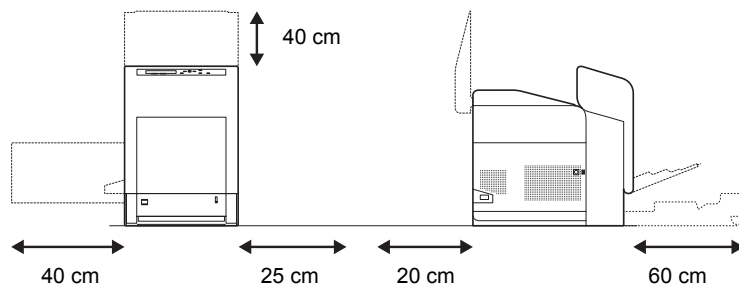
設置環境について

注意

本製品をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

本製品を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。万一電源プラグにほこりやゴミなどが付着している場合は取り除いてください。火災、感電の原因となることがあります。

本製品をストーブなどの熱源や可燃物が近くにある場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。

本製品の冷却効果を保つため、機械の周辺は下記のスペースを確保してください。壁などに近づけないでください。充分なスペースがないと冷却されず、発熱や性能不良の原因となります。

その他の注意事項

本製品は設置する場所によっては外気条件が加わって、性能が維持できなくなる場合がありますので、常温常湿の室内（室温 23 ℃、湿度 60 %RH が適当）に設置し、下記のような場所は避けてください。

- 窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
- 振動の多い場所
- 急激に温度や湿度が変化する場所
- 冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
- 通気性、換気性の悪い場所

使用中はオゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や大量に印刷をする場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには部屋の換気をすることをお勧めいたします。

設置電源・アースについて

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災、感電の原因となります。

必ずアース線をアース対象物に接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご相談ください。電話番号は最終ページをご覧ください。

その他の注意事項

電源プラグは製品の近くの容易に接続できるコンセントにつないでください。

ビニールの取り扱いについて

本製品に使っている包装用のビニールを子供に触れさせないでください。ビニールが鼻や口に吸着すると、窒息するおそれがあります。

取り扱い上のご注意

機械の取り扱いについて

本製品の上に花瓶、植木鉢、コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。

本製品のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。

本製品の改造や分解は絶対に行わないでください。火災、感電のおそれがあります。

万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご連絡ください。電話番号は最終ページをご覧ください。

万一、異物（金属片、水、液体）が本製品の内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご連絡ください。電話番号は最終ページをご覧ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

内部の点検・修理は京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へ依頼してください。電話番号は最終ページをご覧ください。

注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。（必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください）

本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、電源を切ってください。また連休等で長期間、本製品を使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品を持ち上げたり、動かす場合は、所定の箇所を持つようにしてください。

本製品の清掃を行うときには安全上、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品内部の清掃については京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご相談ください。本製品の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部清掃費用については京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご相談ください。電話番号は最終ページをご覧ください。

その他の注意事項

本製品の上には重いものをのせたり、衝撃を与えたりしないでください。

印刷中には次のことをしないでください。

- カバー類を開ける。
- 電源を切る。
- 電源コードを抜く。

コネクタ、プリント基板等の電気部品に触らないでください。静電気により破損する可能性があります。

本書に記載されていないことは行わないでください。

消耗品の取り扱いについて

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、子供の手に触れる事のない様に保管してください。

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスより、トナーが漏れた場合には、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れない様にしてください。

- トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気の場所に移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るようであれば医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ 1、2 杯の水を飲んで胃を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合は、直ちに流水で良く洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水で良く洗い流してください。

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、無理に開けたり、壊したりしないでください。

その他の注意事項

京セラミタでは環境問題を考慮し、使用済みトナーコンテナの無償回収を実施しています。詳しくは、トナーキットに同梱されている「トナーコンテナ引き取り回収依頼書」または、京セラミタ株式会社のホームページを参照してください。
http://www.kyoceramita.co.jp/support/

トナーコンテナは、直射日光の当たる場所や、急激な温度・湿度の変化がある場所を避けて、40 ℃以下で保管してください。

本製品を長時間使わない場合は、用紙をカセットから取り出し、元の包装紙に戻して密封してください。

補修用性能部品について

弊社の保守サービスのために必要な補修用および消耗品の最低保有期間は、販売終了後 5 年間です。

ご注意

本機を使用した結果の影響については、本書の内容にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

JIS C 61000-3-2 適合品。

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

本プリンタは仕様の範囲内でご使用ください。保守契約を結ばれることをおすすめします。

商標について

- プリスクライブ、PRESCRIBE、エコシスおよび ECOSYS は、京セラ株式会社の登録商標です。
  KPDL は京セラ株式会社の商標です。
- 3M は、3M 社の商標です。
- Power PC は IBM 社の米国、その他の国における商標です。
- コンパクトフラッシュはサンディスク社の登録商標です。
- PCL は米国ヒューレット・パッカード社の登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Windows NT は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- TrueType は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScript は Adobe Systems, Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- 本製品はウインドリバーシステムズ社のリアルタイム OS 統合環境 Tornado™ を用いて開発されました。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

フォントの商標について

- 本プリンタに搭載されている欧文フォントは、すべて Monotype Imaging Inc. からのライセンスを受けています。
- 本製品は Monotype Imaging Inc. からの UFST™ MicroType® のフォントを搭載しています。
- Times は Linotype-Hell AG の登録商標です。
- DFHSGOTHIC-W5 と DFHSMINCHO-W3 は平成書体です。これらの書体は（財）日本規格協会と京セラミタ株式会社がフォント使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。
- 平成書体は財団法人日本規格協会を中心に製作グループが共同開発したものです。許可なく複製する事はできません。
- TypeBankG-B、TypeBankM-M および TypeBank-OCR はタイプバンク ® の商標です。

Monotype Imaging ライセンス契約

1. 「本件ソフトウェア」とは、特殊なフォーマットで符号化された、デジタル符号の機械読取可能なスケーラブル・アウトライン・データならびに UFST ソフトウェアを意味するものとします。
2. お客様は、お客様自身の通常の業務目的または個人的な目的で、アルファベット、数字、文字および記号（「タイプフェース」）のウェート、スタイルおよびバージョンを複製および表示するために本件ソフトウェアを使用する非独占的ライセンスを受諾することに同意します。Monotype Imaging は、本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するすべての権利、権原および利権を留保します。本契約において明示的に規定した条件に基づき本件ソフトウェアを使用するライセンス以外には、いかなる権利もお客様に許諾されません。
3. Monotype Imaging の財産権を保護するため、お客様は本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するその他の財産的情報を極秘に保持すること、また、本件ソフトウェアおよびタイプフェースへのアクセスとその使用に関する合理的な手続きを定めることに同意します。
4. お客様は本件ソフトウェアまたはタイプフェースを複製またはコピーしないことに同意します。
5. このライセンスは、早期終了しない限り、本件ソフトウェアおよびタイプフェースを使用し終わるまで存続するものとします。お客様が本契約ライセンスの条件の遵守を怠り、当該不履行が Monotype Imaging からの通知後 30 日以内に是正されなかったときは、Monotype Imaging は本ライセンス契約を解除することができます。本ライセンス契約が満了するか、または解除された時点で、お客様は要求に応じて本件ソフトウェアとタイプフェースの複製物ならびに文書をすべて Monotype Imaging に返却するか、または破棄するものとします。
6. お客様は、本件ソフトウェアの変更、改変、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングまたは逆コンパイルを行わないことに同意します。
7. Monotype Imaging は、引渡し後 90 日間について、本件ソフトウェアが Monotype Imaging の発表した仕様に従って作動すること、欠陥がないことを保証します。Monotype Imaging は、本件ソフトウェアにバグ、エラーおよび脱落が一切ない旨の保証を行いません。

8. 当事者は、特定目的適合性および商品性の保証を含む明示または黙示の他のすべての保証が排除されることに合意します。
9. 本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するお客様の排他的救済手段および Monotype Imaging の唯一の責任は、欠陥のある部品を Monotype Imaging に返却した時点で修理または交換することです。
10. いかなる場合も Monotype Imaging は、本件ソフトウェアおよびタイプフェースの誤用または不正使用により引き起こされた喪失利益、喪失データ、またはその他の付随的損害、派生的損害その他の損害について責任を負いません。
11. 本契約はアメリカ合衆国マサチューセッツ州の法律に準拠します。
12. お客様は、Monotype Imaging の事前の書面による同意がない限り、本件ソフトウェアおよび / またはタイプフェースの再使用許諾、販売、リースまたはその他の方法による譲渡を行ってはなりません。
13. 政府による使用、複製または開示は、FAR252-227-7013「技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する権利」の（b）（3）（ii）項または（c）（1）（ii）項に定められた制限を受けます。さらに、使用、複製または開示は、FAR52. 227-19（c）（2）項に定められたソフトウェアの限定的権利に適用される制限を受けます。
14. お客様は、本契約を自ら読了し、了解したことを認め、また本契約の諸条件により拘束されることに同意します。いずれの当事者も、本契約に記載されていない言明または表明により拘束されないものとします。本契約の変更は、各当事者の正当な権限を有する代表者が署名した書面による場合を除き、効力は一切ありません。

OpenSSL ライセンス

以下は英語の原文です。

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)”
4. The names “OpenSSL Toolkit” and “OpenSSL Project” must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission.For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called “OpenSSL” nor may “OpenSSL” appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT “AS IS” AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

オリジナル SSLeay ライセンス

以下は英語の原文です。

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: “This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)” The word ‘cryptographic’ can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: “This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

本機の特長

本機は次の特長を備えています。

概要

高速印刷

A4 でカラー / モノクロともに、FS-C5400DN は 1 分間に 35 枚の印刷が可能です。
（実際の印刷時間は、印刷の内容によって変わります）

階調モードによる高品位のカラー印刷

1 ピクセル当たりの階調が 4 bpp の高画質モードで印刷できます。

多彩な用紙種類に印刷可能

普通紙はもちろん、OHP フィルムやラベル用紙、その他の特殊用紙にも印刷できます。

オートスリープ

一定の時間内に操作やデータの受信が行われなかった場合、消費電力を抑えるオートスリープを搭載しています。

ハードウェア

USB（Universal Serial Bus）インタフェース

Hi-Speed USB に準拠した USB インタフェースを装備しています。480 Mbps の最大通信速度で、高速データ転送を行います。

USB メモリスロット

USB メモリをプリンタに装着できます。メモリ内の文書ファイル（PDF、TIFF、JPEG、XPS）を、操作パネルから選択して読み込めます。

オプションインタフェーススロット

拡張スロットを装備し、ハードディスクをプリンタに追加できます。ハードディスクにオプションフォント、マクロ、フォームなどを保存できます。

大容量給紙カセット

給紙カセットには約 500 枚の用紙を収納できます。また手差しトレイには約 150 枚の用紙を収納できます。

ソフトウェア

Job Box 機能

Job Box は、ジョブリテンション機能を実現します。

用紙の自動選択（メディアタイプセレクション）機能

印刷する用紙の種類（普通紙、OHP フィルム、ラベル用紙など）を、あらかじめ各給紙元に設定しておくことで、印刷時に指定した用紙の種類を自動的に選択して印刷できます。

プリスクライブコマンド

グラフィック機能がより強化されたページプリンタ制御言語プリスクライブコマンドを内蔵しています。マージン設定や文字間隔、行間隔の変更、アウトラインフォント、図形に対しての回転、塗りつぶしなどを簡単なコマンドで実現します。

PDF ダイレクトプリント機能（KM-NET for Direct Printing）

Adobe Acrobat/Adobe Reader などのアプリケーションを起動しなくても、PDF（Portable Document Format）ファイルを直接印刷できます。

部門管理機能

本機には、部門管理機能が搭載されています。この機能は、部門ごとの印刷ページ数を記録したり、印刷できるページ数を部門ごとにプリンタに設定できる機能で、操作パネルから行えます。詳しくは、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

ネットワーク機能

ネットワークインタフェース

TCP/IP、NetWare、AppleTalk、IPP、SSL サーバ、IPSec プロトコルとセキュリティレベルをサポートしていますので、Windows、Macintosh、UNIX、NetWare などさまざまな環境下で、ネットワーク印刷が可能になります。

本機は SNMP と互換性があり、ホスト PC との各種情報のやり取りが可能です。

使用説明書について

本書は次の章で構成されています。

1　各部の名称

本体各部の名称と操作パネルのキー名称・インジケータ名称を説明しています。

2　使用前の準備

ネットワークで使用する場合に必要な設定、ドライバのインストールについて説明しています。

3　用紙について

本機で使用できる用紙の種類、サイズ、適正な用紙を選定するためのガイドラインを説明しています。

4　操作パネル

本機の操作パネルを使った操作・設定について説明しています。

5　日常のメンテナンス

用紙の補給、トナーコンテナの交換方法、本機の清掃について説明しています。

6　困ったときは

エラーが表示されたときや紙づまりなど、トラブルが発生したときの対処方法を説明しています。

付録

本機に内蔵されたフォントの一覧、本機のインタフェース、環境設定コマンド、オプション品、本機仕様を説明しています。

付属マニュアルの紹介

本機には、次のマニュアルがあります。必要に応じて参照してください。

使用説明書（本書）

本機の機能の詳細、操作パネルを使った各種の設定・操作、用紙の補給方法、各種のトラブルの対処方法について説明しています。

インストールガイド

本機の設置手順を説明しています。

日常のお手入れ

用紙の補給、お手入れ、印刷中に表示されるエラーメッセージと紙づまりへの対処のしかたなどを説明しています。

プリスクライブコマンド・リファレンスマニュアル（CD-ROM 収録）

本機の制御言語であるプリスクライブコマンドを使用して、印刷を行うためのプログラミング方法や、各コマンドについて説明しています。

プリスクライブコマンド・テクニカルリファレンス（CD-ROM 収録）

本機の制御言語であるプリスクライブコマンドの各種機能や制御を、エミュレーションごとに体系的に説明しています。

KX プリンタドライバ操作手順書（CD-ROM 収録）

KX プリンタドライバの操作方法について説明しています。

KM-NET for Direct Printing 操作手順書（CD-ROM 収録）

Adobe Acrobat/Adobe Reader を起動せずに、PDF ファイルを印刷する方法について説明しています。

京セラ COMMAND CENTER 操作手順書（CD-ROM 収録）

Web ブラウザを介して、PC 上からプリンタの状態を確認したり、設定を変更したりする方法について説明しています。

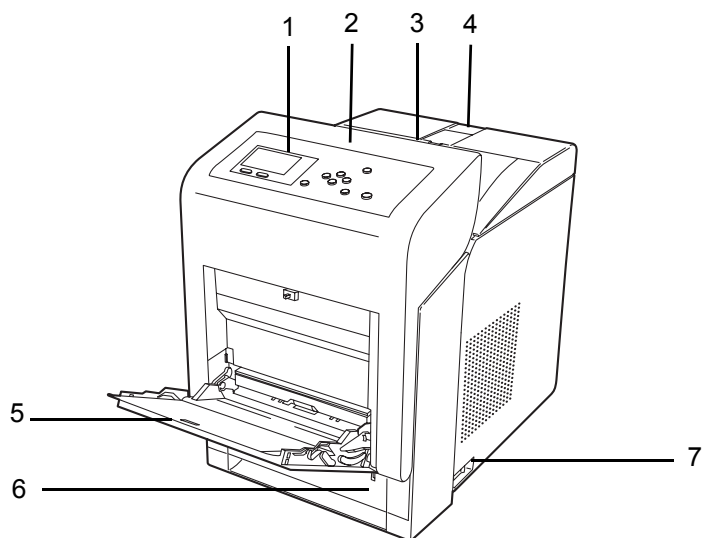
本書の読みかた

本書中では説明の内容によって、次のように表記しています。

表記	説明	表記例
［太字］	操作パネル上のキーとインジケータを示します。	**［メニュー］**キーを押してください。
「太字」	メッセージディスプレイに表示されるメッセージを示します。	**「待機中です。」**が表示されます。
太字	製品の名称、ソフトウェアの操作画面上に表示するボタンなどの名称を示します。	**KX プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。 **OK** をクリックしてください。
参考	補足説明や操作の参考となる情報です。	**参考**：トナーコンテナの交換は、プリンタの電源を入れたまま行えます。
重要	トラブルを防止するために、必ず守っていただきたい事項や禁止事項です。	**重要**：つまった用紙を取り除く際は、プリンタ内に紙片を残さないようご注意ください。
注意	けがや機械の故障を防ぐために、守っていただきたい事項、およびその対処方法です。	**注意**：定着カバーの内部は高温になっています。やけどのおそれがありますのでご注意ください。

1　各部の名称

この章では、本体の各部と操作パネルの名称を説明します。

プリンタ前面

1　操作パネル

2　前カバー

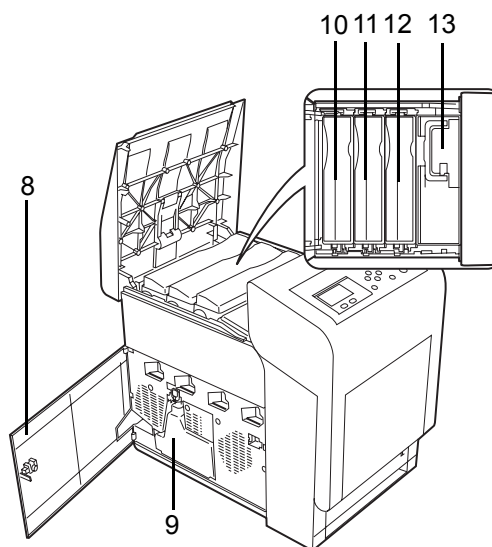
3　上トレイ（上カバー）

4　排紙ストッパ

5　手差しトレイ

6　給紙カセット

7　電源スイッチ

プリンタ側面

8　左カバー

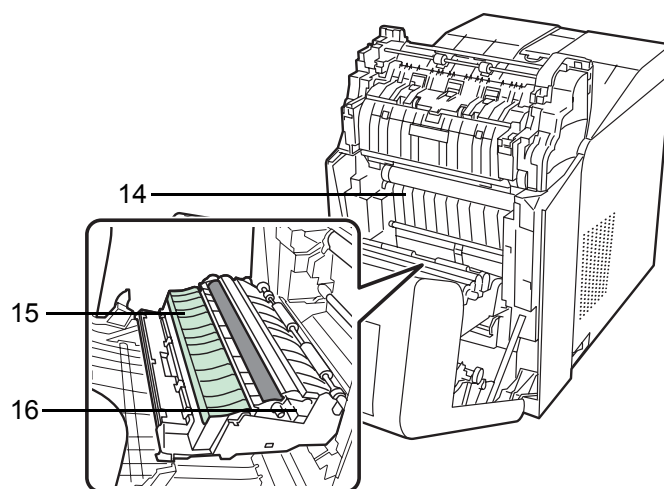
9　廃棄トナーボックス

10　マゼンタ（M）のトナーコンテナ

11　シアン（C）のトナーコンテナ

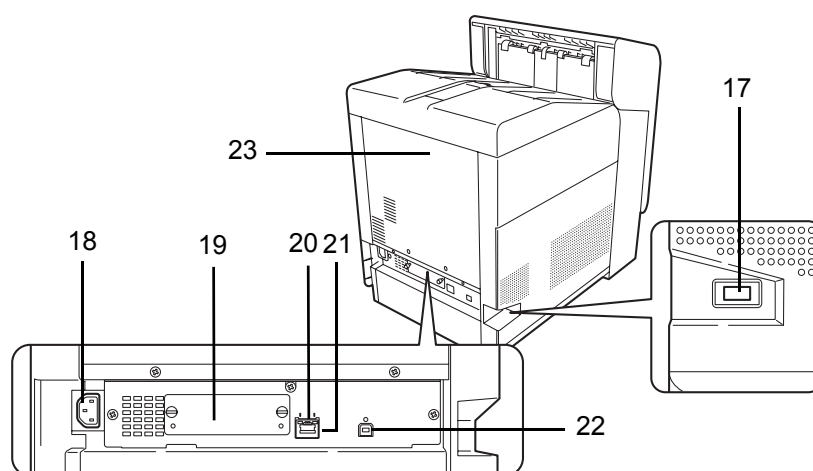
12　イエロー（Y）のトナーコンテナ

13　ブラック（K）のトナーコンテナ

プリンタ内部

14 搬送ユニット

15 ペーパーランプ

16 両面ユニット

プリンタ背面 / 側面

17 USB メモリスロット

18 電源コードコネクタ

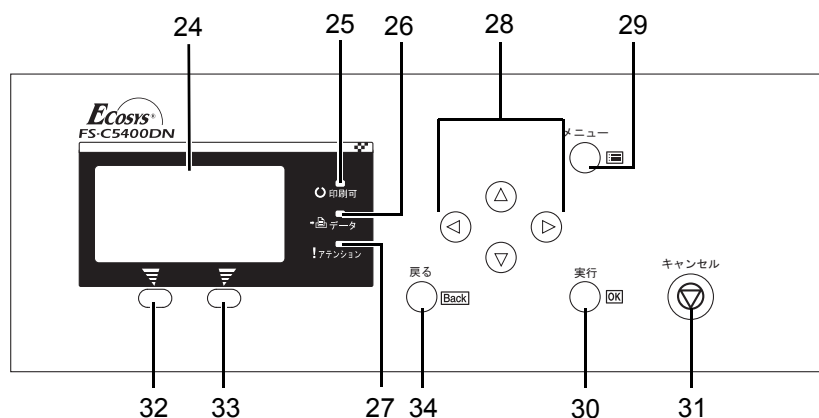
19 オプションインタフェーススロット

20 ネットワークインジケータ

21 ネットワークインタフェースコネクタ

22 USB インタフェースコネクタ

23 後カバー

操作パネル

24 メッセージディスプレイ
25 ［印刷可］インジケータ
26 ［データ］インジケータ
27 ［アテンション］インジケータ
28 矢印キー
29 ［メニュー］キー
30 ［OK］キー
31 ［キャンセル］キー
32 ［Left Select］キー
33 ［Right Select］キー
34 ［Back］キー

2　使用前の準備

この章では、本機をネットワークで使用する前に必要な設定と、プリンタドライバのインストールについて説明します。

ネットワークの設定

本機は TCP/IP、TCP/IP（IPv6）および NetWare、AppleTalk、IPP、SSL サーバ、IPSec プロトコルとセキュリティレベルに対応しております。

設定が必要な項目は下表の通りです。

ご使用の PC、ネットワーク環境に合わせて、本機のネットワーク条件を設定してください。

詳しい設定方法は、 **4 操作パネル**の該当ページを参照してください。

メニュー	サブメニュー			設定
ネットワーク	TCP/IP 設定	TCP/IP		設定する / 設定しない
		IPv4 設定	DHCP	設定する / 設定しない
			IP アドレス	IP アドレス
			サブネットマスク	IP アドレス
			デフォルトゲートウェイ	IP アドレス
			Bonjour	設定する / 設定しない
		IPv6 設定	TCP/IP(IPv6)	設定する / 設定しない
			RA(Sateless)	設定する / 設定しない
			DHCPv6	設定する / 設定しない
セキュリティ	ネットワークセキュリティ	Netware		Off/On フレームタイプ
		AppleTalk		設定する / 設定しない
		IPP		設定する / 設定しない
		SSL 設定	SSL	設定する / 設定しない
			IPP over SSL	設定する / 設定しない
			HTTPS	設定する / 設定しない
		IPSec		設定する / 設定しない

ステータスページの印刷

ネットワークの設定後、ステータスページを印刷してください。ステータスページでは、ネットワークアドレス、ネットワークプロトコル等の情報を確認できます。

ステータスページは、「ﾚﾎﾟｰﾄ印刷」（レポート印刷）メニューから「ｽﾃｰﾀｽﾍﾟｰｼﾞ」を選択します。

詳しい設定方法は、4-10 ページの「ステータスページ」（ステータスページの印刷）の項を参照してください。

プリンタドライバのインストール

インストールガイドに従って本機に PC と電源を接続し、プリンタドライバをインストールします。プリンタドライバは、アプリケーションで作成したデータを印刷するために必要です。プリンタドライバの詳細は、CD-ROM 収録の **KX プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。

Windows PC へのインストール

本機を Windows PC に接続して使用する場合は、次の手順でプリンタドライバをインストールします。ここでは、Windows Vista にインストールをする例で説明します。

参考：Windows Vista、Windows XP および Windows 2000 にインストールする場合、管理者権限でログオンする必要があります。

インストール方法は、**高速モード**と**カスタムモード**の 2 種類があります。**高速モード**は、接続されたプリンタを自動的に検出し、必要なソフトウェアをインストールします。**カスタムモード**は、プリンタポートの指定やインストールするソフトウェアを選択する場合に使用します。

1 PC の電源を入れ、Windows を起動します。

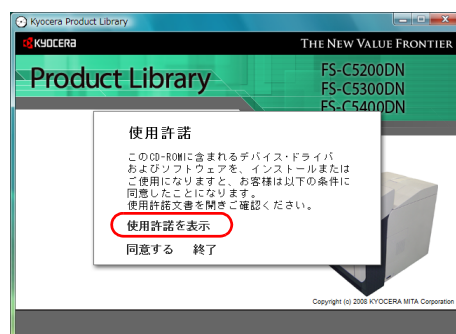
新しいハードウェアの検索ウィザードが表示された場合、**キャンセル**をクリックします。

2 付属の CD-ROM（Product Library）を、PC の光学ドライブにセットします。Windows Vista の場合、**ユーザアカウント制御**画面が表示されますので、**許可**をクリックします。

インストールプログラムが起動すると、**メインメニュー**が表示されます。

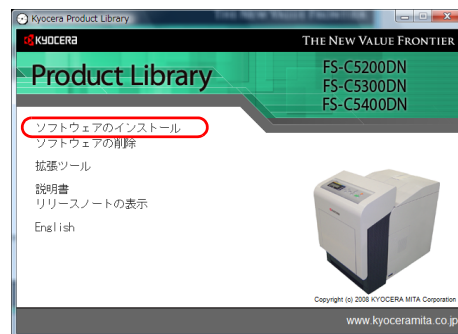
参考：**ソフトウェアインストールウィザード**が自動で起動しない場合、Windows のエクスプローラで CD-ROM の内容を表示させ、Setup.exe をダブルクリックしてください。

---

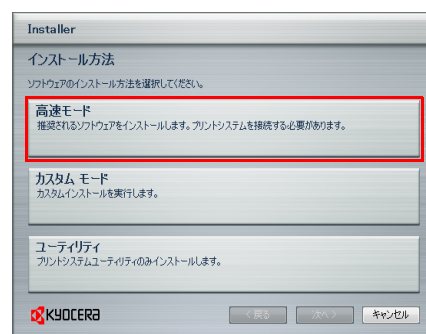
3 **使用許諾を表示**をクリックして、使用許諾契約をお読みください。**同意する**をクリックします。

4　**ソフトウェアのインストール**をクリックします。

ソフトウェアインストールウィザードが起動します。

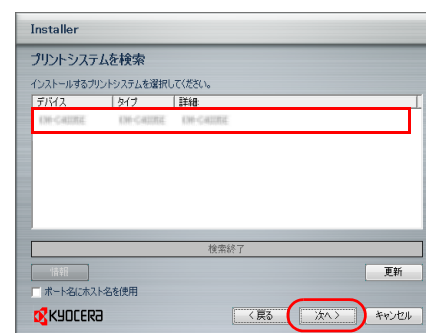
この後の手順は、Windows の種類と接続方法によって異なります。該当する手順に進んでください。

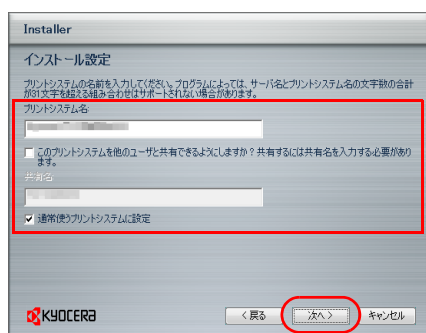
- **高速モード**
- **カスタムモード**

高速モード

高速モードは、電源を入れるとインストーラが自動的にプリンタを検出します。標準的な接続方法の場合、**高速モード**を使用します。

1　**インストール方法の選択**画面で、**高速モード**を選択します。**プリントシステムを検索**画面が表示され、インストーラがプリンタの検出を行います。プリントシステムが検出されない場合、プリントシステムが USB またはネットワークで接続され、電源が入っていることを確認し、**プリントシステムを検索**画面に戻ってください。

参考：Windows Vista と Windows XP では、インストールダイアログボックスに表示される内容は多少異なりますが、インストール手順は同じです。

2　インストールするプリントシステムを選択し、**次へ**をクリックします。

参考：**新しいハードウェアの検索ウィザード**が表示された場合、**キャンセル**をクリックしてください。**ハードウェアのインストール**警告ダイアログが表示された場合、**続行**をクリックしてください。

3　**インストール設定**画面では、プリントシステムの名前をカスタマイズできます。これは、**プリンタ**ウィンドウおよび各アプリケーションのプリンタ一覧に表示される名前です。

プリントシステム名を共有するか、または既定のプリンタとして設定するかを指定し、**次へ**をクリックします。

注意：手順 3 は、ネットワーク接続の場合のみ表示されます。USB 接続では表示されません。

4 設定内容を確認する画面が表示されます。設定を確認し、**インストール**をクリックします。

参考：Windows **セキュリティ画面**が表示された場合、**このドライバソフトウェアをインストールします**をクリックしてください。

5 **インストールが完了しました**画面が表示されます。**終了**をクリックして**プリンタインストールウィザード**を終了し、CD-ROM のメインメニューに戻ります。

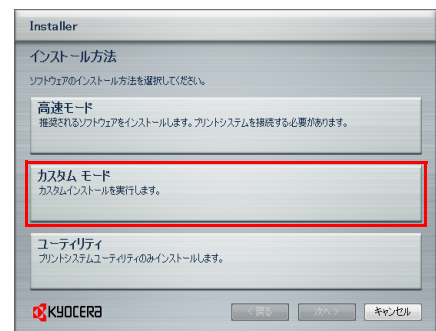
終了を押した後、デバイス設定のダイアログが表示された場合、プリントシステムに装着されているオプションなどの設定を行うことができます。デバイス設定は、インストール終了後でも設定できます。詳しくは CD-ROM 収録の**プリンタドライバ操作手順書**の**デバイス設定**を参照してください。

これで、プリンタドライバのインストール作業は終了です。画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動します。

カスタムモード

カスタムモードは、プリンタポートの指定やインストールするソフトウェアを選択する場合に使用します。

たとえば、PC にインストールされているフォントを上書きしない時、**カスタムモード**を選択し、**カスタムインストール画面**の Utility タブを選択して、**フォント**のチェックを外します。

1 **カスタムモード**を選択します。

2 **インストールウィザード**画面の指示に従い、インストールするソフトウェアパッケージの選択やポートの指定などを行ってください。

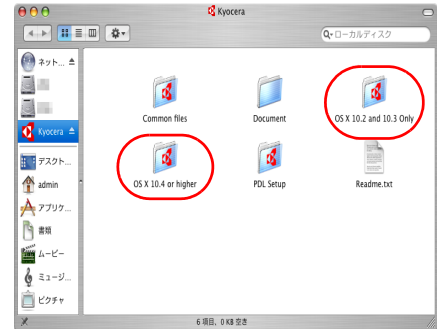
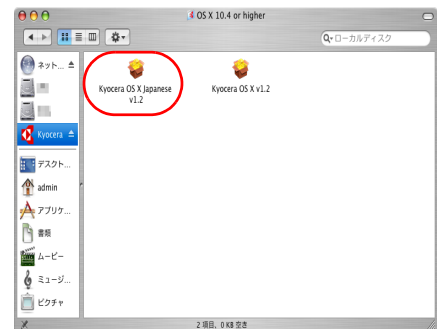
詳しくは CD-ROM 収録の**プリンタドライバ操作手順書**の**カスタムインストール**を参照してください。

Macintosh へのインストール

1 本機と Macintosh の電源を入れてください。

2 付属の CD-ROM（Product Library）を光学ドライブへセットします。

3 CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。

4 使用している OS のバージョンにあわせて、OS X 10.2 and 10.3 only または OS X 10.4 or higher をダブルクリックしてください。

5 Kyocera OS X Japanese vx.x をダブルクリックしてください。

6 プリンタドライバのインストールプログラムが起動します。

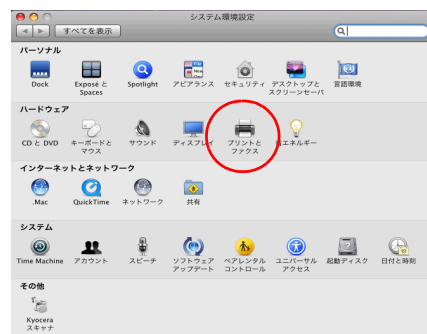
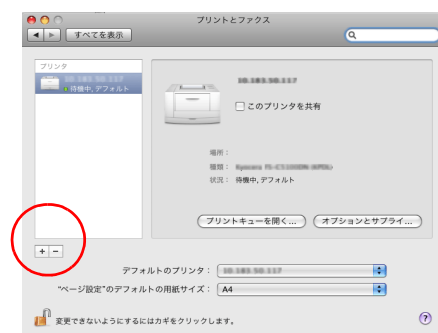
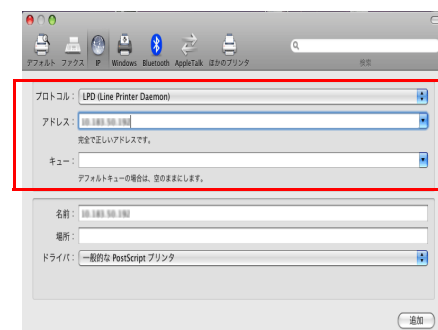
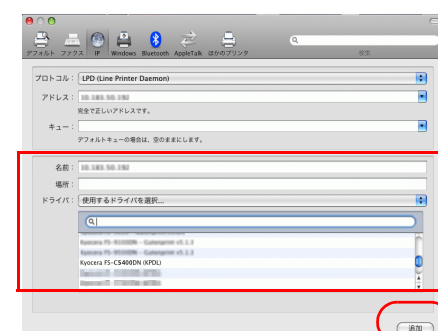
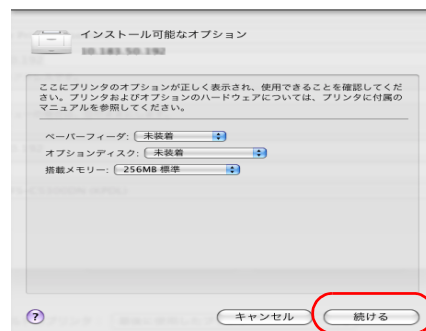
7 インストールプログラムの表示に従って、**インストール先**、**インストールの種類**を選び、プリンタドライバをインストールしてください。

参考：**インストールの種類**では、**簡易インストール**の他にインストール内容を指定する**カスタムインストール**を選択することができます。

注意：管理者の名前とパスワード画面では、OS にログインするときに入力した名前とパスワードを入力してください。

これで、プリンタドライバがインストールされました。続いて、印刷設定を行います。

IP もしくは AppleTalk で接続する場合、以下の設定が必要になります。USB 接続の場合、自動的にプリンタの認識と接続が行われます。

8 **システム環境設定**画面を開き、**プリントとファクス**をクリックします。

9 インストールしたプリンタドライバを追加するため、＋をクリックします。

10 IP 接続する場合は IP アイコン、AppleTalk 接続する場合は AppleTalk アイコンをクリックし、IP アドレスとプリンタ名を入力します。

11 インストールしたプリンタドライバを選択し、**追加**をクリックします。

12 プリンタに設置されているオプションを選択し、**続ける**をクリックします。

13 設定したプリンタが追加され、印刷設定作業は終了です。

アプリケーションからの印刷

次の手順で、アプリケーションで作成した文書を印刷できます。

1 給紙カセットに用紙を入れてください。

2 アプリケーションの**ファイル**メニューから**印刷**を選択してください。印刷ダイアログボックスが表示されます。

3 プリンタのリストから印刷するプリンタを選択してください。

4 印刷したい部数を**部数**に入力してください。

5 OK をクリックしてください。印刷が始まります。

参考：プリンタドライバのその他の機能については、**KX プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。

ステータスモニタ

ステータスモニタは、プリンタの状態を監視し、逐次報告する機能を備えています。また、プリンタドライバに含まれていないプリンタの設定を確認したり変更したりできます。
プリンタドライバをインストールすると、**ステータスモニタ**も自動的にインストールされます。

ステータスモニタの起動

ステータスモニタは、次のいずれかの方法で起動します。

- 印刷開始時に起動：
  ステータスモニタは、プリンタを指定して印刷を開始すると、1 つのプリンタ名につき、1 つ起動します。複数台にプリンタを指定した場合、指定したプリンタの数だけ**ステータスモニタ**が起動します。
- プリンタドライバプロパティから起動：
  プリンタドライバの拡張機能タブから**ステータスモニタ**ボタンをクリックします。表示された**ステータスモニタ**ダイアログボックスにある**ステータスモニタを起動**ボタンをクリックすると、**ステータスモニタ**が起動します。

ステータスモニタの終了

ステータスモニタは、次のいずれかの方法で終了します。

- 手動による終了：
  タスクバーのステータスモニタアイコンからメニューを表示させ、**アプリケーションの終了**を選択すると**ステータスモニタ**が終了します。
- 自動的に終了：
  操作を行わない状態で 5 分経過すると、**ステータスモニタ**が自動的に終了します。

ステータスモニタの構成

ステータスモニタの構成は次のとおりです。

ポップアップウィンドウ

情報を通知するイベントが発生した場合、ポップアップウィンドウが表示されます。このウィンドウは、**3D イメージ**がデスクトップに表示されているときだけ表示されます。

3D イメージ

監視対象のプリンタの状態を 3D イメージで表示します。ステータスモニタアイコンを右クリックして表示されるメニューから、ウィンドウの表示および非表示を切り替えられます。

情報を通知するイベントが発生した場合、ポップアップウィンドウと音声で通知します。音声による通知の設定方法については、2-12 ページの**ステータスモニタの設定**を参照してください。

ステータスモニタアイコン

ステータスモニタが起動中は、タスクバーの通知領域に表示されます。アイコンにカーソルを置くと、プリンタの名称が表示されます。**ステータスモニタアイコン**を右クリックすると、以下のオプション設定ができます。

ステータスモニタを表示 / 非表示

ステータスモニタアイコンの表示と非表示を切り替えます。

プリントシステムの設定

TCP/IP ネットワーク環境で接続し、IP アドレスを所有している場合、Web ブラウザを使って COMMAND CENTER にアクセスし、ネットワーク設定の変更または確認を行います。詳しくは、**京セラ COMMAND CENTER 操作手順書**を参照してください。

ステータスモニタの設定

ステータスモニタの**音声通知**と**表示**の設定を行います。詳しくは、2-12 ページの**ステータスモニタの設定**を参照してください。

www.kyoceramita.com

京セラミタホームページを開きます。

アプリケーションの終了

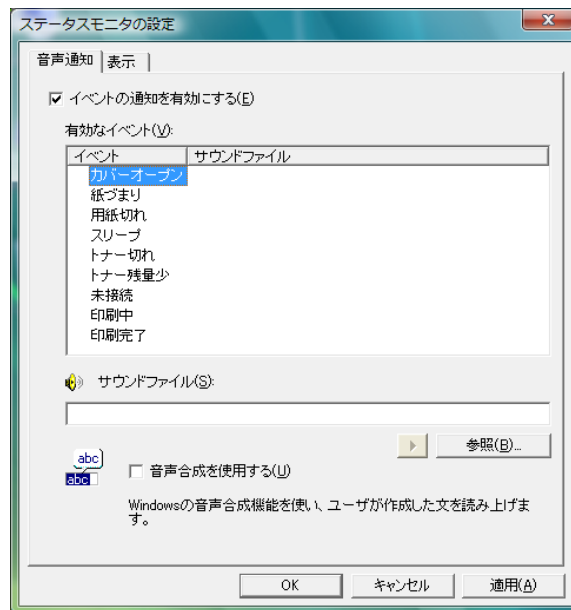
ステータスモニタが終了します。

ステータスモニタの設定

ステータスモニタアイコンを右クリックして表示されるメニューから**ステータスモニタの設定**を選択すると、2 つのタブで構成されるウィンドウが表示されます。このタブからステータスモニタの各種設定ができます。

音声通知タブ

音声通知タブでは、次のような設定ができます。

重要：音声通知タブで設定した内容を確認するには、サウンドカードやスピーカなど音声を再生する環境が必要です。

イベントの通知を有効にする

イベントリストに該当するエラーが発生した場合、音声で通知を行うかどうかを設定します。

サウンドファイル又は読み上げるテキスト

音声による通知が必要な場合、サウンドファイルが選択できます。**ファイルの参照**をクリックして、サウンドファイルを検索します。

音声合成を使用する

このチェックボックスを選択すると、テキストボックスに入力したテキストを読み上げます。Windows XP 以降で使用できる機能で、サウンドファイルは不要です。

音声通知タブの機能を使用するには、次の手順に従ってください。

1 **イベントの通知を有効にする**を選択します。

2 **有効なイベント**リストから、イベントを選択します。

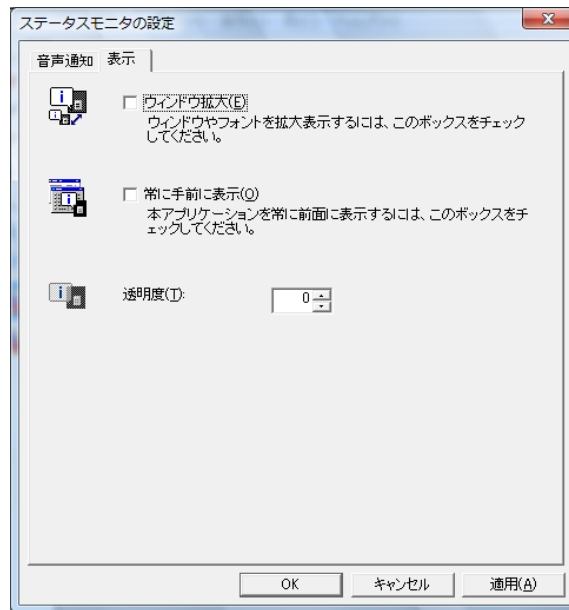
3 サウンドファイルを使ってイベントを通知する場合、**参照**をクリックしてファイルを指定します。

参考：使用できるファイルの形式は WAV ファイルです。

音声合成を使用するを選択すると、**読み上げるテキスト**ボックスに入力したテキストをイベント発生時に読み上げます。

4 **再生** をクリックして、サウンドファイルまたはテキストが正しく再生されることを確認します。

表示タブ

表示タブでは、次のような設定ができます。

ウィンドウ拡大

このチェックボックスを選択すると、**3D イメージ**と**ポップアップウィンドウ**のサイズやフォントを 2 倍に拡大します。

常に手前に表示

このチェックボックスを選択すると、**3D イメージ**と**ポップアップウィンドウ**を常にウィンドウの前面に配置します。複数の**ステータスモニタ**でこの設定が有効になっている場合、**3D イメージ**は重ねて表示されます。

透明度

3D イメージと**ポップアップウィンドウ**を半透明なウィンドウとして表示します。0%（透過なし）から 50% まで設定できます。

ソフトウェアのアンインストール（Windows PC の場合）

本機に同梱の CD-ROM（Product Library）を使って、ソフトウェアをアンインストール（削除）できます。

注意：Macintosh の場合、PPD（PostScript Printer Description）ファイルを使用して印刷設定を行うため、CD-ROM（Product Library）を使用してアンインストールすることはできません。

1 すべてのアプリケーションソフトウェアを終了します。

2 付属の CD-ROM（Product Library）を光学ドライブへセットします。

3 プリンタドライバのインストールと同じ手順で進み、**ソフトウェアの削除**をクリックします。**ソフトウェア アンインストール**ウィザードが表示されます。

4 削除したいソフトウェアを選択します。

5 **アンインストール**をクリックします。

参考：Windows Vista の場合、**ドライバとパッケージを削除する**画面が表示されます。**ドライバとパッケージを削除する**を選び、OK をクリックします。KM-NET VIEWER や、KM-NET for Direct Printing をインストールしているときは、個別のアンインストーラが別途起動しますので、画面の指示に従い、それぞれのアンストール作業を行ってください。

ソフトウェアの削除が開始されます。

6 アンインストールの完了を知らせるウィンドウが表示されたら、**次へ**をクリックします。

7 システムを再起動するかどうかを選択した後、**終了**をクリックします。

3　用紙について

この章では次の内容について説明します。

重要：本機にインクジェットプリンタ用の用紙を使用しないでください。故障の原因になります。

用紙の基本仕様

本機は、ページプリンタおよび乾式複写機用のコピー用紙（普通紙）に印刷できるように設計してありますが、本章の制限の範囲内で様々な用紙に印刷できます。

プリンタに適さない用紙を使用すると、紙づまりになったり紙にシワがよったりするので、用紙の選択は慎重に行ってください。

重要：再生紙は保水度やパルプ含有率などの基本条件が本機に使用するために必要な仕様を満たさないものがあります。このため、再生紙は少量をご購入になってサンプル印刷を行ってください。印刷結果が良好で、紙粉が極端に多くないものを選んでご使用ください。

規格に合わない用紙を使用して生じた問題については、当社は責任を負いかねます。

使用できる用紙

通常のページプリンタまたは乾式複写機用のコピー用紙（普通紙）を使用してください。

用紙の品質は、プリンタの印刷品質にも影響を与えます。質の悪い用紙を使うと満足のできる結果が得られません。

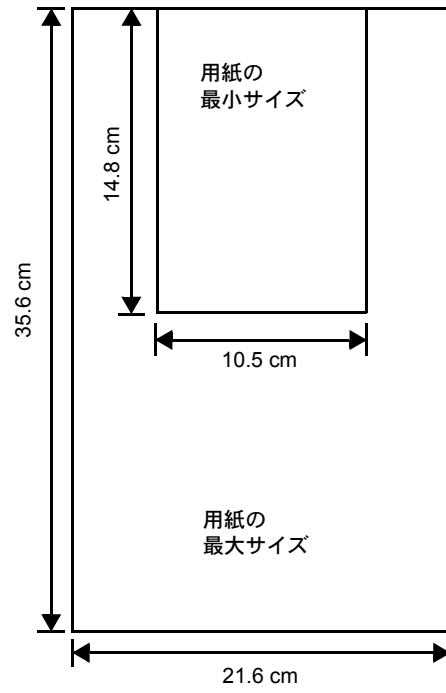
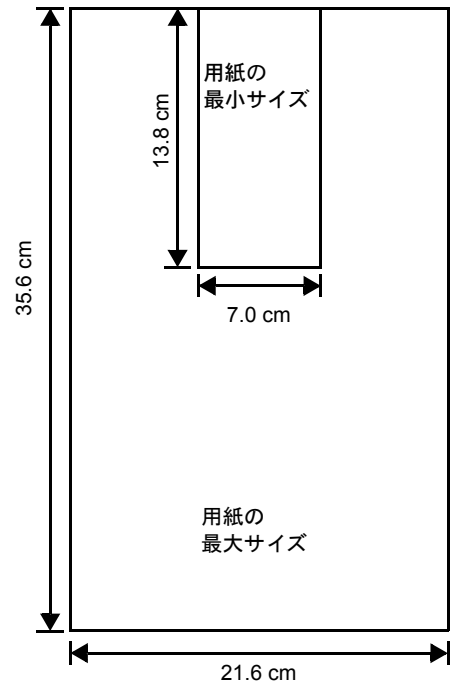
用紙の基本仕様

次の表は、本機で使用できる用紙の基本的な仕様です。詳細は以降のページで説明します。

項目	仕様
重さ	給紙カセット : 60 ～ 120 g/m² 手差しトレイ : 60 ～ 220 g/m²
厚さ	0.086 ～ 0.110 mm
寸法	3-4 ページの**用紙サイズ**を参照してください。
寸法誤差	±0.7 mm
四隅の角度	90 ±0.2 °
保水度	4 ～ 6 %
繊維の方向	縦目（給紙方向）
パルプ含有率	80 % 以上

用紙の最大サイズと最小サイズ

用紙の最大サイズと最小サイズは次のとおりです。また、OHP フィルム、ラベル用紙、薄い用紙、はがき、封筒、コート紙、厚紙に印刷する場合、手差しトレイから給紙してください。用紙サイズの設定方法については、4-32 ページの**用紙種類の設定**を参照してください。

給紙カセット
14.8 cm
用紙の
最小サイズ
35.6 cm
10.5 cm
用紙の
最大サイズ
21.6 cm
手差しトレイ
13.8 cm
用紙の
最小サイズ
35.6 cm
7.0 cm
用紙の
最大サイズ
21.6 cm

適正な用紙の選択

ここでは、用紙を選ぶ際のガイドラインについて説明します。

ガイドライン

紙の状態

角の折れているもの、全体が丸まっているもの、汚れているもの、破れているもの、または繊維が毛羽立っていたり、表面が粗かったり、ちぎれやすい用紙は避けてください。このような用紙を使用すると仕上がりが悪くなるだけでなく、用紙送りがうまくいかないために紙づまりを起こし、プリンタの寿命を縮めることになりかねません。用紙表面が滑らかで均一なものを選んでください。

用紙の成分

アート紙のようなコーティング加工された用紙や、表面処理された用紙、プラスチックやカーボンを含む用紙は使用しないでください。そのような用紙は、熱により有害なガスを発生することがあり、またドラムを傷めます。

普通紙は、少なくとも 80 % 以上のパルプを含むものにしてください。コットンやその他の繊維が用紙成分の 20 % を超えないものをご使用ください。

用紙サイズ

次の表に記載したサイズの用紙が給紙カセット（本体）または手差しトレイで使用できます。詳細およびペーパーフィーダ（オプション：PF-500、PF-510）の用紙サイズについては、4-34 ページの**「カセット 1（～ 5）設定　用紙サイズ」（給紙カセットの用紙サイズ設定）**を参照してください。

寸法誤差の許容範囲は縦横ともに ±0.7 mm です。用紙四隅の角度は、90 ° ±0.2 ° のものを使用してください。

手差しトレイのみ	サイズ	給紙カセット（本体） または手差しトレイ	サイズ
Envelope Monarch	3-7/8 × 7-1/2 インチ	Legal	8-1/2 × 14 インチ
Envelope #10	4-1/8 × 9-1/2 インチ	Letter	8-1/2 × 11 インチ
Envelope #9	3-7/8 × 8-7/8 インチ	Executive	7-1/4 × 10-1/2 インチ
Envelope #6	3-5/8 × 6-1/2 インチ	Folio	21 × 33 センチ
Envelope DL	11 × 22 センチ	Envelope C5	16.2 × 22.9 センチ
JIS B6	12.8 × 18.2 センチ	ISO A6	10.5× 14.8 センチ
はがき	10 × 14.8 センチ	ISO B5	17.6 × 25 センチ
往復はがき	14.8 × 20 センチ	ISO A4	21 × 29.7 センチ
洋形 2 号	11.4 × 16.2 センチ	ISO A5	14.8 × 21 センチ
洋形 4 号	10.5 × 23.5 センチ	JIS B5	18.2 × 25.7 センチ
		Oficio II	8-1/2 × 13 インチ
		16K	19.7 × 27.3 センチ
		Statement	5-1/2 × 8-1/2 インチ
カスタム	給紙カセット : 10.5 × 14.8 ～ 21.6 × 35.6 センチ 手差しトレイ : 7.0 × 13.8 ～ 21.6 × 35.6 センチ		

用紙の特性

滑らかさ

用紙表面は滑らかで均一であることが重要ですが、コーティングされているものは使用しないでください。滑らか過ぎる用紙を使うと、同時に複数枚の用紙が送られて、紙づまりの原因になります。

基本重量

基本重量とは、用紙 1 枚を 1 m² の大きさに換算した時の重量です。重すぎたり軽すぎたりする用紙は、用紙送りの失敗や紙づまりの原因となるばかりでなく、プリンタの消耗の原因にもなります。用紙の重さ、つまり紙の厚さが一定していないと、同時に複数枚の用紙を給紙してしまったり、トナーの定着不良によって印刷がぼやけるなどの印刷品質の問題を引き起こすことがあります。

用紙の適正な重さは給紙カセットで 60 ～ 120 g/m²、手差しトレイで 60 ～ 220 g/m² の範囲です。

厚さ

ページプリンタで使用する用紙は極端に厚いものや、または薄いものは避けてください。同時に複数枚の用紙が給紙されたり、紙づまりが頻繁に起きたりする場合は紙が薄すぎることが考えられます。反対に紙が厚すぎる場合も、紙づまりが起こることがあります。適正な用紙の厚さは 0.086 ～ 0.110 mm の範囲です。

保水度

用紙の保水度は、乾燥度に対する湿り気のパーセントで表されます。湿り気は紙送りや静電気の発生状況、トナーの定着性、定着後のカールなどに影響を与えます。

用紙の保水度は室内の湿度によって変わります。室内の湿度が高すぎて紙が湿り気を帯びると、紙の端が伸びて波打つことがあります。逆に湿度が低すぎて紙に極端に湿り気がなくなると、用紙の端が縮んでかさかさになり、コントラストの弱い印刷になります。

波打ったり乾燥していると、紙送りにずれが起きることがあります。用紙の保水度は 4 ～ 6 % の範囲に収まるようにしてください。

保水度を正しいレベルで維持するために、次の点に留意してください。

- 風通しのよい低湿の場所に保管してください。
- 未開封のまま水平な状態で保管してください。開封後すぐ使用しない紙は、もう一度密封してください。
- 用紙は購入時の箱や梱包紙に封をして保管してください。箱の下には台などを置いて、床から離してください。特に梅雨時の板張りやコンクリート張りの床からは十分離してください。
- 長時間放置した用紙は、少なくとも 48 時間は正しいレベルの保水度を満たしてからご使用ください。
- 熱、日光、湿気にさらされる場所に紙を放置しないでください。

参考：コート紙を使用する場合、湿度の高い環境では複数の用紙が貼り付くことがあります。

繊維の方向

用紙が製造されるとき、用紙の長さに対して紙の繊維が垂直（縦目）になるようにカットされているものと、用紙の幅に対して繊維が垂直（横目）になるようにカットされているものがあります。横目の用紙はプリンタの給紙時に問題を起こす原因になりますので、用紙は縦目のものをお使いください。

その他の仕様

多孔性

紙の繊維の密度を表します。

硬さ

柔らかすぎる紙は、プリンタ内部で折れ曲がりやすく紙づまりの原因になります。

カール

ほとんどの用紙は、開封した状態で放置しておくとどちらかの方向へ自然にカールして丸まる性質を持っています。

静電気

トナーを付着させるために、印刷の過程で用紙は静電気を帯びます。この静電気がすみやかに放電される用紙を選んでください。

用紙の白さ

印刷されたページのコントラストは使用した用紙の白さによって変わります。より白い用紙を使用したほうがシャープで鮮明な印刷がえられます。

品質について

サイズの不揃い、角がきちんととれていない、粗雑な裁断面、切りそこなってつながっている用紙、角や端のつぶれなどが原因でプリンタが正しく機能しないことがあります。特にご自分で裁断された用紙を使用する場合はご注意ください。

梱包について

きちんと梱包され、さらに箱に詰められている紙をお選びください。梱包紙は内面が防湿用にコーティングされているものが最良です。

参考：湿気を帯びた用紙を使用すると、上トレイ付近から湯気が出る場合がありますが、そのまま印刷を続けても問題はありません。

特殊処理

次のような処理をほどこした用紙については、基本仕様を満たす用紙であっても使用しないようお勧めします。使用される場合は、多くの量を購入される前にサンプル印刷を行ってください。

- つやのある用紙
- 透かしの入った用紙
- 表面に凹凸のある用紙
- ミシン目の入った用紙

特殊な用紙

ここでは、普通紙以外の特殊な用紙に印刷する場合について説明します。

本機には、次のような特殊な用紙を使用できます。次にしたがって用紙種類を設定してください。

用紙	用紙種類設定
薄い用紙（60 ～ 64 g/m²）	薄紙
厚い用紙（120 ～ 220 g/m²）	厚紙
OHP フィルム	OHP フィルム
はがき	はがき
封筒	封筒
ラベル用紙	ラベル紙
再生紙	再生紙
カラー紙	カラー紙
プレ印刷用紙	プレプリント
ボンド紙	ボンド紙
レターヘッド	レターヘッド
パンチ済み用紙	パンチ済紙
上質紙	上質紙
加工紙（コート紙、その他の加工紙）	加工紙
カスタム	カスタム 1 ～ 8

以上の用紙を使用するときはコピー用またはページプリンタ用として指定されているものをお使いください。また、カラー紙と再生紙以外は手差しトレイから給紙してください。詳細については、4-34 ページの**「カセット 1（～ 5）設定　用紙サイズ」（給紙カセットの用紙サイズ設定）**を参照してください。

特殊な用紙の選択

特殊用紙は次ページ以降で示す条件を満たすものであれば本機で使用することが可能ですが、これらの用紙は構造および品質に大きなばらつきがあるために、規定紙よりも印刷中に問題が発生する可能性が高くなります。特殊用紙はサンプル用紙をプリンタで印刷してみて、満足のいく仕上がりとなるかを確認してからご購入ください。主な特殊紙について、印刷時の注意について次ページより説明します。印刷中に、湿気などが特殊紙に与える影響が原因で、機械または操作員に被害が生じても当社は一切の責任を負いかねます。

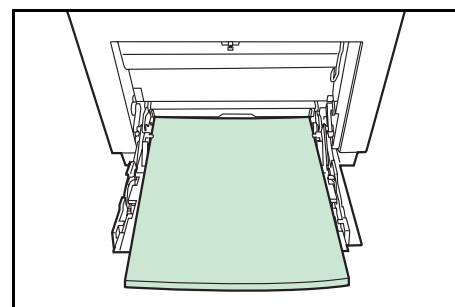
OHP フィルム

OHP フィルムは、印刷中の定着熱に耐えるものである必要があります。次の製品をお勧めします。

3M CG3700（Letter, A4）

次の表は、本機で使用できる OHP フィルムの条件です。

項目	仕様
耐熱性	最低 190 ℃までの熱に耐えること。
厚さ	0.100 ～ 0.110 mm
材質	ポリエステル
サイズ誤差許容範囲	±0.7 mm
四隅の角度	90° ±0.2°

トラブルを避けるために、OHP フィルムは手差しトレイから 1 枚ずつ給紙してください。その際、必ず縦に（用紙の長手方向をプリンタに向けて）セットしてください。また、OHP フィルムの裁断面にバリがある場合、給紙不良の原因になります。バリを取り除くか、表裏を逆にする、あるいは前後を入れ替えてセットしてください。

OHP フィルムが頻繁に紙づまりを起こす場合は、排紙される際に OHP フィルムの先を引いてください。

ラベル用紙

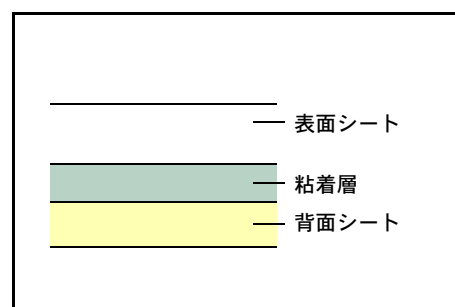
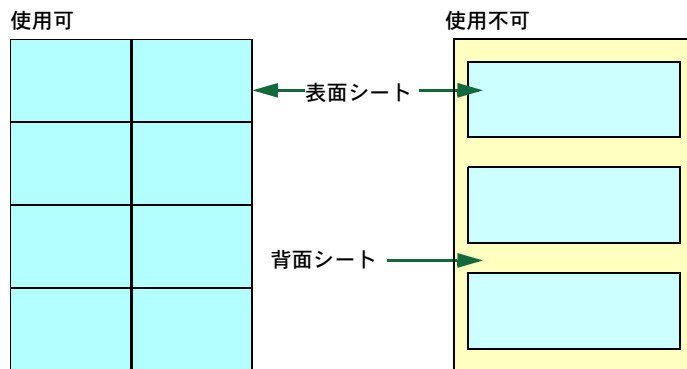
ラベル用紙は、必ず手差しトレイから給紙してください。

ラベル用紙を選択する際は、糊がプリンタのどこにも触れないことや、ラベルが台紙から容易にはがれないことなどに注意してください。転写ベルトやローラ類に糊が付着したり、はがれたラベルがプリンタ内に残ると故障の原因になります。

参考：ラベル用紙での印刷の場合は、その印刷品質やトラブル発生の可能性などについては、お客様ご自身の責任で行ってください。

ラベル用紙は、図のような 3 層からなる構造をしています。粘着層はプリンタ内部で加わる力による影響を受けやすい素材でできています。背面シートはラベルが使用されるまで表面シートを保持しています。このように構造が複雑なため、ラベル用紙はトラブルが発生しがちです。

ラベル用紙の表面は、表面シートで隙間なく完全に覆われていなくてはなりません。ラベルの間に隙間のあるものはラベルがはがれやすく、大きな故障の原因となります。

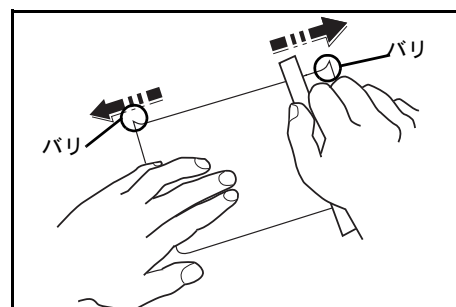
ラベル用紙には、用紙の端を完全に覆うため、表面シートに広いマージンを設けているものがあります。このような用紙をお使いの場合、印刷が終了するまで、このマージン部分を背面シートからはがさないでください。

次の仕様に合ったラベル用紙を選んでください。

項目	仕様
表面シートの重さ	44 ～ 74 g/m²
基本重量（用紙全体の重さ）	104 ～ 151 g/m²
表面シートの厚さ	0.086 ～ 0.107 mm
用紙全体の厚さ	0.115 ～ 0.145 mm
保水度	4 ～ 6 %（混合）

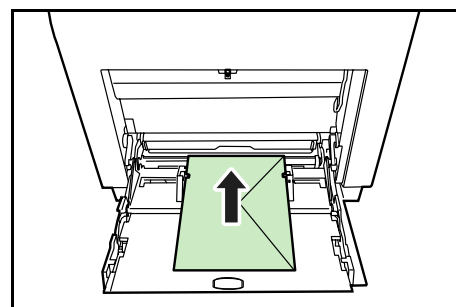
はがき

はがきは、さばいて端を揃えてから、手差しトレイにセットしてください。はがきに反りがある場合は、まっすぐに直してからセットしてください。反りがあるまま印刷を行うと、紙づまりの原因になります。

往復はがきに印刷する場合は、折り目のないものを使用してください。

また、はがきによっては、裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返し）があるものがあります。その場合は、はがきを平らなところに置き、定規のようなもので軽く 1 ～ 2 回こするようにして、バリを取り除いてください。

封筒

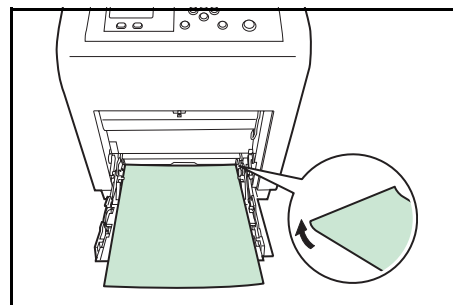
封筒は印刷面を下にして、必ず手差しトレイから給紙してください

封筒は構造上、表面全体に均一な印刷ができない場合があります。特に薄手の封筒の場合は、プリンタを通り抜ける間にシワになることがあります。封筒を購入する前に、その封筒での印刷が満足いくものであるかをサンプル印刷で確認してください。封筒は長時間放置しておくとシワが発生することがあります。使用する直前に開封してください。

さらに、次の点に留意してください。

- 糊が露出している封筒はどのような封筒でも使用できません。たとえ露出していなくても、紙をはがすと糊が現れるワンタッチ式のタイプもご使用になれません。糊をカバーしている小さな台紙が、プリンタ内部ではがれ落ちると大きな故障の原因となります。
- 封筒に特殊加工のあるタイプも使用できません。紐を巻き付ける丸い鳩目の打ってあるものや、窓の開いているもの、窓部にフィルム加工がされているものなどは使用できません。
- 紙づまりが起きる場合は、一度にセットする封筒の枚数を少なくしてみてください。
- 複数の封筒を印刷する際は、紙づまりを避けるため上トレイに 10 枚以上残らないようご注意ください。

厚い用紙

厚い用紙はさばいて端を揃えてから、手差しトレイにセットしてください。用紙によっては、裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返し）があるものがあります。その場合は用紙を平らなところに置き、3-10 ページの**はがき**と同様に定規のようなもので軽く 1 ～ 2 回こするようにして、バリを取り除いてください。バリのあるまま印刷を行うと紙づまりの原因になります。

参考：バリを取り除いても給紙されない場合は、図のように用紙の先端を数 mm 上にそらせてから手差しトレイにセットしてください。

カラー紙

カラー紙は 3-2 ページの**用紙の基本仕様**を満たすものでなければなりません。さらに、用紙に含まれている色素は印刷中の熱（最高 200 ℃）に耐えるものでなければなりません。

プレ印刷用紙

印刷済み用紙は 3-2 ページの**用紙の基本仕様**を満たすものでなければなりません。着色に使われているインクはプリンタでの印刷中の熱に耐えられるもので、シリコンオイルの影響を受けないものであることが必要です。カレンダーなどに使われる表面加工を施してある紙は使用しないでください。

再生紙

再生紙は、用紙の白さ以外の項目が 3-2 ページの**用紙の基本仕様**を満たすものでなければなりません。

参考：再生紙を購入する前に、印刷が満足いくものであるかをサンプル印刷で確認してください。

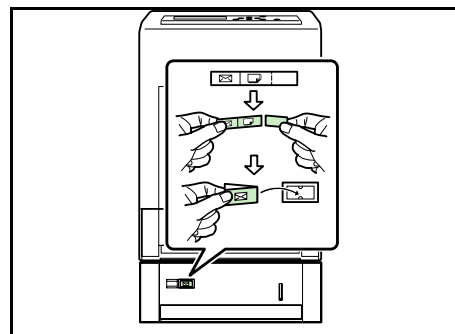
コート紙

コート紙は、原紙の表面をコーティングすることによって、普通紙よりもよい印刷品質を得ることができる用紙です。高品位の印刷用紙として利用されています。

上質紙あるいは中質紙の表面に特殊な薬品を塗布し、表面を滑らかにすることによって、インクの乗りをよくしています。薬品を塗布する面は表裏両面の場合もあれば、片面のみの場合もあります。塗布された面は少し光沢が出ます。

注意：コート紙を湿度の高い環境で印刷すると、重なって給紙されることがありますので、高湿度にならないようにしてください。

用紙種類表示シート（オプション、ペーパーフィーダ＜ PF-510 ＞）

オプションのペーパフィーダ（PF-510）で特殊な用紙を使用する場合、付属シートの白紙を切り取り 2 つに折った後、使用する用紙を表にしてカセットのフォルダに差し込んでください。

：封筒を使用するとき

：厚紙を使用するとき

：ラベル紙を使用するとき

：コート紙を使用するとき

4　操作パネル

この章では、操作パネルの使用方法を説明します。操作パネルでの設定は、お使いの環境に合わせた初期設定を行うときに使用します。通常は、アプリケーションソフトからのプリンタドライバによる設定が優先されます。

プリンタの各種設定は、操作パネルやプリンタドライバの他に京セラミタプリントモニタなど他のユーティリティを使用することにより、リモートで行うことも可能です。プリンタユーティリティは、プリンタ付属の CD-ROM からインストールできます。

メッセージディスプレイ

メッセージディスプレイには、プリンタの各種動作状態を示すメッセージが表示されます。

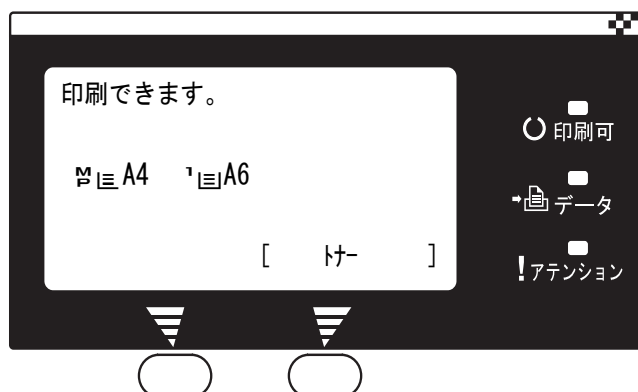
ステータス情報

次のメッセージは、通常使用時の状態（ステータス）を表示するメッセージです。

メッセージ表示	意味
お待ちください。	プリンタはウォーミングアップ中です。印刷はできません。最初にプリンタの電源を入れた際は、このメッセージがしばらく表示されます。
お待ちください。 用紙補給中です。	オプションのペーパーフィーダ（PF-510）で、コート紙（**加工紙**）の印刷準備中に表示されます。
お待ちください。 ﾄﾅｰ補給中です。	トナーの補給中です。写真など多くのトナーを消費するデータを連続して印刷すると、このメッセージが表示されることがあります。
お待ちください。 ｶﾗｰ調整中です。	自動キャリブレーションシステムにより、カラーを調整中です。操作パネルからこの機能を実行するには、4-97 ページの**「カラー調整」（カラー調整）**を参照してください。
お待ちください。 清掃中です。	清掃中です。LSU ガラスを清掃中に表示されます。
印刷できます。	印刷できます。
処理中	プリンタは印刷中か、データ処理中です。または、USB メモリ、メモリカードやハードディスクのデータを読み込んでいます。
待機中です。	プリンタはスリープモード（省電力モード）です。印刷データを受信すると、スリープモードから復帰し、ウォーミングアップ後に印刷できる状態になります。 プリンタがスリープモードへ移行するまでの時間は、4-73 ページの**オートスリープ（オートスリープの設定）**を参照してください。
中止中です。	印刷データをキャンセルしています。印刷データのキャンセルの方法は、4-4 ページの**キー**を参照してください。

エラーコード

メッセージディスプレイには、障害が発生した場合のエラーコードも表示されます。エラーコードについては、**6　困ったときは**を参照してください。

メッセージディスプレイ内の表示

インジケータの表示

インジケータとその意味を説明します。

表示	表示
印刷可	**点滅：** 解除可能なエラーが発生しています。6 困ったときは **エラーメッセージ**を参照してエラーの処理をしてください。
	点灯： プリンタはオンライン状態です。受信した印刷データは印刷されます。
	消灯： 印刷の手動停止、または障害発生による自動停止によってプリンタはオフライン状態です。印刷データの受信は可能です。障害発生時による自動停止の場合は、6 困ったときは **エラーメッセージ**を参照してください。
データ	**点滅：** プリンタは印刷データを受信しています。
	点灯： 印刷処理中、またはハードディスクやメモリカードにアクセス中です。
アテンション	**点滅：** 「**お待ちください。**」が表示されている場合、プリンタは準備中です。 その他は、給紙カセット内の用紙がないなどの理由で印刷できません。メッセージディスプレイの表示を確認して必要な処理を行ってください。詳しくは、6 困ったときは **エラーメッセージ**を参照してください。
	点灯： エラーが発生して印刷できません。メッセージディスプレイの表示を確認して必要な処置を行ってください。詳しくは、6 困ったときは **エラーメッセージ**を参照してください。

キー

各キーの機能は次のとおりです。複数の機能を持っています。

キャンセルキー

- 実行中の印刷を中止します。
- ブザーが鳴ったときに、ブザーを止めます。

印刷のキャンセルのしかた

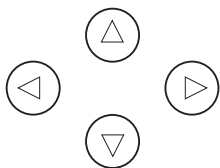
1 メッセージディスプレイに「**処理中**」が表示されていることを確認して、［**キャンセル**］キーを押します。

「**ｼﾞｮﾌﾞ中止ﾘｽﾄ**」が表示され、現在のジョブ名が表示されます。

2 ［△］または［▽］キーで中止したいジョブ名を選択して、［OK］キーを押してください。メッセージディスプレイに「**ｼﾞｮﾌﾞを中止します。よろしいですか？**」が表示され、現在印刷中のページが出力された後、印刷を中止します。

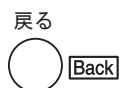
メニューキー

- モード選択メニューからプリンタの初期設定を変更するときや設定を終了するときに押します。

矢印キー

- 目的のメニューを表示させるときや、設定値の変更を行うときに使用します。

OK キー

- モード選択メニューで設定した内容を確定します。

Back キー

- 表示中のメニューの設定を取り消し、1 つ上の階層のメニューに戻ります。

［Left Select］キー・［Right Select］キー

メッセージディスプレイにキーのタブが表示されたときのみ機能有効になるキーです。

メッセージディスプレイに表示された機能を実行します。

例：

下のメニューが表示されている時に［Left Select］（[はい]）キーを押すと、選択したファイルを印刷します。

［Right Select］（[いいえ]）キーを押すと、印刷を中止して 1 つ上の階層のメニューに戻ります。

- 紙づまりなどが発生したときにこれらのキーを押すと、メッセージディスプレイにオンラインヘルプメッセージを表示します。オンラインヘルプを中止するときは、もう一度押します。

操作パネルの使いかた

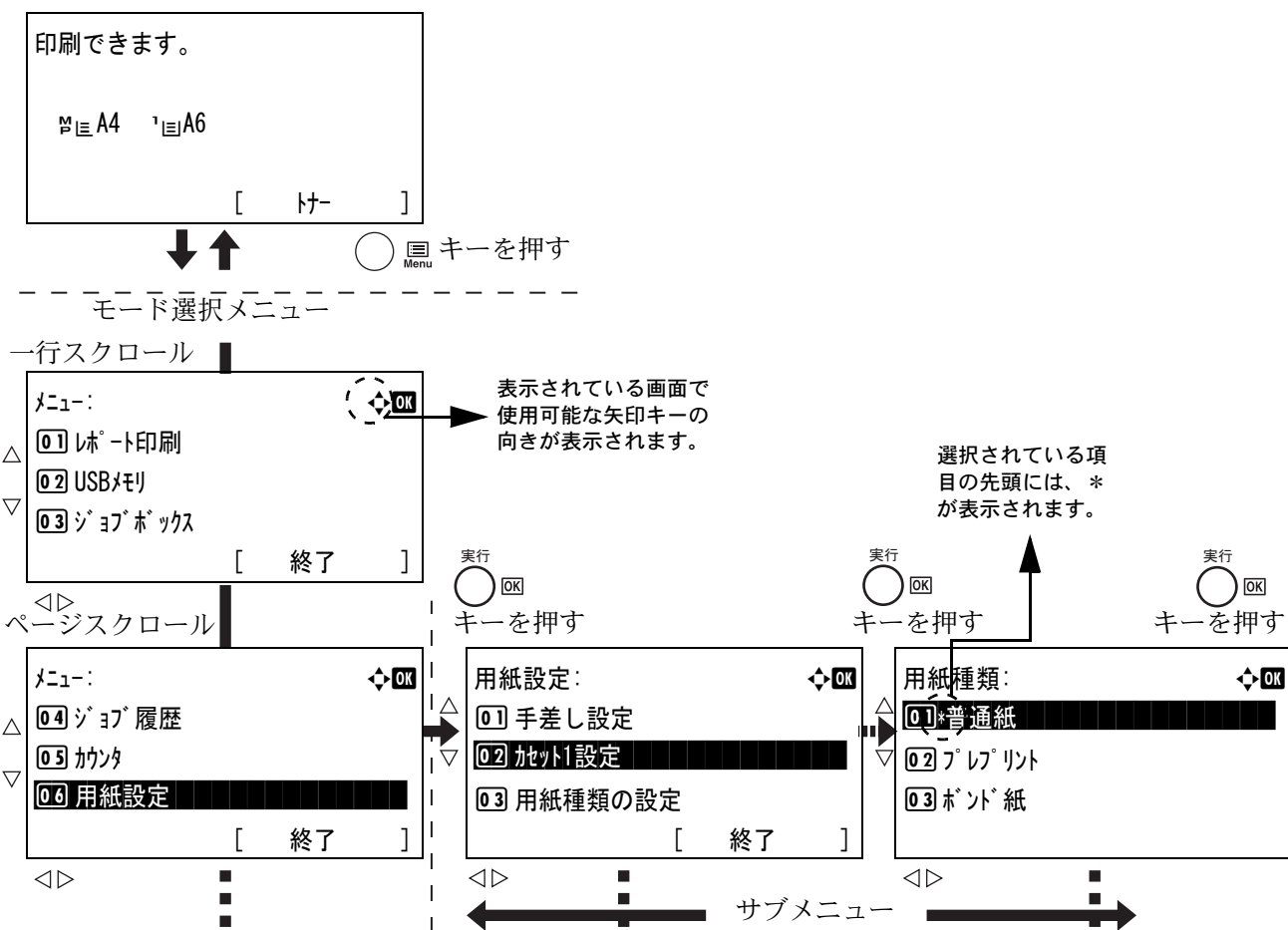
ここでは、モード選択メニューについて説明します。

操作パネルの［**メニュー**］キーを使って、印刷ページ数やエミュレーションなどプリンタの環境を設定、変更できます。各設定はプリンタのメッセージディスプレイが「**待機中です。**」、「**印刷できます。**」、「**お待ちください。**」、「**処理中**」表示のときに行えます。

メニュー選択の基本操作

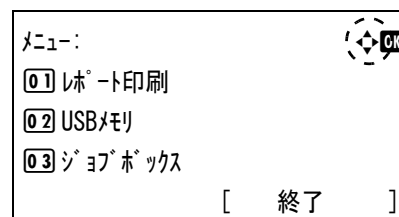
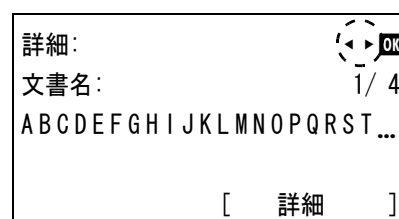
モード選択メニューへの入りかた

プリンタが「**印刷できます。**」表示状態のときに［**メニュー**］キーを押してください。

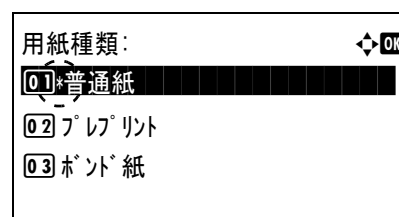
モード選択メニューが表示されます。

注意：モード選択メニューの「**ｼﾞｮﾌﾞﾎﾞｯｸｽ**」は、ハードディスク装着もしくは RAM ディスク設定時に表示されます。詳しくは、4-19 ページの「**ジョブボックス**」（**ジョブボックスの選択**）もしくは、4-64 ページの「**RAM ディスク設定**」（**RAM ディスクの設定**）を参照してください。

メニューの選択

モード選択メニューは階層構造（ツリー構造）をしています。［△］／［▽］キー、または［◁］／［▷］キーを押して、目的のメニューを表示させます。

- 画面右上に「✣」が表示されているときは、［△］／［▽］キーで選択項目が 1 行ずつ移動し、［◁］／［▷］キーで選択項目がページ単位に移動します。

- 画面右上に「◂▸」が表示されているときは、［◁］／［▷］キーで表示するページが切り替わります。

メニューの設定

目的のメニューを選択してから［OK］キーを押してください。そのメニューの設定操作に入りますので、［△］／［▽］キー、または［◁］／［▷］キーを押して希望の設定値を選択 / 入力し、［OK］キーを押して確定してください。

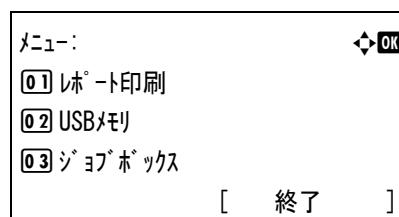
現在選択されている設定値は、先頭に＊が表示されています。

メニュー操作の中断

メニュー操作中に［**メニュー**］キーを押すと、「**印刷できます。**」または「**待機中です。**」表示状態に戻ります。

参考：操作パネルの設定よりも、アプリケーションやプリンタドライバからの設定が優先されます。

モード選択メニューの設定方法

ここではモード選択メニューから行う設定手順について、各メニューごとに説明します。

1 「印刷できます。」、「お待ちください。」、「待機中です。」、「処理中」と表示されているときに［メニュー］キーを押すと、モード選択メニューが表示されます。

2 ［△］または［▽］キーを押すと、以下のモード選択メニューが循環して表示されます。

- 「レポート印刷」（レポート印刷）
- 「USB メモリ」（USB メモリの選択）
- 「ジョブボックス」（ジョブボックスの選択）
- 「ジョブ履歴」（ジョブログの表示）
- 「カウンタ」（カウンタ値の確認）
- 「用紙設定」（用紙の設定）
- 「印刷設定」（印刷の設定）
- 「ネットワーク」（ネットワークの設定）
- 「共通設定」（デバイス全般の選択・設定）
- 「セキュリティ」（セキュリティ機能の設定）
- 「部門管理設定」（部門管理設定）
- 「管理者」（管理者の設定）
- 「調整 / メンテナンス」（調整 / メンテナンスの選択・設定）

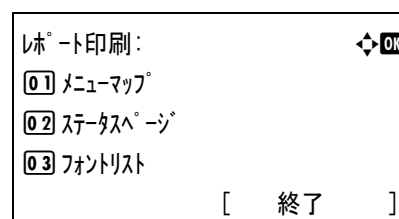
「レポート印刷」（レポート印刷）

レポートの印刷をします。レポート印刷には以下の項目があります。

- 「メニューマップ」（メニューマップの印刷）
- 「ステータスページ」（ステータスページの印刷）
- 「フォントリスト」（フォントサンプルの印刷）
- 「RAM ファイルリスト」（RAM ディスク・ファイルリストの印刷）
- 「HDD ファイルリスト」（ハードディスク・ファイルリストの印刷）
- 「メモリカードファイルリスト」（メモリカード・ファイルリストの印刷）

1 ［メニュー］キーを押してください。

2 ［△］または［▽］キーを押して、「ﾚﾎﾟｰﾄ印刷」を選択してください。

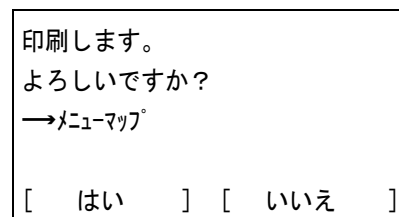
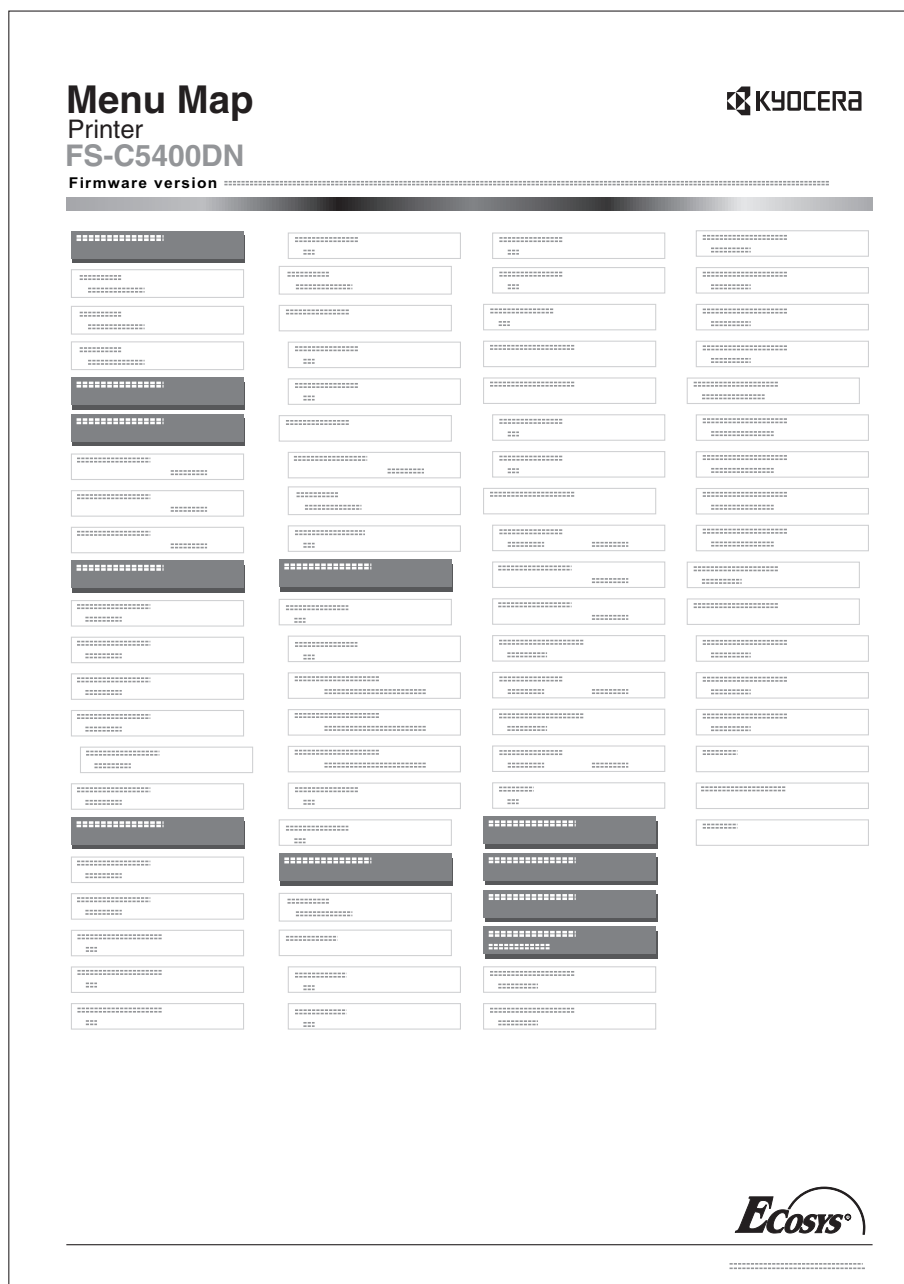
レポート印刷メニューが表示され、印刷できるレポートの種類が一覧表示されます。レポートの種類は、オプションの機器の装着状態によって内容が変わります。

「メニューマップ」（メニューマップの印刷）

モード選択メニューで表示されるすべてのメニューを印刷します。

1 レポート印刷メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認メッセージが表示されます。

3 ［はい］（[Left Select]）キーを押してください。「受け付けました。」が表示され、メニューマップを印刷します。

［いいえ］（[Right Select]）キーを押すと、レポートの印刷は行わずレポート印刷メニューに戻ります。

「ステータスページ」（ステータスページの印刷）

ステータスページを印刷して、プリンタの現在の設定状況、装着しているオプション機器などの情報を確認できます。

1 レポート印刷メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「ｽﾃｰﾀｽﾍﾟｰｼﾞ」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認メッセージが表示されます。

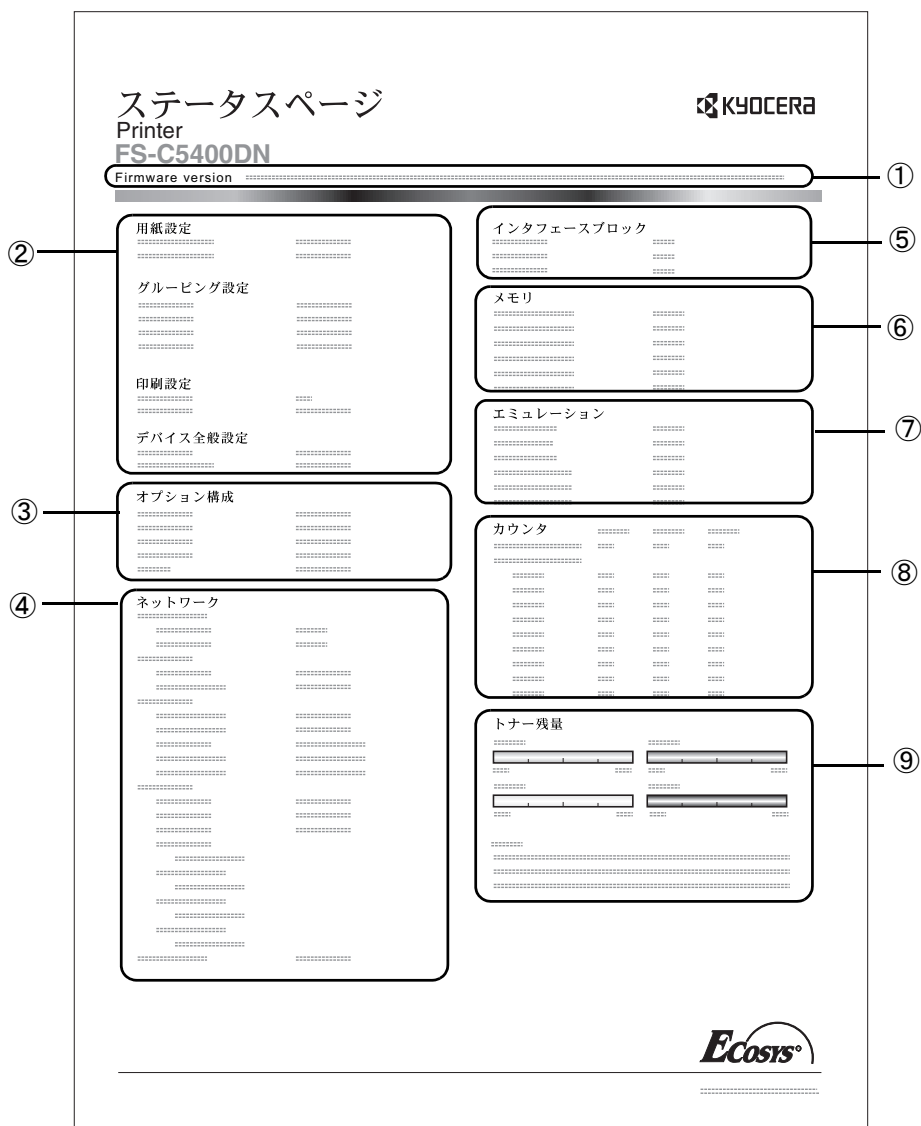
3 ［はい］（[Left Select]）キーを押してください。「受け付けました。」が表示され、ステータスページを印刷します。

［いいえ］（[Right Select]）キーを押すと、ステータスページの印刷は行わずレポート印刷メニューに戻ります。

ステータスページの内容

次はステータスページの印刷例です。各項目については次ページに説明があります。

参考：プリンタのファームウェアのバージョンにより、ステータスページに印刷される項目や値が異なる場合があります。

ステータスページ
KYOCERA
Printer
FS-C5400DN
Firmware version
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
用紙設定
グルーピング設定
印刷設定
デバイス全般設定
オプション構成
ネットワーク
インタフェースブロック
メモリ
エミュレーション
カウンタ
トナー残量
ECOSYS

① ファームウェア（Firmware Version）

ファームウェアのバージョンと発行日です。

② プリンタ設定状況（Paper Settings、Group Settings、Print Settings、Device Common Settings）

カセットにセットされている用紙サイズと用紙種類、プリンタの主な設定項目についての情報を表示します。

③ 装着オプション（Option Status）

プリンタに装着されている、オプション機器の状態を表示します。

④ ネットワークステータス（Network）

ネットワーク関係の設定状態を表示します。TCP/IP欄には、IPアドレス、サブネットマスクアドレス、デフォルトゲートウェイアドレスを表示します。

⑤ インタフェース（Interface Block）

USBメモリスロットや、USBインターフェースのブロック状況を表示します。ネットワークインターフェース（NIC）接続時は、オプションインタフェースのブロック状況も表示されます。

⑥ メモリ使用状況（Memory）

プリンタに装着されている総メモリ、および現在のRAMディスクの状態が表示されます。

⑦ エミュレーション（Emulation）

現在設定されているエミュレーションに関する情報が表示されます。出荷時にはPCL 6エミュレーションに設定されています。

⑧ ページ情報（Counters）

課金カウンタ情報が表示されます。総印刷ページ数、用紙サイズ毎の印刷ページ数が表示され、それぞれのカウンタについて、カラー/モノクロ/トータルごとに表示されます。

⑨ 消耗品（Toner Gauges）

トナーコンテナ各色の、およそのトナー残量を表示します。100から0に近づくほどトナーの残量が少なくなります。

「フォントリスト」（フォントサンプルの印刷）

モード選択メニューで表示されるすべてのメニューを印刷します。

1 レポート印刷メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「ﾌｫﾝﾄﾘｽﾄ」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認メッセージが表示されます。

3 ［はい］（[Left Select]）キーを押してください。「受け付けました。」が表示され、フォントサンプルを印刷します。

［いいえ］（[Right Select]）キーを押すと、フォントサンプルの印刷は行わずレポート印刷メニューに戻ります。

「RAM ファイルリスト」（RAM ディスク・ファイルリストの印刷）

RAM ディスク内にあるファイルのリストを印刷できます。

注意：RAM ディスクモードが ON のとき表示されます。

1 レポート印刷メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「RAM ﾌｧｲﾙﾘｽﾄ」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認メッセージが表示されます。

3 ［はい］（[Left Select]）キーを押してください。「受け付けました。」が表示され、RAM ディスク・ファイルリストを印刷します。

［いいえ］（[Right Select]）キーを押すと、RAM ディスク・ファイルリストの印刷は行わずレポート印刷メニューに戻ります。

「HDD ファイルリスト」（ハードディスク・ファイルリストの印刷）

ハードディスク内にあるファイルのリストを印刷できます。

注意：ハードディスクが装着され、正しくフォーマットされている場合のみ表示されます。

1 レポート印刷メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「HDD ﾌｧｲﾙﾘｽﾄ」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認メッセージが表示されます。

3 ［はい］（[Left Select]）キーを押してください。「受け付けました。」が表示され、ハードディスク・ファイルリストを印刷します。

［いいえ］（[Right Select]）キーを押すと、ハードディスク・ファイルリストの印刷は行わずレポート印刷メニューに戻ります。

「メモリカードファイルリスト」（メモリカード・ファイルリストの印刷）

メモリカード内にあるファイルのリストを印刷できます。

注意：メモリカードが装着され、正しくフォーマットされている場合のみ表示されます。

1 レポート印刷メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞﾌｧｲﾙﾘｽﾄ」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認メッセージが表示されます。

3 ［はい］（[Left Select]）キーを押してください。「受け付けました。」が表示され、メモリカード・ファイルリストを印刷します。

［いいえ］（[Right Select]）キーを押すと、メモリカード・ファイルリストの印刷は行わずレポート印刷メニューに戻ります。

```
印刷します。
よろしいですか？
→ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞﾌｧｲﾙﾘｽﾄ

[　はい　] [　いいえ　]
```

「USB メモリ」（USB メモリの選択）

USB メモリの取り外しやメモリ内の印刷設定をします。

USB メモリを装着すると、USB Memory メニューが自動的に表示されます。

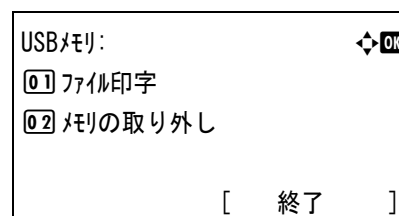
注意：USB メモリが装着され、USB ホストのブロックが設定されていない場合のみ表示されます。

USB メモリの選択には以下の項目があります。

- 「ファイル印字」（USB メモリ内ファイルの確認と印刷）
  一覧から選択したファイルを印刷
  一覧から選択したファイルの詳細情報を確認
- 「メモリの取り外し」（USB メモリの取り外し）

1 ［メニュー］キーを押してください。

2 ［△］または［▽］キーを押して、「USB ﾒﾓﾘ」を選択してください。

USB メモリメニューが表示され、操作項目の一覧が表示されます。

「ファイル印字」（USB メモリ内ファイルの確認と印刷）

USB メモリ内にあるフォルダ、ファイルを一覧表示します。

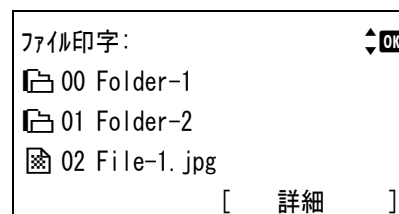
一覧から 1 つのファイルを選択し、印刷することができます。

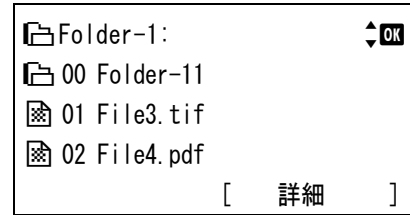
一覧から 1 つのフォルダまたはファイルを選択し、そのフォルダ（またはファイル）の詳細情報を確認することができます。

ファイルの一覧表示

1 USB メモリメニューで、［△］または［▽］キーを押して「ﾌｧｲﾙ印字」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「ﾌｧｲﾙ印字」が表示され、USB メモリ内のフォルダ、ファイルが一覧表示されます。

フォルダおよびファイルの数が 3 以上ある場合、［△］または［▽］キーを繰り返して押してください。一覧がスクロールします。

[△] または [▽] キーを押してフォルダを選択し [OK] キーを押してください。

そのフォルダ内のフォルダ、ファイルが一覧表示されます。

注意：ファイル印字では、USB メモリ内の PDF、TIFF、JPEG、および XPS ファイルのみ表示されます。フォルダの表示は 3 階層までです。USB メモリの容量やファイル数によっては、一覧表示に時間がかかる場合があります。

USB メモリファイルの印刷

USB メモリ内のファイルを選択して印刷します。

1 上記「**ファイルの一覧表示**」の手順で、印刷したいファイルが保存されている階層のファイルを一覧表示させてください。

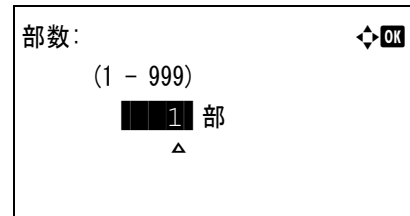
2 [△] または [▽] キーを押し、印刷したいファイルを選択してください。

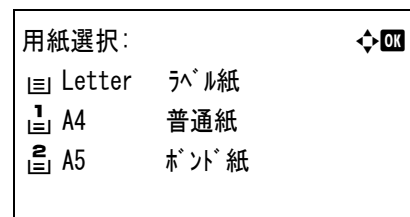
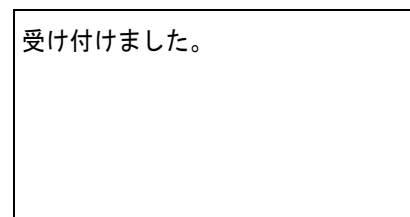
3 [OK] キーを押してください。部数メニューが表示されます。

注意：ハードディスクまたは RAM ディスクが設定されている場合のみ表示されます。

4 2 部以上印刷したい場合は、矢印キーを使って印刷したい部数を設定してください。

[△] または [▽] キーを押すと、カーソル位置の数値が増減します。

[◁] または [▷] キーを押すと、カーソル位置が左右に移動します。

5 [OK] キーを押してください。用紙選択メニューが表示されます。

用紙選択:
Letter ﾗﾍﾞﾙ紙
A4 普通紙
A5 ﾎﾞﾝﾄﾞ紙

6 [△] または [▽] キーを押し、印刷したい用紙の用紙トレイ選択し、[OK] キーを押してください。確認画面が表示されます。

受け付けました。

[はい]（[Left Select]）キーを押してください。「受け付けました。」が表示され、印刷を開始します。

[いいえ]（[Right Select]）キーを押すと、印刷ファイルの選択画面に戻ります。

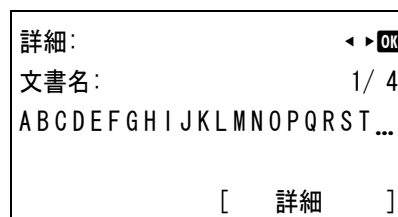
USB メモリファイルの詳細情報の確認

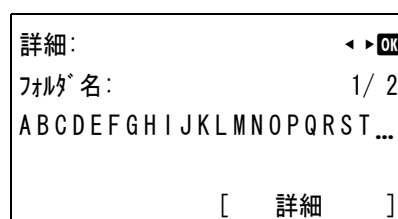
USB メモリ内のフォルダ、ファイルの情報を確認します。

1 上記「**ファイルの一覧表示**」の手順で、確認したいフォルダまたはファイルを一覧表示させてください。

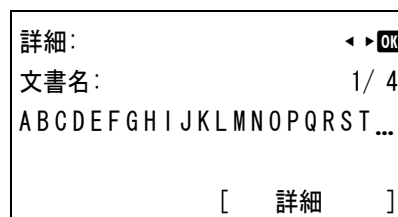
2 [△] または [▽] キーを押し、確認したいフォルダまたはファイルを選択してください。

3 [詳細]([Right Select]) キーを押してください。
詳細情報が表示されます。

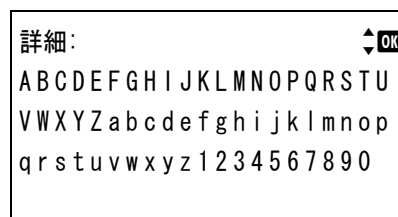
```
詳細:              ◂▸OK
文書名:             1/ 4
ABCDEFGHIJKLMNOPQRST…

            [  詳細  ]
```

フォルダを選択した場合、詳細情報は 2 画面あります。[◁] または [▷] キーを押して切り替えてください。

```
詳細:              ◂▸OK
ﾌｫﾙﾀﾞ名:            1/ 2
ABCDEFGHIJKLMNOPQRST…

            [  詳細  ]
```

ファイルを選択した場合、詳細情報は 4 画面あります。[◁] または [▷] キーを押して切り替えてください。

```
詳細:              ◂▸OK
文書名:             1/ 4
ABCDEFGHIJKLMNOPQRST…

            [  詳細  ]
```

フォルダ名、ファイル名表示の詳細情報で、フォルダ名またはファイル名が 1 行で全て表示できない場合、[詳細]([Right Select]) キーを押してください。フォルダ名、ファイル名が 3 行で表示されます。

フォルダ名、ファイル名が 3 行分以上ある場合は、[△] または [▽] キーを押すとフォルダ名、ファイル名をスクロールさせることができます。

```
詳細:              ▴▾OK
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTU
VWXYZabcdefghijklmnop
qrstuvwxyz1234567890
```

何れの詳細情報でも、[OK] キーを押すと USB メモリメニューに戻ります。

「メモリの取り外し」（USB メモリの取り外し）

USB メモリの取り外しを設定します。

1 USB メモリ画面で、［△］または［▽］キーを押して「メモリの取り外し」を選択してください。

本機から USB メモリを取り外せる状態になり、モード選択メニューの表示に戻ります。

重要：右の画面が表示されるときは、USB メモリは使用中です。USB メモリを使用した作業（例えば、USB メモリからの印刷など）が終了してから、再度メモリの取り外し操作を行ってください。

使用中のため取り外す
ことができません。

「ジョブボックス」（ジョブボックスの選択）

重要：ジョブボックスを使用するには、ハードディスクをプリンタに装着する必要があります。

試し刷り後、保留モードとプライベートプリントモードは、RAM ディスクでも使用できます。

ジョブボックスは、ジョブリテンション機能を実現する印刷機能です。設定はプリンタドライバより行います。プリンタドライバでの設定については、**KX プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。

ジョブリテンション機能

ジョブリテンション機能は、プリンタのハードディスクに印刷データを保存し、必要なときに印刷できます。次の 4 種類のモードがあり、プリンタドライバから選択できます。

ジョブリテンション	クイックコピーモード	試し刷り後、保留モード	プライベートプリントモード	ジョブ保留モード
機能	プリンタの操作パネルから、必要部数を追加印刷できます。	複数部数の印刷の際、1 部だけ印刷出力します。印刷の内容を確認してから、残りを印刷します。キャンセルすることもできるので、用紙を節約できます。	他人に見られたくない文書などを、アクセスコードを入力してから印刷させることができます。	FAX 送信用紙などのフォームをプリンタに保存し、必要なとき必要なものを必要な枚数だけ印刷できます。
アプリケーションからの印刷終了時	同時に印刷する	同時に 1 部だけ印刷する	印刷しない	印刷しない
印刷出力操作	プリンタの操作パネルから行う	プリンタの操作パネルから行う	プリンタの操作パネルから行う	プリンタの操作パネルから行う
初期印刷部数	ドライバから設定した部数（変更可能）	試し刷り後の残り部数（変更可能）	ドライバから設定した部数（変更可能）	1（変更可能）
最大格納ジョブ数†	32（50 まで拡張可能）	32（50 まで拡張可能）	ハードディスク容量に依存（印刷すると、そのジョブは自動的に消去）	ハードディスクの容量に依存
アクセスコード	不要	不要	必要	任意
印刷後のデータ	保存	保存	消去	保存
電源オフ時のデータ	消去	消去	消去	保存
ハードディスク	必要	不要（RAM ディスクでも動作）	不要（RAM ディスクでも動作）	必要

† 設定された数を超えると、古いジョブから順に削除されます。

設定方法は 4-20 ページの**「クイックコピー」（クイックコピー）**、4-22 ページの**試し刷り後、保留モード**、4-25 ページの**「個人 / ジョブ保留」（プライベートストア）**を参照してください。

参考：プリンタドライバでの設定と印刷（保存）方法については、**KX プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。

ジョブボックスの選択には以下の項目があります。

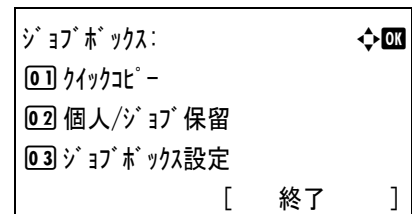
- **「クイックコピー」（クイックコピー）**
- **「個人 / ジョブ保留」（プライベートストア）**
- **「ジョブボックス設定」（ジョブボックスの設定）**

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「ｼﾞｮﾌﾞﾎﾞｯｸｽ」**を選択してください。

ジョブボックスメニューが表示され、操作項目が一覧表示されます。

「ｸｲｯｸｺﾋﾟｰ」は、ハードディスク内にクイックコピーモードで保存したジョブがある場合のみ表示されます。

「個人 / ｼﾞｮﾌﾞ保留」は、ハードディスクまたは RAM ディスク内に保存したジョブがある場合のみ表示されます。

「クイックコピー」（クイックコピー）

このモードは、一度印刷した文書を追加印刷するモードです。

プリンタドライバでクイックコピーを設定して文書を印刷すると、同時にハードディスクに保存します。印刷が必要になったときに操作パネルから必要な枚数を再印刷できます。

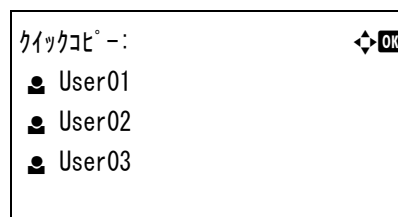
ハードディスクに保存できる最大文書数は、初期設定で 32 個（**ジョブボックスの設定**で最大 50 個まで変更可能）です。設定された最大数を越えて書類を保存すると、古いジョブから順に新しいジョブに上書きされます。

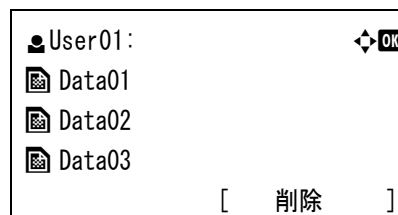
プリンタの電源を切ると、このモードで保存したジョブは消去されます。

クイックコピーを使った印刷のしかた

最初にクイックコピーモードでジョブの印刷を行います。設定手順は **KX ドライバ操作手順書**を参照してください。

1 ジョブボックスメニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「ｸｲｯｸｺﾋﾟｰ」**を選択してください。

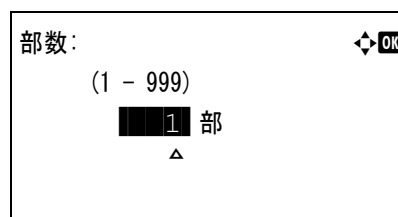
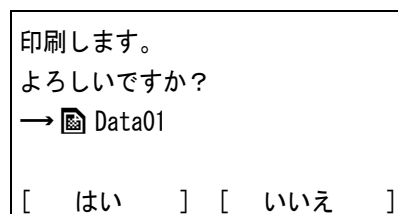
2 ［OK］キーを押してください。「ｸｲｯｸｺﾋﾟｰ」が表示され、ユーザ名が一覧表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、プリンタドライバに入力したご自身のユーザ名を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。選択したユーザ名で保存されているジョブの一覧が表示されます。

5 ［△］または［▽］キーを押して、印刷したいジョブ名を選択してください。

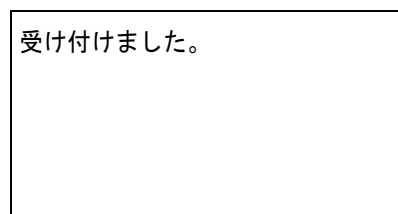
6 ［OK］キーを押してください。部数メニューが表示されます。

2 部以上印刷したい場合は、矢印キーを使って印刷したい部数を設定してください。

［△］または［▽］キーを押すと、カーソル位置の数値が増減します。

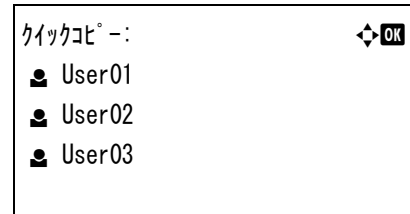
［◁］または［▷］キーを押すと、カーソル位置が左右に移動します。

7 ［OK］キーを押してください。確認メッセージが表示されます。

8 ［はい］（[Left Select]）キーを押してください。「受け付けました。」が表示され、選択したジョブを印刷します。

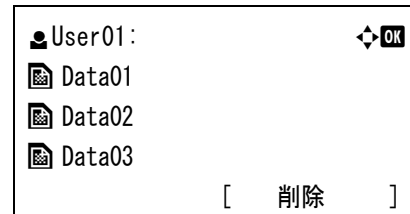
［いいえ］（[Right Select]）キーを押すと、ジョブの印刷は行わずジョブボックスメニューに戻ります。

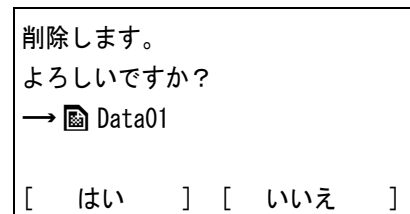
受け付けました。

クイックコピー文書の削除

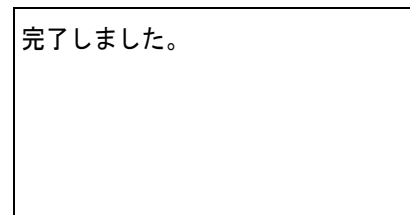
クイックコピーで保存されているジョブは、電源を切ると自動的に消去されますが、次の手順で個別に消去できます。

1 ジョブボックスメニューで、[△] または [▽] キーを押して、「ｸｲｯｸｺﾋﾟｰ」を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。「ｸｲｯｸｺﾋﾟｰ」が表示され、ユーザ名が一覧表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して、プリンタドライバに入力したご自身のユーザ名を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。選択したユーザ名で保存されているジョブの一覧が表示されます。

5 [△] または [▽] キーを押して、削除したいジョブ名を選択してください。

6 [削除]([Right Select]) キーを押してください。確認メッセージが表示されます。

7 [はい]([Left Select]) キーを押してください。「完了しました。」が表示され、選択したジョブが削除されます。

[いいえ]([Right Select]) キーを押すと、ジョブの削除は行わずジョブボックスメニューに戻ります。

試し刷り後、保留モード

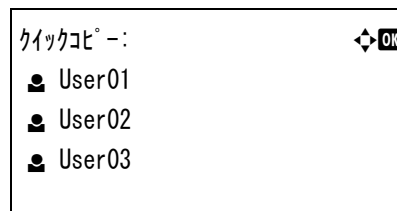
プリンタドライバで [**試し刷り後、保留**] を設定し、必要な部数を設定して印刷すると、プリンタは 1 部だけを出力し、文書データをハードディスクまたは RAM ディスクに保存します。残りの部数を印刷するときは操作パネルから印刷します。その際、印刷ページ数を変更することもできます。

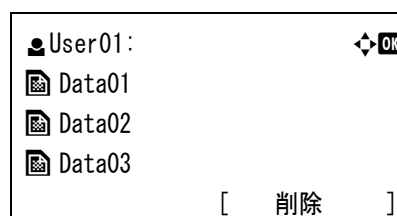
プリンタの電源を切ると、このモードで保存したジョブは消去されます。

保留されている残り部数の印刷のしかた

設定手順は KX **ドライバ操作手順書**を参照してください。

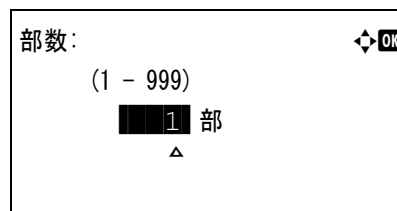
1 ジョブボックスメニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「ｸｲｯｸｺﾋﾟｰ」**を選択してください。

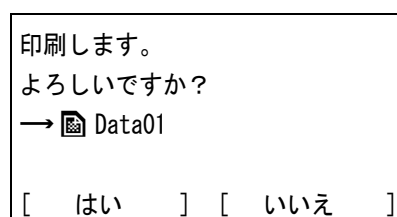
2 ［OK］キーを押してください。「ｸｲｯｸｺﾋﾟｰ」が表示され、保存されているジョブのユーザ名が一覧表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、プリンタドライバに入力した自分のユーザ名を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。選択したユーザ名で保存されているジョブの一覧が表示されます。

5 ［△］または［▽］キーを押して、印刷したいジョブ名を選択してください。

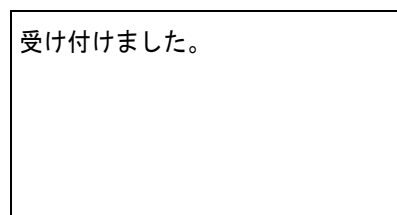
6 ［OK］キーを押してください。部数メニューが表示されます。

残りの出力部数を変更したい場合は、矢印キーを使って印刷したい部数を設定しなおしてください。

［△］または［▽］キーを押すと、カーソル位置の数値が増減します。

［◁］または［▷］キーを押すと、カーソル位置が左右に移動します。

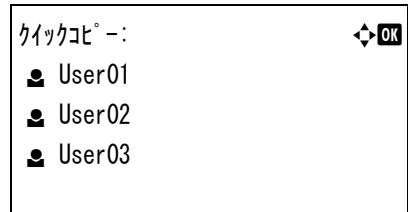
7 ［OK］キーを押してください。確認メッセージが表示されます。

8 **［はい］**（［Left Select］）キーを押してください。**「受け付けました。」**が表示され、選択したジョブを印刷します。

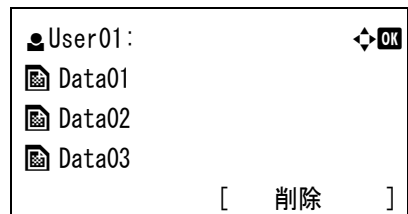
［いいえ］（［Right Select］）キーを押すと、ジョブの印刷は行わずジョブボックスメニューに戻ります。

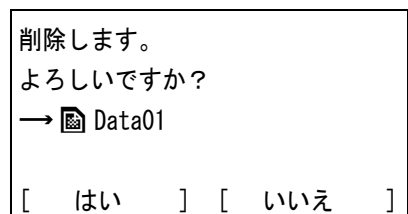
受け付けました。

保留されている文書の削除

保存されているジョブは、電源を切ると自動的に消去されますが、次の手順で個別に消去できます。

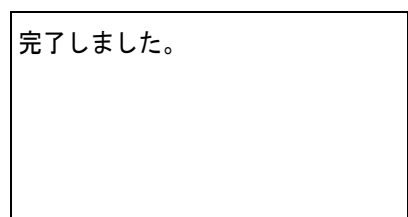
1 ジョブボックスメニューで、[△] または [▽] キーを押して、「ｸｲｯｸｺﾋﾟｰ」を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。「ｸｲｯｸｺﾋﾟｰ」が表示され、保存されているジョブのユーザ名が一覧表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して、プリンタドライバに入力した自分のユーザ名を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。選択したユーザ名で保存されているジョブの一覧が表示されます。

5 [△] または [▽] キーを押して、削除したいジョブ名を選択してください。

6 [削除]([Right Select]) キーを押してください。確認メッセージが表示されます。

7 [はい]([Left Select]) キーを押してください。選択したジョブが削除され、「完了しました。」が表示されます。

[いいえ]([Right Select]) キーを押すと、ジョブの削除は行わずジョブボックスメニューに戻ります。

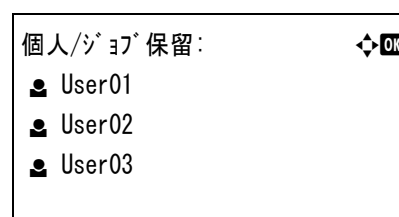
完了しました。

「個人 / ジョブ保留」（プライベートストア）

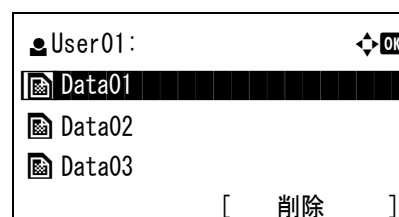
プライベートプリントは、印刷の際にドライバから設定したアクセスコードと同じ 4 桁の数字を、操作パネルから入力して印刷出力を可能にする機能です。データは印刷後に消去されます。

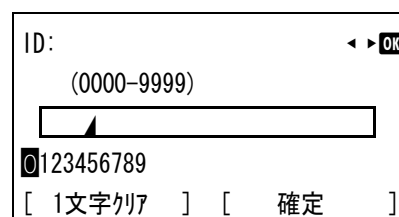
ジョブ保留モードはアクセスコードは使用せず、印刷出力後は印刷データをハードディスクまたは RAM ディスクに保持します。それぞれのドライバの設定方法は、KX **ドライバ操作手順書**を参照してください。

プライベートプリントおよびジョブ保留の印刷のしかた

1 ジョブボックスメニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「個人 / ｼﾞｮﾌﾞ保留」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「個人 / ｼﾞｮﾌﾞ保留」**が表示され、ユーザ名が一覧表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、プリンタドライバに入力したご自身のユーザ名を選択してください。

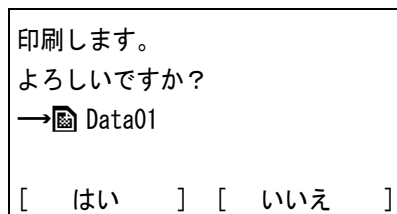
4 ［OK］キーを押してください。選択したユーザ名で保存されているジョブの一覧が表示されます。

5 ［△］または［▽］キーを押して、印刷したいジョブを選択してください。

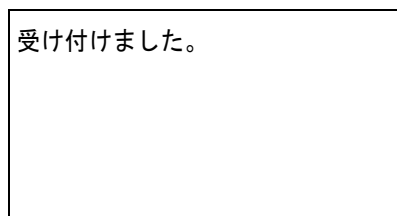
6 ［OK］キーを押してください。選択したジョブがプライベートプリントで保存したジョブの場合、**「ID」**が表示されます。ジョブ保存モードで保存したジョブの場合、直接**「部数」**が表示されます。

7 プリンタドライバで入力したアクセスコードを入力し、［**確定**］（［Right Select］）キーを押してください。**「部数」**が表示されます。入力したアクセスコードが間違っていると、再度**「ID」**が表示されます。

8 2 部以上印刷したい場合は、矢印キーを使って印刷したい部数を設定してください。

[△] または [▽] キーを押すと、カーソル位置の数値が増減します。

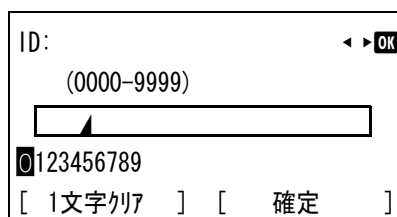
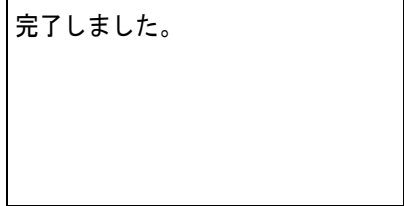
[◁] または [▷] キーを押すと、カーソル位置が左右に移動します。

9 [OK] キーを押してください。確認メッセージが表示されます。

10 [はい]（[Left Select]）キーを押してください。「受け付けました。」が表示され、選択したジョブを印刷します。

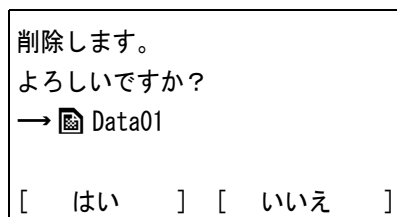
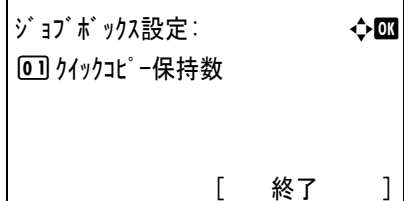
[いいえ]（[Right Select]）キーを押すと、ジョブの印刷は行わずジョブボックスメニューに戻ります。

保存ジョブの削除

保存されているジョブは、次の手順で個別に消去できます。また、プライベートプリントモードで保存されているジョブは、印刷後や電源を切ると自動的に消去されますが、ジョブ保留モードで保存したジョブは消去されません。

1 プライベートプリントおよびジョブ保留の印刷のしかたの手順 1 から 5（4-25 ページ）を参照して、削除するジョブを選択します。

2 [削除]（[Right Select]）キーを押してください。「ID」が表示されます。

3 プリンタドライバで入力したアクセスコードを入力します。[◁] または [▷] キーで数字を選択し、[OK] キーで入力してください。

[1 文字ｸﾘｱ]（[Left Select]）キーで 1 文字戻すことができます。

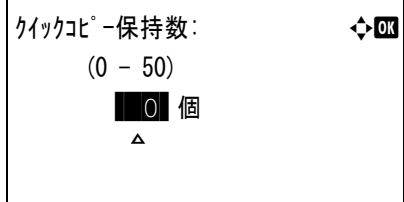
4 [確定]（[Right Select]）キーを押してください。入力したアクセスコードが正しければ、確認メッセージが表示されます。入力したアクセスコードが間違っていると、再度「ID」が表示されます。

5 ［はい］（［Left Select］）キーを押してください。**「完了しました。」**が表示され、選択したジョブを削除します。

［いいえ］（［Right Select］）キーを押すと、ジョブの削除は行わずに、ジョブボックスメニューに戻ります。

完了しました。

「ジョブボックス設定」（ジョブボックスの設定）

ハードディスクに保存できるクイックコピージョブの最大ジョブの数を変更します。

1 ジョブボックスメニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「ｼﾞｮﾌﾞﾎﾞｯｸｽ設定」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「ｼﾞｮﾌﾞﾎﾞｯｸｽ設定」**が表示されます。

3 **「ｸｲｯｸｺﾋﾟｰ保持数」**を選択し、［OK］キーを押してください。**「ｸｲｯｸｺﾋﾟｰ保持数」**が表示されます。

4 矢印キーを使って最大ジョブの数を入力してください。

［△］または［▽］キーを押すと、カーソル位置の数値が増減します。

［◁］または［▷］キーを押すと、カーソル位置が左右に移動します。

5 ［OK］キーを押してください。最大ジョブ数を設定し、ジョブボックスメニューに戻ります。

「ジョブ履歴」（ジョブログの表示）

既に印刷が終了したジョブの履歴を確認します。

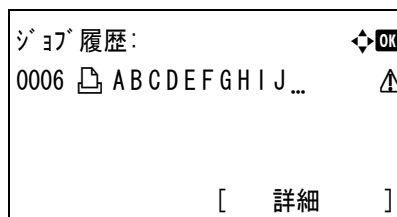
PC から印刷した結果に加えて、ステータスページなどのレポートや USB メモリから直接印刷した結果も確認できます。

ジョブ履歴で確認できる情報を下表に示します。

項目名	内容	結果の表示		
		表示	アイコン	解説
ジョブ名	ジョブ名	ジョブ名		ジョブの名称
結果	ジョブの状態	OK	OK	正常終了
		エラー	⚠	エラー発生
		中止		ジョブキャンセル
ジョブ種類	ジョブの種類	プリンタ		PC からの印刷
		レポート		レポート
		USB		USB メモリからの印刷
		E-mail		E-mail からの印刷
		ジョブボックス名		ジョブボックスからの印刷
ユーザ名	印刷したユーザ名	ユーザ名		
受付時刻	ジョブ受付時間	年 / 月 / 日　時 : 分		
終了時刻	ジョブ終了時間	年 / 月 / 日　時 : 分		
印刷ページ数	印刷ページ数	***Page(s)		ページ数
		/		印刷終了部数／印刷設定部数
カラー / 白黒	印刷タイプ	カラー		カラー印刷
		白黒		白黒印刷

1　［**メニュー**］キーを押してください。

2　［△］または［▽］キーを押して、**「ｼﾞｮﾌﾞ履歴」**を選択してください。

3　［OK］キーを押してください。**「ｼﾞｮﾌﾞ履歴」**が表示され、終了したジョブのジョブ番号、ジョブ名が一覧表示されます。また、各ジョブのジョブ種類、結果がアイコンで示されます。

4　［△］または［▽］キーを押して、詳細な情報を確認したいジョブ名を選択してください。

5 ［詳細］（[Right Select]）キーを押してください。ジョブ履歴の詳細が表示されます。

ジョブ履歴の詳細は、全部で 6 ページあります。

```
0006　詳細:
ｼﾞｮﾌﾞ名:                1/ 6
ABCDEFGHIJKLMNOPQRST…
              [　詳細　]
```

6 ［▷］キーを押すと次のページが表示されます。［◁］を押すと前のページに戻ります。

詳細情報表示中は、［OK］キーを押すとジョブ履歴メニューに戻ります。

ジョブ名表示のときに、名称が 1 行で全て表示されていない場合、［詳細］（[Right Select]）キーを押すと、名称が 3 行表示に切り替わります。名称が 3 行以上ある場合は、［△］または［▽］キーを押して、表示をスクロールさせることができます。

名称が 3 行表示のときに［OK］キーを押すと、名称が 1 行表示に戻ります。

```
詳細:
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTU
VWXYZabcdefghijklmnop
qrstuvwxyz1234567890
```

「カウンタ」（カウンタ値の確認）

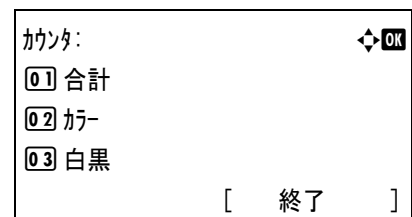
印刷ページ数の表示を行います。

カウンタ値の確認には以下の項目があります。

- 「合計」（総印刷ページ数の表示）
- 「カラー」（カラー印刷ページ数の表示）
- 「白黒」（白黒印刷ページ数の表示）

1 ［メニュー］キーを押してください。

2 ［△］または［▽］キーを押して、「ｶｳﾝﾀ」を選択してください。

3 ［OK］キーを押してください。カウンタメニューが表示され、選択項目が一覧表示されます。

「合計」（総印刷ページ数の表示）

総印刷ページ数は表示のみで、変更はできません。

1 カウンタメニューで、［△］または［▽］キーを押して「合計」を選択してください。

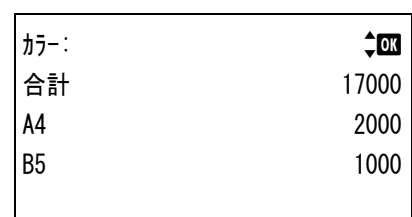
2 ［OK］キーを押してください。「合計」が表示され、総印刷ページ数が表示されます。

「カラー」（カラー印刷ページ数の表示）

カラー印刷ページ数の表示は、カラー印刷ページの総数と、9 種類の用紙サイズごとのカラー印刷ページ数を確認することができます。

カラー印刷ページ数は表示のみで、変更はできません。

1 カウンタメニューで、［△］または［▽］キーを押して「ｶﾗｰ」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「ｶﾗｰ」が表示され、カラー印刷の総ページ数および 2 種類の用紙サイズのカラー印刷のページ数が表示されます。

3 ［▽］キーを押すと、3 種類ずつ他の用紙サイズのカラー印刷ページ数が確認できます。

「白黒」（白黒印刷ページ数の表示）

白黒印刷ページ数の表示は、白黒印刷ページの総数と、9 種類の用紙サイズごとの白黒印刷ページ数を確認することができます。

白黒印刷ページ数は表示のみで、変更はできません。

1 カウンタメニューで、［△］または［▽］キーを押して**「白黒」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「白黒」**が表示され、白黒印刷の総ページ数および 2 種類の用紙サイズの白黒印刷のページ数が表示されます。

3 ［▽］キーを押すと、3 種類ずつ他の用紙サイズの白黒印刷ページ数が確認できます。

「用紙設定」（用紙の設定）

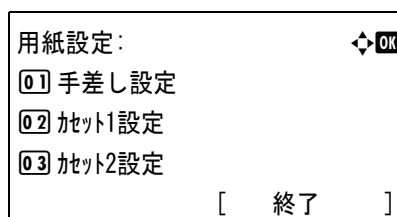
手差しトレイやカセット、各給紙元の用紙サイズと用紙の種類を設定します。

用紙の設定には以下の項目があります。

- **「手差し設定」（手差しトレイの設定）**
- **「カセット 1（～ 5）設定　用紙サイズ」（給紙カセットの用紙サイズ設定）**
- **「用紙種類の設定」（用紙属性の設定）**
- **「初期設定に戻す」（用紙の設定を初期設定に戻す）**

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「用紙設定」**を選択してください。

3 ［OK］キーを押してください。用紙設定メニューが表示され、設定項目が一覧表示されます。

用紙種類の設定

給紙カセットや手差しトレイの用紙種類を設定します。印刷時にプリンタドライバで用紙種類を選択できるようになります。

また、本機に登録されている用紙種類の他に、任意の用紙種類を設定できます。詳しくは、4-39 ページの**「用紙種類の設定」（用紙属性の設定）**を参照してください。

設定できる用紙の種類は、給紙元によって違います。次の表を参照してください。詳しくは、3　**用紙について**を参照してください。

給紙元	手差しトレイ	給紙カセット	
用紙種類（メッセージ表示）		ペーパーフィーダ（オプション、PF-500）	ペーパーフィーダ（オプション、PF-510）
普通紙［64 ～ 120 g/m²］	○	○	○
OHP フィルム	○	×	×
薄い用紙［60 ～ 64 g/m²］（薄紙）	○	×	×
ラベル用紙（ラベル紙）	○	×	○
再生紙［64 ～ 120 g/m²］	○	○	○
プレ印刷用紙（プレプリント）	○	○	○
ボンド紙	○	○	○
はがき	○	×	○
カラー紙［64 ～ 120 g/m²］	○	○	○
パンチ済み用紙	○	○	○
レターヘッド	○	○	○
封筒	○	×	○
加工紙（コート紙、その他の加工紙）	○	×	○

用紙種類（メッセージ表示）	給紙元 手差しトレイ	給紙カセット ペーパーフィーダ（オプション、PF-500）	 ペーパーフィーダ（オプション、PF-510）
厚い用紙［120 ～ 220 g/m²］（厚紙）	○	×	○
カラー印刷用紙（上質紙）	○	○	○
カスタム＃	○	○	○

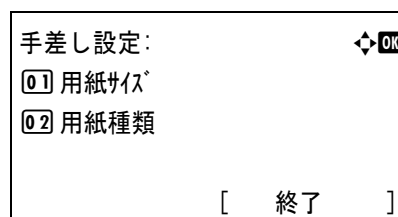
○：用紙種類を設定できます。　×：用紙種類を設定できません。

「手差し設定」（手差しトレイの設定）

手差しトレイから給紙する用紙に正しく印刷するために、次の手順で用紙サイズ、用紙の種類を設定してください。工場出荷時は、A4 サイズ、普通紙に設定されています。

参考：本メニューで設定した用紙サイズと同じサイズの用紙を、手差しトレイにセットしてください。設定が一致しないと紙づまりの原因になります。

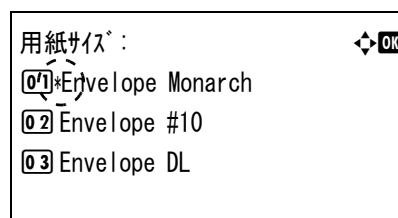
「用紙サイズ」（用紙サイズの設定）

1 用紙設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「手差し設定」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。手差し設定メニューが表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「用紙ｻｲｽﾞ」**を選択してください。

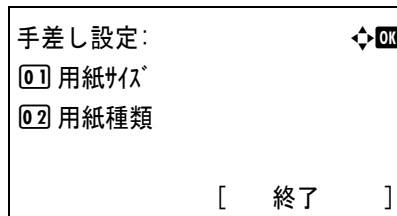
4 ［OK］キーを押してください。**「用紙ｻｲｽﾞ」**が表示され、手差しトレイで使用できる用紙サイズが一覧表示されます。表示されるサイズは次のとおりです。

用紙ｻｲｽﾞ:
01*Envelope Monarch
02 Envelope #10
03 Envelope DL

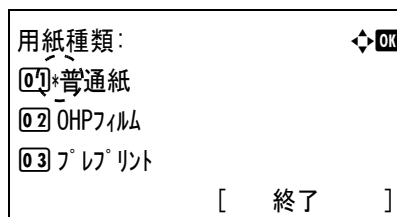
Envelope Monarch	Envelope #10		
Envelope DL	Envelope C5	Executive	
Letter	Legal	A4	
B5	A5	A6	
B6	Envelope #9	Envelope #6	
ISO B5	ｶｽﾀﾑ	はがき	
往復はがき	Oficio II	16K	
Statement	Folio	洋形 2 号	洋形 4 号

5 ［△］または［▽］キーを押して希望する用紙サイズを選択し、［OK］キーを押してください。手差しトレイの用紙サイズが設定され、用紙設定メニューに戻ります。

「用紙種類」（用紙の種類の設定）

1 用紙設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「手差し設定」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。手差し設定メニューが表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「用紙種類」**を選択してください。

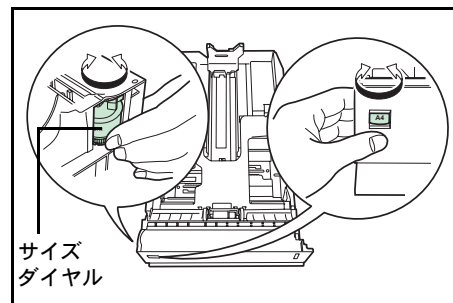
4 ［OK］キーを押してください。**「用紙種類」**が表示され、手差しトレイで使用できる用紙の種類が一覧表示されます。表示される種類は次のとおりです。

普通紙	OHP ﾌｨﾙﾑ	ﾌﾟﾚﾌﾟﾘﾝﾄ	
ﾗﾍﾞﾙ紙	ﾎﾞﾝﾄﾞ紙	再生紙	
薄紙	ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ	ｶﾗｰ紙	
ﾊﾟﾝﾁ済み紙	封筒	はがき	
加工紙	厚紙	上質紙	ｶｽﾀﾑ 1 〜 8

5 ［△］または［▽］キーを押して設定したい用紙の種類を選択し、［OK］キーを押してください。手差しトレイの用紙種類が設定され、用紙設定メニューに戻ります。

「カセット 1（〜 5）設定　用紙サイズ」（給紙カセットの用紙サイズ設定）

本機の給紙カセットに用紙をセットする場合は、次の手順で給紙カセットのサイズダイヤルを設定してください。規格紙（A5、A4、B5、Letter、Legal、A6（本体カセット））以外のサイズの用紙を給紙カセットにセットする場合は、4-35 ページの**カスタム用紙サイズ**を参照してください。カセット内の用紙ガイドの調整手順は、**5　日常のメンテナンス（用紙の補給）**を参照してください。

また、**オプションカセット** PF-500、PF-510 を装着している場合には、ペーパーフィーダの給紙カセットも同じ手順で設定します。

1 プリンタから給紙カセットを引き出し、サイズダイヤルを使用する用紙のサイズに合わせてください。

2 印刷する用紙のサイズに合わせて、給紙カセット内の用紙ガイドを調整し、用紙をカセットにセットしてください。

カスタム用紙サイズ

A5、A4、B5、Letter、Legal、A6（本体カセット）の規格紙以外のサイズの用紙を給紙カセットにセットする場合は、次の手順で設定してください。

サイズダイヤルの設定

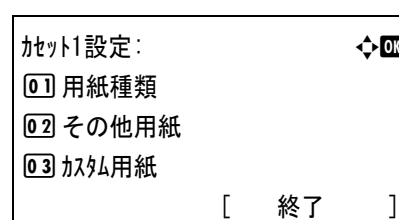
1 プリンタから給紙カセットを引き出し、サイズダイヤルを Other に合わせてください。詳しくは、4-34 ページの**「カセット 1（～ 5）設定　用紙サイズ」（給紙カセットの用紙サイズ設定）**の手順 1 を参照してください。

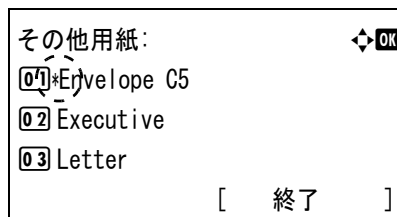
2 印刷する用紙のサイズに合わせて、給紙カセット内の用紙ガイドを調整し、用紙をカセットにセットしてください。

操作パネルからの用紙サイズの設定

給紙カセットのサイズダイヤルを Other に設定した場合には、操作パネルから、給紙カセットにセットした用紙のサイズをプリンタに設定します。

1 用紙設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、サイズダイヤルを Other に設定したカセット選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。カセット 1（～ 5）設定 メニューが表示されます。

3 ［▽］キーを押して、**「その他用紙」**を選択し、［OK］キーを押してください。**「その他用紙」**が表示され、給紙カセットで使用できる用紙サイズが一覧表示されます。表示されるサイズは次のとおりです。

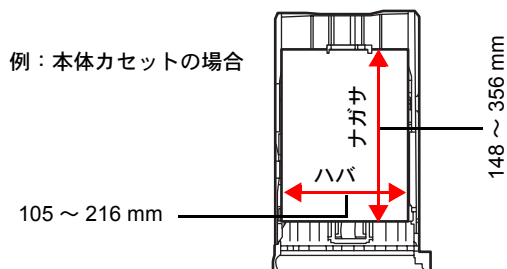
その他用紙:
01 *Envelope C5
02 Executive
03 Letter
［ 終了 ］

Envelope Monarch（#2）
Envelope #10（#2）
Envelope DL（#2）
Envelope C5
Executive
Letter
Legal
A4
B5
A5
A6（#1）
Envelope #9（#2）
Envelope #6（#2）
ISO B5
ｶｽﾀﾑ
往復はがき（#2）
Oficio II
16K
Statement
Folio
洋形２号（#2）
洋形４号（#2）

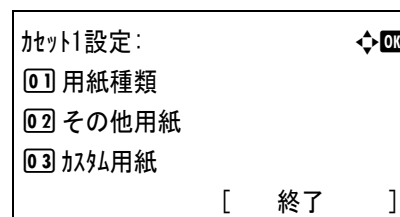
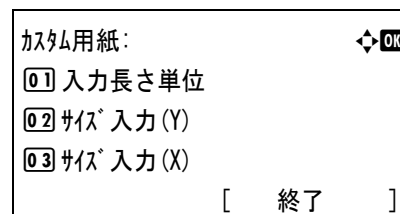
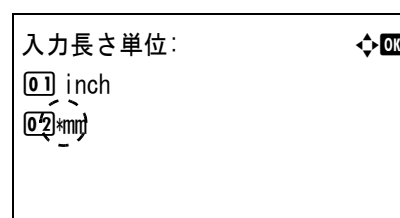
#1 給紙カセット1のみ
#2 オプションカセットPF-510装着時のみ

4 ［△］または［▽］キーを押して希望する用紙サイズを選択し、［OK］キーを押してください。選択した給紙カセットの用紙サイズが設定され、用紙設定メニューに戻ります。

手順 4 で「ｶｽﾀﾑ」を選んだ場合は、次の手順で用紙の幅と長さを設定してください。

カスタム用紙サイズの設定

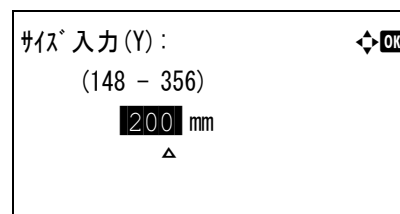
次の手順で、カスタム用紙サイズを入力する単位を設定し、用紙の幅と長さを入力します。図のように用紙サイズの「Y」と「X」を、設定した単位で入力してください。

1 カセット 1（～ 5）設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「ｶｽﾀﾑ用紙」を選択してください。

ｶｾｯﾄ1設定:
01 用紙種類
02 その他用紙
03 ｶｽﾀﾑ用紙
［　終了　］

2 ［OK］キーを押してください。カスタム用紙メニューが表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して「**入力長さ単位**」を選択し、［OK］キーを押してください。「**入力長さ単位**」が表示されます。

4 ［△］または［▽］キーを押して用紙サイズの単位を選択し、［OK］キーを押してください。入力する用紙サイズの単位が設定され、カスタム用紙メニューに戻ります。

5 ［△］または［▽］キーを押して「**ｻｲｽﾞ入力 (Y)**」を選択し、［OK］キーを押してください。「**ｻｲｽﾞ入力 (Y)**」が表示されます。

6 矢印キーを使って用紙の長さ（Y）を入力してください。

［△］または［▽］キーを押すと、カーソル位置の数値が増減します。

［◁］または［▷］キーを押すと、カーソル位置が左右に移動します。

各カセットで設定できる用紙長の範囲は、以下の通りです。

- 本体カセット：148 ～ 356 mm　5.83 ～ 14.02 インチ
- オプションカセット PF-500、PF-510：162 ～ 356 mm　6.38 ～ 14.02 インチ

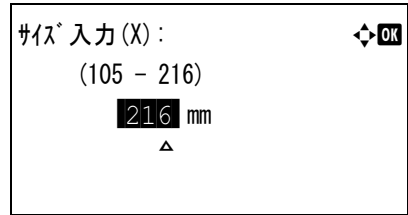
7 ［OK］キーを押してください。入力する用紙サイズの単位が設定され、カスタム用紙メニューに戻ります。

8 ［△］または［▽］キーを押して「**ｻｲｽﾞ入力 (X)**」を選択し、［OK］キーを押してください。「**ｻｲｽﾞ入力 (X)**」が表示されます。

9 矢印キーを使って用紙の幅（X）を入力してください。

ｻｲｽﾞ入力(X):
(105 - 216)
216 mm

［△］または［▽］キーを押すと、カーソル位置の数値が増減します。

［◁］または［▷］キーを押すと、カーソル位置が左右に移動します。

各カセットで設定できる用紙幅の範囲は、以下の通りです。

- 本体カセット：105 ～ 216 mm　4.13 ～ 8.50 インチ
- オプションカセット PF-500、PF-510：92 ～ 216 mm　3.62 ～ 8.50 インチ

10 ［OK］キーを押してください。入力する用紙サイズの単位が設定され、カスタム用紙メニューに戻ります。

11 ［終了］（[Right Select]）キーを押すと、モード選択メニューを抜け、通常の表示に戻ります。

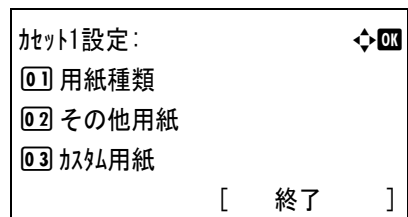
「カセット 1（～ 5）設定　用紙種類」（給紙カセットの用紙種類設定）

給紙カセットごとに用紙種類を設定すると、印刷時にアプリケーションから指定した用紙種類に合わせて、自動的に給紙カセットが選択されて給紙します。工場出荷時は**「普通紙」**に設定されています。

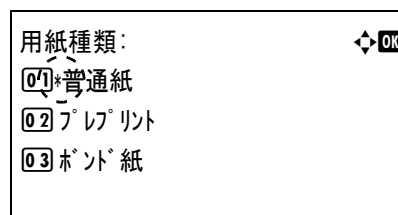
オプションの**ペーパーフィーダ** PF-500、PF-510 を装着している場合は、ペーパーフィーダの給紙カセットにも、同様の手順で用紙種類を設定できます。

給紙カセットから給紙できる用紙の種類について、詳しくは**用紙について**を参照してください。

1 用紙設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、設定したい給紙カセットを選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。カセット 1（～ 5）設定メニューが表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「用紙種類」**を選択し、［OK］キーを押してください。**「用紙種類」**が表示され、選択した給紙カセットで使用できる用紙の種類が一覧表示されます。表示される種類は次のとおりです。

本体給紙カセットの場合	オプションカセット PF-500 給紙カセット 2 ～ 5 の場合	オプションカセット PF-510 給紙カセット 2 ～ 5 の場合
普通紙	普通紙	普通紙
プレプリント	プレプリント	プレプリント
ボンド紙	ボンド紙	ラベル紙
再生紙	再生紙	ボンド紙
レターヘッド	レターヘッド	再生紙
カラー紙	カラー紙	レターヘッド
パンチ済み紙	パンチ済み紙	カラー紙
上質紙	上質紙	パンチ済み紙
カスタム 1 ～ 8	カスタム 1 ～ 8	封筒
		はがき
		加工紙
		厚紙
		上質紙
		カスタム 1 ～ 8

4 ［△］または［▽］キーを押して設定したい用紙の種類を選択し、［OK］キーを押してください。選択した給紙カセットの用紙の種類が設定され、カセット 1（～ 5）設定メニューに戻ります。

「用紙種類の設定」（用紙属性の設定）

用紙の厚さは紙の重さを選択することで行います。用紙種類ごとに用紙の重さを設定できます。また、プリンタに登録したカスタムサイズの用紙（最大 8 個）に対しては、用紙の重さと両面印刷の可否を設定する事ができます。（カスタム用紙サイズの登録については、4-36 ページの**カスタム用紙サイズの設定**を参照してください。）

通常用紙の設定をする場合は、4-39 ページの**「用紙重さ」（用紙の厚さ設定）**を参照してください。カスタムサイズの用紙設定をする場合は、4-41 ページの**「用紙重さ / 両面」（カスタムサイズの用紙の厚さ・両面印刷設定）**を参照してください。

「用紙重さ」（用紙の厚さ設定）

選択した用紙の重さを設定します。

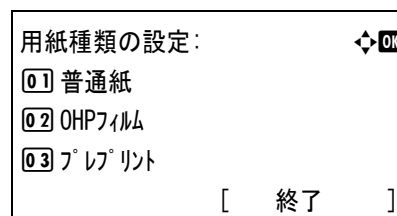
選択できる重さは次の通りです（坪量は目安です）。

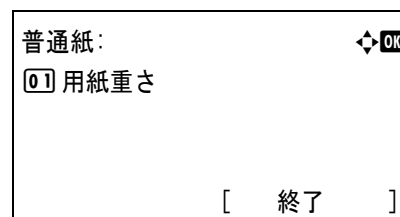
非常に重い	（OHP）
重い 3	（170～220 g/m²）
重い 2	（135～170 g/m²）
重い 1	（120～135 g/m²）
普通 3	（90～120 g/m²）
普通 2	（75～90 g/m²）
普通 1	（64～75 g/m²）
軽い	（60～64 g/m²）

初期設定は普通紙用に**「普通 1」**に設定されています。普通紙以外の用紙を使用する場合は、各用紙で最適な印刷になるように、下記の表を参考に紙の厚さを変更してお使いください。

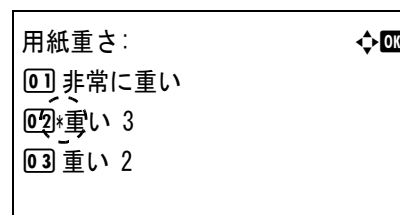
用紙種類	紙の厚さ
普通紙	普通 1
OHP フィルム	重い 2
プレプリント	普通 2
ラベル紙	重い 1
ボンド紙	普通 3
再生紙	普通 1
薄紙	軽い
レターヘッド	普通 2
カラー紙	普通 1
パンチ済み紙	普通 1
封筒	重い 3
はがき	重い 2
加工紙	普通 2
厚紙	重い 2
上質紙	普通 1
カスタム 1 ～ 8	普通 1

1 用紙設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「用紙種類の設定」**（用紙属性の設定）を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「用紙種類の設定」**が表示され、プリンタで使用できる用紙の種類の一覧が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して厚さを設定したい用紙の種類を選択し、［OK］キーを押してください。選択した用紙名のメニューが表示されます。

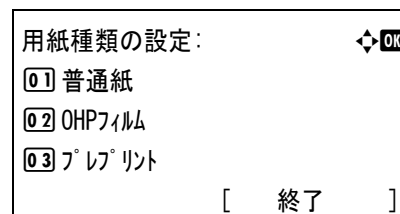
4 ［△］または［▽］キーを押して**「用紙重さ」**を選択し、［OK］キーを押してください。**「用紙重さ」**が表示されます。

5 ［△］または［▽］キーを押して用紙の重さを選択してください。

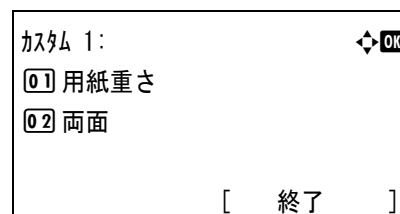
6 ［OK］キーを押してください。

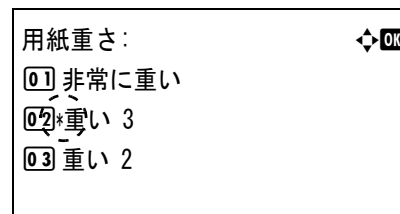
用紙の重さ（厚さ）を設定し、用紙設定メニューに戻ります。

「用紙重さ / 両面」（カスタムサイズの用紙の厚さ・両面印刷設定）

選択したカスタムサイズ用紙の重さと両面印刷の可否を設定します。

1 用紙設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「用紙種類の設定」**（用紙属性の設定）を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「用紙種類の設定」**が表示され、プリンタで使用できる用紙の種類の一覧が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押してカスタム用紙（カスタム 1 ～ 8）を選択し、［OK］キーを押してください。カスタム 1（～ 8）メニューが表示されます。

4 ［△］または［▽］キーを押して**「用紙重さ」**を選択し、［OK］キーを押してください。**「用紙重さ」**が表示されます。

5 ［△］または［▽］キーを押して用紙の重さを選択し、［OK］キーを押してください。

用紙の重さ（厚さ）が設定され、用紙種類の設定に戻ります。

6 ［△］または［▽］キーを押して、もう一度同じカスタム用紙（カスタム 1 ～ 8）を選択し、［OK］キーを押してください。カスタム 1（～ 8）メニューが表示されます。

用紙種類の設定:
01 普通紙
02 OHPﾌｨﾙﾑ
03 ﾌﾟﾚﾌﾟﾘﾝﾄ
[終了]

7 ［△］または［▽］キーを押して**「両面」**を選択し、［OK］キーを押してください。**「両面」**が表示されます。

8 ［△］または［▽］キーを押して両面印刷の可否を選択します。

両面印刷を許可する場合は**「許可」**を、許可しない場合は**「禁止」**を選択してください。

9 ［OK］キーを押してください。

両面印刷の可否が設定され、用紙種類の設定に戻ります。

「初期設定に戻す」（用紙の設定を初期設定に戻す）

4-39 ページの**「用紙種類の設定」（用紙属性の設定）**で設定したすべての種類の用紙について属性の設定をリセットします。

1 用紙設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「初期設定に戻す」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

3 ［はい］（[Left Select]）キーを押してください。**「完了しました。」**が表示され、用紙設定メニューに戻ります。

［いいえ］（[Right Select]）キーを押すと、カスタム設定のリセットは行わずに、用紙設定メニューに戻ります。

種類属性のﾘｾｯﾄを
行います。
よろしいですか？

［　はい　］［　いいえ　］

「印刷設定」（印刷の設定）

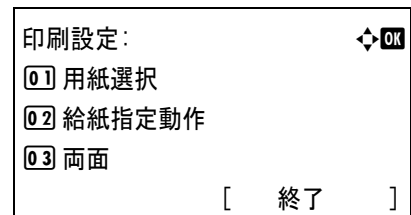
印刷時の給紙元、給紙動作、両面印刷、A4/Letter 用紙の共通給紙、エミュレーションモード、カラーモード、印刷品質、印刷環境の設定を行います。

印刷品質の設定には以下の項目があります。

- 「用紙選択」（給紙元の選択）
- 「給紙指定動作」（給紙動作の設定）
- 「両面」（両面印刷の設定）
- 「A4/LTR 共通使用」（A4/Letter 用紙の共通給紙設定）
- 「エミュレーション設定」（エミュレーションの設定）
- 「カラー設定」（カラーモードの設定）
- 「印刷品質」（印刷品質の設定）
- 「印刷環境」（印刷環境の設定）

1 ［メニュー］キーを押してください。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「印刷設定」**を選択してください。

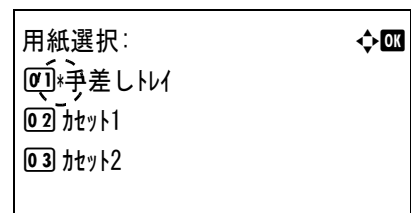
3 ［OK］キーを押してください。印刷設定メニューが表示され、設定項目が一覧表示されます。

「用紙選択」（給紙元の選択）

給紙元を設定します。アプリケーションからの印刷で給紙元を指定しないときは、ここで設定した給紙元から給紙されます。給紙カセットや手差しトレイのほかに、オプションカセットを給紙元として設定することもできます。

1 印刷設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「用紙選択」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「用紙選択」**が表示され、給紙元の一覧が表示されます。

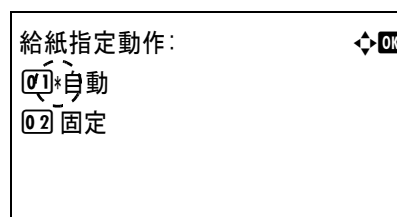
次の給紙元が表示されます。カセット 2 ～ 5 は、実際にオプションカセットが装着されている場合に表示されます。

手差しﾄﾚｲ
ｶｾｯﾄ1（プリンタ本体の給紙カセット）
ｶｾｯﾄ2～5（オプションカセット装着時）

3 ［△］または［▽］キーを押して給紙元を選択し、［OK］キーを押してください。選択した給紙カセット給紙元として設定し、印刷設定メニューに戻ります。

「給紙指定動作」（給紙動作の設定）

給紙元（カセット、トレイ）と用紙の種類を指定している場合、給紙の仕方を指定する機能です。**「自動」**にすると、用紙のサイズ、種類が合致した給紙元を検索し、一致した給紙元より用紙を送ります。**「固定」**にすると、指定した給紙元が合致しない場合、**「ｴﾗｰ処理設定」**の**「用紙ﾐｽﾏｯﾁ」**で設定した動作を行います。**「固定」**時の給紙動作については、4-69 ページの**用紙ミスマッチ（用紙ミスマッチエラー時動作の設定）**を参照してください。初期設定は**「自動」**です。設定を変更する場合は、次の手順で行ってください。

1. 印刷設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「給紙指定動作」**を選択してください。

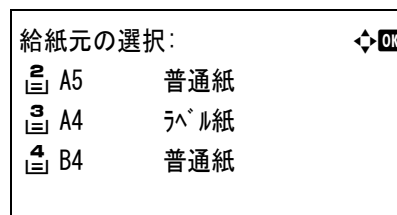
2. ［OK］キーを押してください。**「給紙指定動作」**が表示されます。

3. ［△］または［▽］キーを押して給紙指定動作を選択し、［OK］キーを押してください。選択した給紙指定動作を設定し、印刷設定メニューに戻ります。

印刷途中で用紙がなくなったとき

給紙指定動作を**「固定」**に設定した場合、印刷途中で給紙カセットの用紙がなくなると、**「ｶｾｯﾄ 1 に用紙を補給してください。」**と表示して待機します。この場合は、用紙がなくなった給紙カセットに用紙を補給するか、次の手順で他の給紙元から印刷を行います。

1. **「ｶｾｯﾄ 1 に用紙を補給してください。」**を表示中に、［**代用給紙**］（[Left Select]）キーを押してください。給紙元の選択メニューが表示されます。

2. 希望する給紙元およびサイズが表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

   ［△］または［▽］キーを押すごとに、他の給紙カセットあるいは手差しトレイの現在使用できる給紙サイズが表示されます。

3. ［OK］キーを押してください。印刷が続行されます。

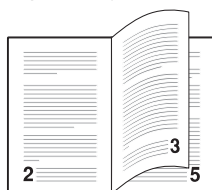
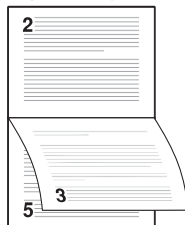
「両面」（両面印刷の設定）

両面印刷が可能な用紙の種類は、給紙カセットから給紙できる用紙です。**OHP ﾌｨﾙﾑ、ﾗﾍﾞﾙ紙、薄紙、封筒、はがき、加工紙、厚紙**は、両面印刷できません。（4-32 ページの**用紙種類の設定**を参照）。

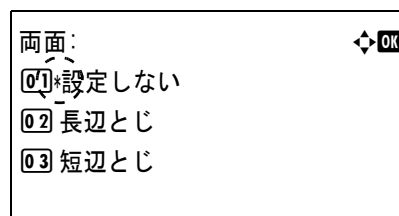
注意：手差しトレイから両面印刷する場合、給紙カセットから給紙できる用紙を使用しないと、紙づまりの原因となりますのでご注意ください。

参考：オプションカセット（PF-510）を装着した場合、コート紙（加工紙）の両面印刷をすることができます。

製本モードの設定

製本モードには縁の長い側をとじる長辺とじと、縁の短い側をとじる短辺とじの 2 種類があります。ロングエッジまたはショートエッジは、プリンタの縦置き（ポートレート）印刷や横置き（ランドスケープ）印刷と組み合わせて選択できます。したがって、製本の種類および印刷方向によって、製本モードは次の 4 通りが設定できます。

参考：プリンタドライバのブックレット機能と組み合わせると、中とじ製本の可能な、ページ割付け印刷ができます。

1 印刷設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「両面」**を選択してください。

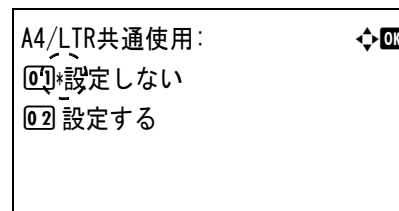
2 ［OK］キーを押してください。**「両面」**が表示され、両面印刷モードが一覧表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して両面印刷モードを選択し、［OK］キーを押してください。選択した両面印刷モードを設定し、印刷設定メニューに戻ります。

［**設定しない**］を選択すると両面印刷は行いません。

「A4/LTR 共通使用」（A4/Letter 用紙の共通給紙設定）

この設定を「**設定する**」にすると、A4 サイズと Letter を区別せずに給紙を行います。工場出荷時の設定は「**設定しない**」（A4 サイズと Letter を区別する）になっています。

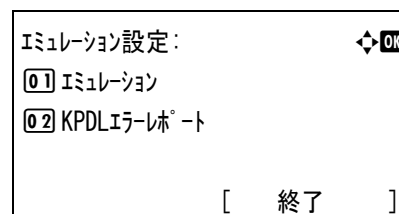
1 印刷設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「A4/LTR 共通使用」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「A4/LTR 共通使用」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して［**設定する**］または［**設定しない**］を選択し、［OK］キーを押してください。選択したモードを設定し、印刷設定メニューに戻ります。

「エミュレーション設定」（エミュレーションの設定）

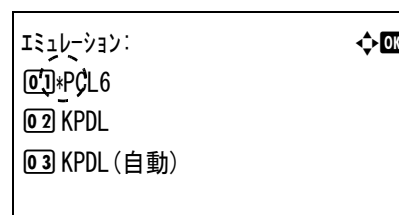
「エミュレーション」（エミュレーションモードの選択）

1 印刷設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ設定」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。エミュレーション設定メニューが表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して「ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ」を選択し、［OK］キーを押してください。「ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ」が表示され、使用できるエミュレーションが一覧表示されます。

次のエミュレーションが、選択できます。

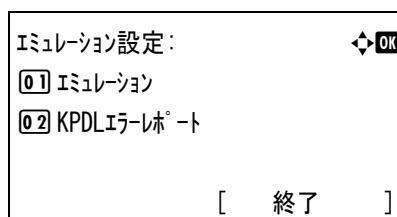
PCL6
KPDL
KPDL（自動）

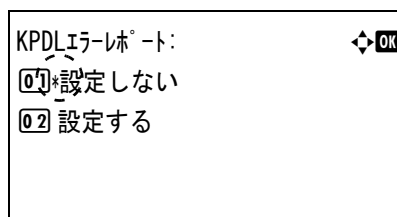
4 ［△］または［▽］キーを押してエミュレーションを選択し、［OK］キーを押してください。選択したエミュレーションを設定し、エミュレーション設定メニューに戻ります。

「KPDL エラーレポート」（KPDL エラーレポートの設定）

KPDL エミュレーションモードで印刷中に、エラーが発生した際にその内容を印刷します。初期設定は、印刷しない設定（オフ）です。KPDL エラーを印刷するには、次の手順で設定を変更してください。

注意：この設定は、エミュレーションに KPDL または KPDL（自動）を選択したときのみ表示されます。

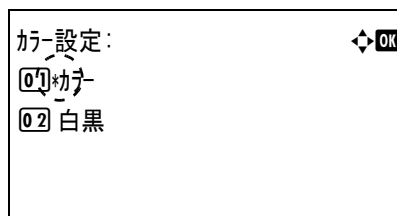
1 印刷設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ設定」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。エミュレーション設定メニューが表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して**「KPDL ｴﾗｰﾚﾎﾟｰﾄ」**を選択し、［OK］キーを押してください。**「KPDL ｴﾗｰﾚﾎﾟｰﾄ」**が表示されます。

4 ［△］または［▽］キーを押して［**設定する**］または［**設定しない**］を選択し、［OK］キーを押してください。選択したモードを設定し、エミュレーション設定メニューに戻ります。

「カラー設定」（カラーモードの設定）

カラーモードまたは白黒モードを選択します。初期設定では、カラーモードに設定されています。次の手順でモードを変更できます。

1 印刷設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「ｶﾗｰ設定」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「ｶﾗｰ設定」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して希望するカラーモードを選択し、［OK］キーを押してください。

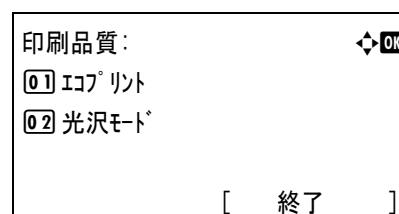
カラーモードを設定し、印刷設定メニューに戻ります。

「印刷品質」（印刷品質の設定）

印刷時、光沢の強弱とエコプリント（トナー消費をおさえて印刷）の選択を設定します。

印刷品質の設定には以下の項目があります。

- **「エコプリント」（エコプリントの設定）**
- **「光沢モード」（光沢モードの設定）**

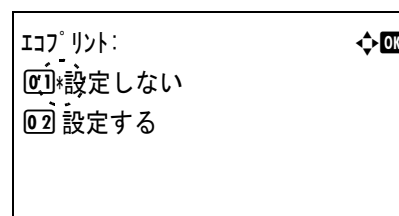
1 印刷設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「印刷品質」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「印刷品質」**が表示されます。

「エコプリント」（エコプリントの設定）

エコプリントモードを**「設定する」**にすると、トナー消費量をおさえて印刷することができます。印刷結果は標準解像度に比べ、画像がやや粗くなるため、試しプリントなど高品質な出力紙が必要でないときに使用してください。

エコプリントモードは、次のように切り換えます。初期設定は**「設定しない」**です。

1 印刷品質メニューで、［△］または［▽］キーを押し**「ｴｺﾌﾟﾘﾝﾄ」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「ｴｺﾌﾟﾘﾝﾄ」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して［**設定する**］または［**設定しない**］を選択し、［OK］キーを押してください。エコプリントを設定し、印刷品質メニューに戻ります。

「光沢モード」（光沢モードの設定）

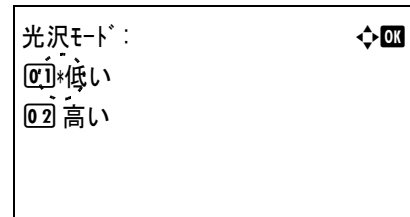
光沢モードを**「高い」**に設定すると、印刷物の光沢を増すことができます。ただし、印刷時間が長くなります。

重要：光沢モードの**「高い」**は、用紙種類が**ﾗﾍﾞﾙ紙や OHP ﾌｨﾙﾑ以外**の設定で有効です（4-32 ページの**用紙種類の設定**を参照）。

光沢モードで印刷を行うと、用紙の種類や状態によっては用紙にシワが入ることがあります。その場合はシワの入りにくい、厚めの用紙に代えてみてください。

光沢モードは、次のように切り換えます。初期設定は**「低い」**です。

1　印刷品質メニューで、[△] または [▽] キーを押し「**光沢ﾓｰﾄﾞ**」を選択してください。

2　[OK] キーを押してください。「**光沢ﾓｰﾄﾞ**」が表示されます。

3　[△] または [▽] キーを押して希望する光沢モードを選択し、[OK] キーを押してください。選択したモードを設定し、印刷品質メニューに戻ります。

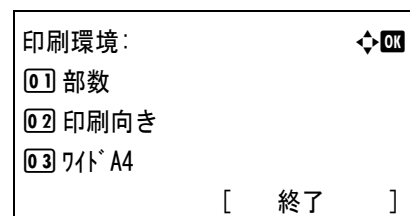
「印刷環境」（印刷環境の設定）

印刷枚数や印刷方向など、印刷環境の設定を行います。

印刷環境の設定には以下の項目があります。

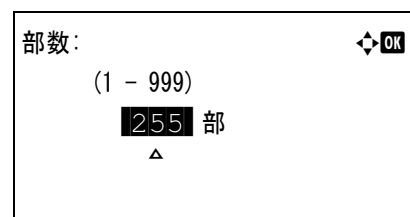
- **「部数」（部数の設定）**
- **「印刷向き」（印刷方向の設定）**
- **「ワイド A4」（ワイド A4 の設定）**
- **XPS 印刷範囲設定（XPS ドキュメントの出力サイズ調整）**
- **TIFF/JPEG サイズ（TIFF/JPEG データの出力サイズ調整）**

1　印刷設定メニューで、[△] または [▽] キーを押して、「**印刷環境**」を選択してください。

2　[OK] キーを押してください。印刷環境メニューが表示されます。

「部数」（部数の設定）

現在選択しているインタフェースから印刷する枚数を設定します。

1　印刷環境メニューで、[△] または [▽] キーを押し「**部数**」を選択してください。

2　[OK] キーを押してください。「**部数**」が表示されます。

3 矢印キーを使って希望する部数を入力してください。

［△］または［▽］キーを押すと、カーソル位置の数値が増減します。

［◁］または［▷］キーを押すと、カーソル位置が左右に移動します。

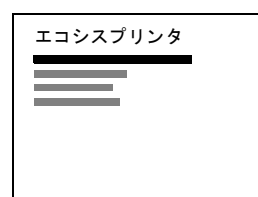
4 ［OK］キーを押してください。入力した部数を設定し、印刷環境メニューに戻ります。

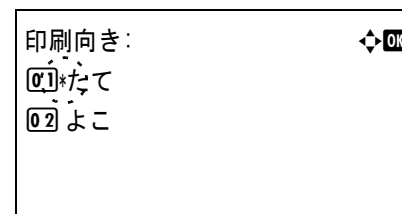
「印刷向き」（印刷方向の設定）

印刷方向を縦向き、または横向きのどちらかを選択します。

縦向き「たて」

エコシスプリンタ

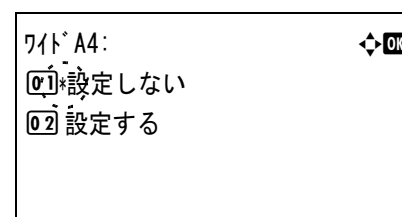
横向き「よこ」

1 印刷環境メニューで、［△］または［▽］キーを押し**「印刷向き」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「印刷向き」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して希望する印刷方向を選択し、［OK］キーを押してください。印刷方向を設定し、印刷環境メニューに戻ります。

「ワイド A4」（ワイド A4 の設定）

この設定を**「設定する」**にすると、A4 ページ 1 行に印刷できる文字数が 80 文字に増加します（10 cpi）。この設定は PCL 6 のエミュレーションでのみ有効になります。

1 印刷環境メニューで、［△］または［▽］キーを押し**「ﾜｲﾄﾞ A4」**を選択してください。

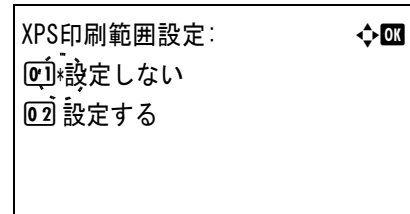
2 ［OK］キーを押してください。**「ﾜｲﾄﾞ A4」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して［**設定する**］または［**設定しない**］を選択し、［OK］キーを押してください。印刷環境メニューに戻ります。

XPS 印刷範囲設定（XPS ドキュメントの出力サイズ調整）

この設定を「設定する」にすると、XPS ドキュメントを、印刷領域に合わせたサイズに拡大または縮小して印刷します。

1 印刷環境メニューで、［△］または［▽］キーを押し「XPS 印刷範囲設定」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「XPS 印刷範囲設定」が表示されます。

XPS印刷範囲設定:
01*設定しない
02 設定する

3 ［△］または［▽］キーを押して、［設定する］または［設定しない］を選択し、［OK］キーを押してください。選択したモードを設定し、印刷環境メニューに戻ります。

TIFF/JPEG サイズ（TIFF/JPEG データの出力サイズ調整）

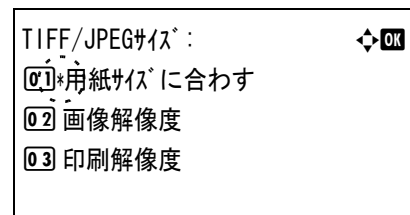
TIFF/JPEG データを直接出力するときの出力方法を選択します。

1 印刷環境メニューで、［△］または［▽］キーを押し「TIFF/JPEG ｻｲｽﾞ」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「TIFF/JPEG ｻｲｽﾞ」が表示されます。

TIFF/JPEGｻｲｽﾞ:
01*用紙ｻｲｽﾞに合わす
02 画像解像度
03 印刷解像度

使用できる出力方法には以下の項目があります。

用紙サイズに合わす（初期値）
画像サイズが用紙サイズ一杯になるように、拡大または縮小されて出力されます。

画像解像度
画像データの解像度情報を参照して出力されます。解像度情報が無いときは、「用紙ｻｲｽﾞに合わす」選択時と同様に出力されます。

印刷解像度
画像データの 1dot を印刷データの 1dot として出力します。例えば 600 dot × 300 dot の画像データは 25.4mm × 12.7mm のサイズで出力されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、出力方法を選択し、［OK］キーを押してください。選択した出力方法を設定し、印刷環境メニューに戻ります。

参考：出力される画像は、画像データと出力用紙の縦横比がより近くなる向きに、自動的に回転して出力されます。

「ネットワーク」（ネットワークの設定）

本機は、TCP/IP、TCP/IP（IPv6）プロトコルに対応しています。

IP とは、インターネットプロトコルを意味します。通常 IP は TCP/IP（IPv4）を使用し、次世代の IP である IPv6（バージョン 6）と区別しています。

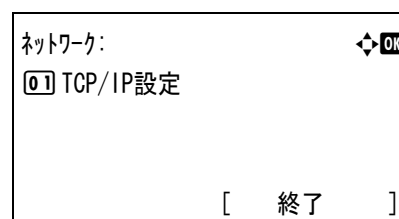
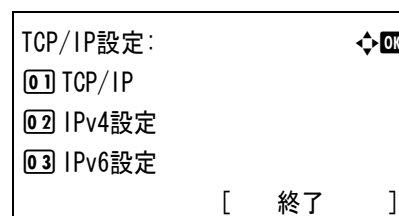
TCP/IP（IPv4）では、IP アドレスに 32 ビットが使用されていますが、インターネット・ユーザーの急速な拡大に伴って、IP アドレスが不足するようになりました。このため、IP アドレスに 128 ビットを使用し、広範囲に適応できる IPv6 が開発されました。

ネットワークの設定には以下の項目があります。

- 「TCP/IP」（TCP/IP 使用の有無）
- 「IPv4 設定」（TCP/IP(IPv4) の設定）
- 「IPv6 設定」（TCP/IP(IPv6) の設定）

注意：設定するネットワークは、ネットワーク管理者に確認してください。

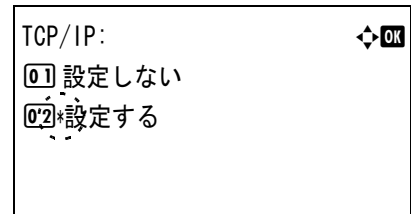
1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 ［△］または［▽］キーを押して、「ﾈｯﾄﾜｰｸ」を選択してください。

3 「TCP/IP 設定」を選択し、［OK］キーを押してください。TCP/IP 設定メニューが表示されます。

「TCP/IP」（TCP/IP 使用の有無）

TCP/IP システムは、インターネット・システムを示し、インターフェイス層、リンク層、ネットワーク（IP）層、トランスポート（TCP/UDP）層、アプリケーション層の 5 つのレイヤ構成になっています。

インタフェース層は、TCP/IP システムの 1 つの特徴となっている層で、IP モジュール（IP 層）に対してリンク（通信回線：フレーム・リレーや Ethernet など）に依存しない、抽象化されたインタフェースを提供します。このため、IP モジュールは、この抽象化された（リンク種別に依存しない）インタフェースを用いて、IP パケットをリンク層に渡し、リンク層から受け取っています。

1 TCP/IP 設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して「TCP/IP」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「TCP/IP」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して［設定する］または［設定しない］を選択し、［OK］キーを押してください。

TCP/IP の使用の有無を設定し、TCP/IP 設定メニューに戻ります。

「IPv4 設定」（TCP/IP(IPv4) の設定）

TCP/IP(IPv4) の各種設定を行います。

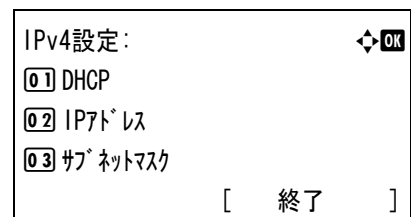
TCP/IP(IPv4) の設定には以下の項目があります。

- 「DHCP」（DHCP の設定）
- 「IP アドレス」（IP アドレスの設定）
- 「サブネットマスク」（サブネットマスクの設定）
- 「デフォルトゲートウェイ」（ゲートウェイの設定）
- 「Bonjour」（Bonjour の設定）

注意：TCP/IP の DHCP、IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ、Bonjour のメニューは、TCP/IP の使用の有無が「**設定する**」になっている時に表示されます。

---

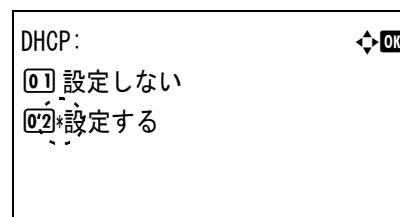
1 TCP/IP 設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「IPv4 設定」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。IPv4 設定メニューが表示されます。

「DHCP」（DHCP の設定）

DHCP は、動的ホスト構成プロトコルで、ホストがネットワーク（インターネット）に接続しようとする際に、自ノードの IP アドレスやデフォルト・ルータ（自分が属するネットワーク・システム内にあるルータ）の IP アドレス、DNS（Domain Name System、ドメイン名解決システム）サーバなどの、ネットワーク接続に必要な情報を与えるプロトコルです。DHCP は、BOOTP（Bootstrap Protocol、起動プロトコル。ブート・ピーと読む）を拡張しています。

1 IPv4 設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して［DHCP］を選択してください。

2　［OK］キーを押してください。「DHCP」が表示されます。

DHCP:
01 設定しない
02*設定する

3　［△］または［▽］キーを押して**「設定する」**または**「設定しない」**を選択し、［OK］キーを押してください。

DHCP の使用の有無を設定し、IPv4 設定メニューに戻ります。

「IP アドレス」（IP アドレスの設定）

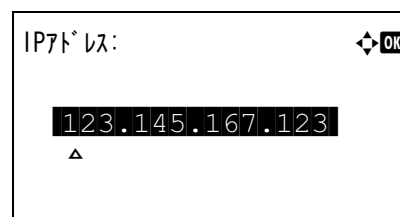
IP アドレスとは、インターネットのデータ（IP パケット）を送受信するため、必要な IP パケットの中に含まれている、PC などの住所のことを示します。（宛先アドレスと送信アドレスがある）。

具体的には、インターネットに接続された PC（ホスト）を識別する「ホスト・アドレス（ホスト部とも言う）」と、その PC（ホスト）が属しているネットワーク（具体的には PC のネットワーク・インタフェースを指す）を識別する「ネットワーク・アドレス（ネットワーク部）」の 2 つで構成され、ビット列となっています。インターネット・システム全体の中で唯一の（一意の）ビット列（IP アドレス）が、それぞれの PC あるいはインタフェースに割り当てられます。

現在のインターネット（IPv4：IP バージョン 4）で用いられている IP アドレスは、32 ビットの固定長となっています。

注意：IP アドレスを入力するときは、DHCP の設定を**「設定しない」**にしてください。

1　IPv4 設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して**「IP ｱﾄﾞﾚｽ」**を選択してください。

2　［OK］キーを押してください。**「IP ｱﾄﾞﾚｽ」**が表示されます。

3　矢印キーを使って IP アドレスを入力します。

［◁］または［▷］キーを押すと、カーソル位置が左右に移動します。

［△］または［▽］キーを押すと、カーソル位置の数値が増減します。000 ～ 255 の間で設定できます。

4　［OK］キーを押してください。

IP アドレスを設定し、IPv4 設定メニューに戻ります。

「サブネットマスク」(サブネットマスクの設定)

サブネットマスクは、IP アドレスのネットワーク・アドレス部を増やす方法です。

サブネット・マスクは、ネットワーク・アドレス部をすべて 1 として表現し、ホスト・アドレス部をすべて 0 として表現します。プレフィックス長は、ネットワーク・アドレス部の長さをビット数で表します。プレフィックス(Prefix)とは、「接頭辞」つまり、「前に付けるもの」という意味があり、IP アドレスの「先頭部分」を指します。

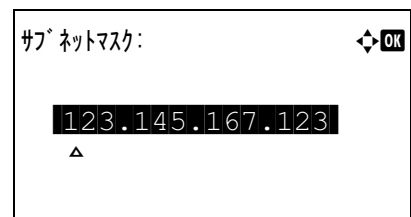
IP アドレスを表記するときに、ネットワーク・アドレス部の長さまで表現したい場合は、“133.201.2.0/24”のように“/”(スラッシュ)の後にプレフィックス長(この場合は「24」)を書くことになっています。したがって、「133.201.2.0/24」は、プレフィックス長(つまりネットワーク部)が 24 ビットの「133.201.2.0」という IP アドレスということになります。

サブネット・マスクによって新しく増えたネットワーク・アドレス部(本来のホスト・アドレス部の一部分)をサブネット・アドレスと呼びます。

注意:サブネットマスクを入力するときは、DHCP の設定を**「設定しない」**にしてください。

---

1 IPv4 設定メニューで、[△] または [▽] キーを押して**「ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ」**が表示されます。

3 矢印キーを使ってサブネットマスクを入力します。

[△] または [▽] キーを押すと、カーソル位置の数値が増減します。000 〜 255 の間で設定できます。

[◁] または [▷] キーを押すと、カーソル位置が左右に移動します。

4 [OK] キーを押してください。

サブネットマスクを設定し、IPv4 設定メニューに戻ります。

「デフォルトゲートウェイ」(ゲートウェイの設定)

ゲートウェイとは、一般的にプロトコル体系が異なるネットワーク間を相互接続するためのプロトコル変換器のことを示します。

例えば、異なる閉じたネットワーク(独自のプロトコル環境)と、オープンなインターネット(TCP/IP プロトコル環境)をつなぐ装置として「ゲートウェイ」が必要となります。

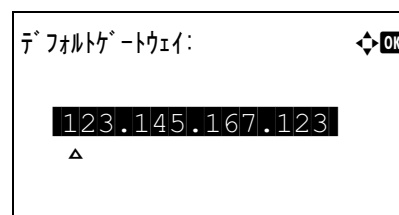
ゲートウェイを導入することによって、異なるネットワーク間で「通信プロトコル」や「データの表示方法」が相互に変換できるようになります。

TCP/IP ネットワークでは、ルータを指してゲートウェイ（デフォルト・ゲートウェイ）といいます。

注意：ゲートウェイを入力するときは、DHCP の設定を**「設定しない」**にしてください。

---

1 IPv4 設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して「ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲ」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲ」が表示されます。

3 矢印キーを使ってゲートウェイのアドレスを入力します。

［△］または［▽］キーを押すと、カーソル位置の数値が増減します。000 ～ 255 の間で設定できます。

［◁］または［▷］キーを押すと、カーソル位置が左右に移動します。

4 ［OK］キーを押してください。

ゲートウェイのアドレスを設定し、IPv4 設定メニューに戻ります。

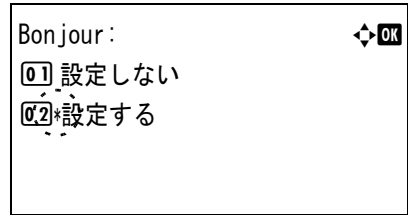
「Bonjour」（Bonjour の設定）

Bonjour は、ゼロコンフィギュレーション・ネットワークとも呼ばれています。IP ネットワーク上の PC、デバイス、およびサービスを自動的に検出するサービスです。

Bonjour は、業界標準の IP プロトコルが使用されているので、IP アドレスを入力したり DNS サーバを設定しなくても、デバイスが相互に自動的に検出されます。

また、Bonjour は、UDP ポート 5353 上でネットワークパケットを送受信します。ファイアウォールを有効にしている場合は、Bonjour が正しく動作するように UDP ポート 5353 が開いていることを確認する必要があります。一部のファイアウォールは、Bonjour パケットの一部だけを拒否するように設定されていることがあります。Bonjour の動作が不安定な場合には、ファイアウォールの設定を確認して、Bonjour が例外リストに登録されていて受信パケットを受け入れるように設定されていることを確認してください。Bonjour を Windows XP Service Pack 2 以降にインストールする場合、Windows ファイアウォールは Bonjour によって適切に設定されます。

1 IPv4 設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して「Bonjour」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「Bonjour」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して［**設定する**］または［**設定しない**］を選択し、［OK］キーを押してください。

Bonjour の使用の有無を設定し、IPv4 設定メニューに戻ります。

「IPv6 設定」（TCP/IP(IPv6) の設定）

TCP/IP(IPv6) の各種設定を行います。

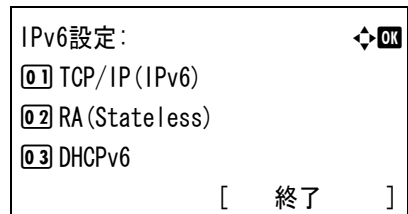
TCP/IP(IPv6) は、アドレスの不足が心配される現行のインターネットプロトコル TCP/IP(IPv4) をベースに、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティ機能の追加、優先度に応じたデータの送信などの改良を施した次世代インターネットプロトコルを示します。

TCP/IP（IPv6) の設定には以下の項目があります。

- 「TCP/IP(IPv6)」（TCP/IP(IPv6) 使用の有無）
- 「RA(Stateless)」（RA(Stateless) の設定）
- 「DHCPv6」（DHCPv6 の設定）

注意：TCP/IP(IPv6) の RA(Stateless)、DHCPv6 のメニューは、TCP/IP(IPv6) オン時に表示されます。

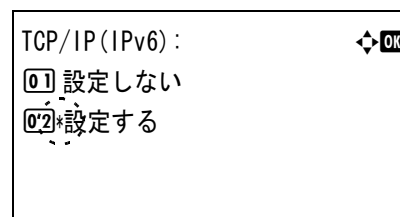
1 TCP/IP 設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「**IPv6 設定**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。IPv6 設定メニューが表示されます。

「TCP/IP(IPv6)」（TCP/IP(IPv6) 使用の有無）

TCP/IP(IPv6) を使用するかしないかを設定します。

1 IPv6 設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して「**TCP/IP(IPv6)**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「TCP/IP(IPv6)」が表示されます。

TCP/IP(IPv6):
01 設定しない
02*設定する

3 ［△］または［▽］キーを押して［**設定する**］または［**設定しない**］を選択し、［OK］キーを押してください。

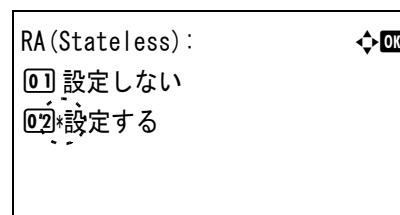
TCP/IP(IPv6) の使用の有無を設定し、IPv6 設定メニューに戻ります。

「RA(Stateless)」（RA(Stateless) の設定）

IPv6 ルータは、グローバルアドレスのプレフィックスなどの情報を ICMPv6 で知らせます。この情報が Router Advertisement (RA) です。

また、ICMPv6 はインターネット制御メッセージ プロトコルのことで、RFC 2463「Internet Control Message Protocol（ICMPv6）for the Internet Protocol Version 6(IPv6) Specification」で定義されている IPv6 標準です。

1 IPv6 設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して「RA(Stateless)」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「RA(Stateless)」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して［**設定する**］または［**設定しない**］を選択し、［OK］キーを押してください。

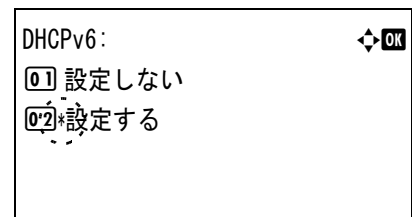
RA(Stateless) の使用の有無を設定し、IPv6 設定メニューに戻ります。

「DHCPv6」（DHCPv6 の設定）

DHCPv6 は、次世代のインターネットプロトコルである IPv6 をサポートする動的ホスト構成プロトコルのことで、構成情報をネットワーク上のホストに渡すためのプロトコルを定義している BOOTP の拡張します。

DHCPv6 を使うと、DHCP サーバーは拡張機能を使って IPv6 ノードに構成パラメータを送信できるようになります。再利用可能なネットワークアドレスが自動的に割り当てられるため、管理者が IP アドレスの割り当てを細かく制御する必要がある環境では、IPv6 ノードの管理が低減されます。

1 IPv6 設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して「DHCPv6」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「DHCPv6」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して［**設定する**］または［**設定しない**］を選択し、［OK］キーを押してください。

DHCPv6 の使用の有無を設定し、IPv6 設定メニューに戻ります。

「共通設定」（デバイス全般の選択・設定）

本機の機能全般を選択・設定します。

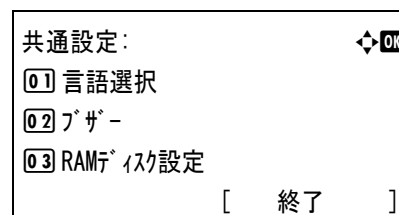
共通設定には以下の項目があります。

- 「言語選択」（表示言語の選択）
- 「ブザー」（ブザーの設定）
- 「RAM ディスク設定」（RAM ディスクの設定）
- 「ハードディスクフォーマット」（ハードディスクのフォーマット）
- 「メモリカードフォーマット」（メモリカードのフォーマット）
- 「画面の明るさ」（ディスプレイの明るさ）
- 「エラー処理設定」（エラー処理動作の設定）
- 「タイマー設定」（タイマーの設定）

注意：「ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸﾌｫｰﾏｯﾄ」と「ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞﾌｫｰﾏｯﾄ」は、該当オプションを装着しているときのみ表示されます。

1 ［メニュー］キーを押してください。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「共通設定」**を選択してください。

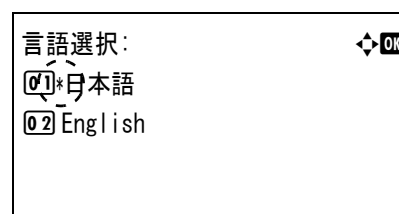
3 ［OK］キーを押してください。共通設定メニューが表示され、設定項目の一覧が表示されます。

「言語選択」（表示言語の選択）

メッセージディスプレイに表示するメッセージの言語を、日本語または英語に設定できます。

1 共通設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「言語選択」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「言語選択」**が表示され、言語の一覧が表示されます。

選択できる言語は次のとおりです。

日本語
English

3 ［△］または［▽］キーを押して、言語を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。言語が設定され、共通設定メニューに戻ります。

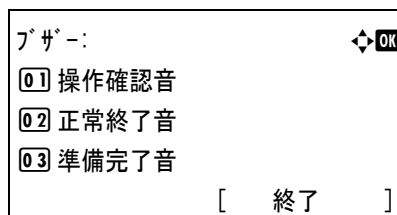
「ブザー」（ブザーの設定）

プリンタの状況や操作をブザーを鳴らして知らせる機能です。プリンタが離れた場所にある場合などに便利です。

ブザーの設定には以下の項目があります。

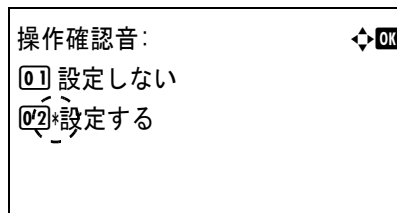
- **「操作確認音」（キー操作音の設定）**
- **「正常終了音」（印刷完了音の設定）**
- **「準備完了音」（準備完了音の設定）**
- **「注意音」（警告音の設定）**

1 共通設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「ﾌﾞｻﾞｰ」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。ブザーメニューが表示されます。

「操作確認音」（キー操作音の設定）

この設定を**「設定する」**にすると、キーの操作時に音が鳴ります。初期設定は**「設定する」**です。

1 ブザーメニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「操作確認音」**を選択してください。

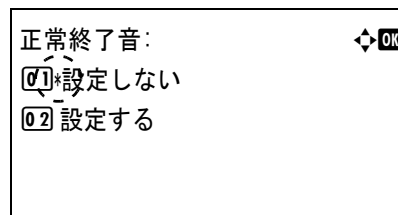
2 ［OK］キーを押してください。**「操作確認音」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、操作確認音の有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。操作確認音の有無が設定され、ブザーメニューに戻ります。

「正常終了音」（印刷完了音の設定）

この設定を**「設定する」**にすると、印刷の完了時に音が鳴ります。初期設定は**「設定しない」**です。

1 ブザーメニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「正常終了音」**を選択してください。

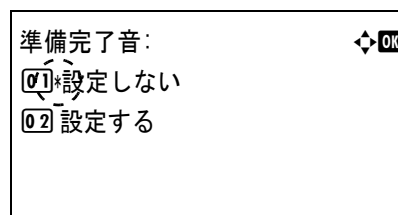
2 ［OK］キーを押してください。**「正常終了音」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、正常終了音の有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。正常終了音の有無が設定され、ブザーメニューに戻ります。

「準備完了音」（準備完了音の設定）

この設定を**「設定する」**にすると、印刷準備が整ったとき音が鳴ります。初期設定は**「設定しない」**です。

1 ブザーメニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「準備完了音」**を選択してください。

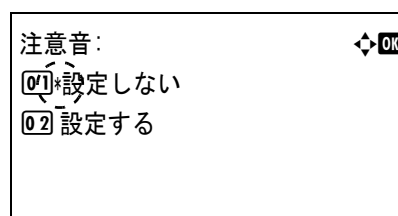
2 ［OK］キーを押してください。**「準備完了音」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、準備完了音の有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。準備完了音の有無が設定され、ブザーメニューに戻ります。

「注意音」（警告音の設定）

この設定を**「設定する」**にすると、印刷中に起きる用紙切れや紙づまりなど不具合時に音が鳴ります。初期設定は**「設定しない」**です。

1 ブザーメニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「注意音」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「注意音」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、注意音の有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。注意音が設定され、ブザーメニューに戻ります。

「RAM ディスク設定」（RAM ディスクの設定）

本機は RAM ディスク機能を搭載しています。RAM ディスクはプリンタの総メモリの中から、任意のメモリサイズを RAM ディスクとして設定できます。この機能により電子ソートが可能になり、トータルの印刷時間を短縮できます。

RAM ディスクを有効にした場合、最大設定値は標準で 16MB、オプションメモリを装着した時はその装着したオプションメモリの 1/2 の値になります。

RAM ディスクモードは初期設定では**「設定しない」**になっています。RAM ディスク機能を使用する前に、次のセクションで説明する方法で RAM ディスクモードを**「設定する」**にして、RAM ディスクのデータサイズを設定後、再起動してください。

参考：本機はメモリーカード、オプションのハードディスク、および RAM ディスクの 3 種類のストレージ装置を使用できます。メモリーカードやハードディスクは、プリンタの専用スロットに装着して使用します。RAM ディスクは、プリンタのメモリの一部を RAM ディスクに割り当てて使用します。

注意：ハードディスクを装着した場合、RAM ディスク機能は使用できません。

RAM ディスクは一時的にデータを保存する機能です。プリンタを再起動したり電源を切った場合は消去されます。

RAM ディスクは、ジョブボックスの一部の機能が使用できます。

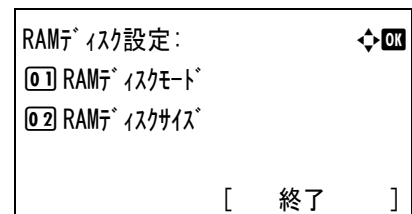
RAM ディスクはプリンタのユーザ使用可能メモリの中に割り当てられます。したがって、RAM ディスクの設定値によっては、印刷速度が落ちたり、メモリ不足のために正常に印刷されない場合があります。

RAM ディスク設定には以下の項目があります。

- RAM ディスクモード（RAM ディスクモードの設定）
- RAM ディスクサイズ（RAM ディスクサイズの設定）

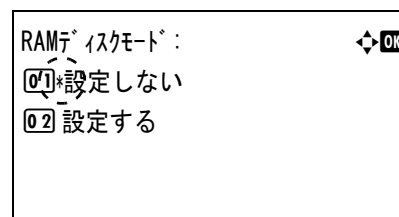
1 共通設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「RAM ﾃﾞｨｽｸ設定」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。RAM ディスク設定メニューが表示されます。

```
RAMﾃﾞｨｽｸ設定:        ✥OK
01 RAMﾃﾞｨｽｸﾓｰﾄﾞ
02 RAMﾃﾞｨｽｸｻｲｽﾞ
            [   終了   ]
```

RAM ディスクモード（RAM ディスクモードの設定）

この設定を**「設定する」**にすると RAM ディスクが使用できます。

1 RAM ディスク設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「RAM ﾃﾞｨｽｸﾓｰﾄﾞ」を選択してください。

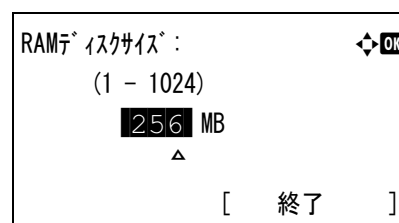
2 ［OK］キーを押してください。「RAM ﾃﾞｨｽｸﾓｰﾄﾞ」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、RAM ディスク使用の有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。RAM ディスク使用の有無が設定され、RAM ディスク設定メニューに戻ります。

RAM ディスクサイズ（RAM ディスクサイズの設定）

RAM ディスクに使用するメモリ量を設定します。

1 RAM ディスク設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「RAM ﾃﾞｨｽｸｻｲｽﾞ」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「RAM ﾃﾞｨｽｸｻｲｽﾞ」が表示されます。

3 矢印キーを使って、RAM ディスクとして利用するメモリサイズを設定します。

［△］または［▽］キーを押すと、カーソル位置の数値が増減します。

［◁］または［▷］キーを押すと、カーソル位置が左右に移動します。

設定できるメモリサイズの最大値は、プリンタの総メモリ量によって変わります。

4 ［OK］キーを押してください。RAM ディスクとして利用するメモリサイズが登録され、RAM ディスク設定メニューに戻ります。

設定が終わったらメニューを終了し、プリンタの電源を入れ直してください。再起動後に設定が有効になります。

「ハードディスクフォーマット」（ハードディスクのフォーマット）

ハードディスクのフォーマットは、ハードディスクを初めてプリンタに装着した際に必要な操作です。

参考：ハードディスクを装着すると、ジョブボックスの全機能を使用できます。

参考：すでにデータの書き込まれているハードディスクに対してフォーマットを行った場合は、そのハードディスク内のデータはすべて消去されます。

ハードディスクのフォーマットは、必ずプリンタで行ってください。

ハードディスクをフォーマットするときは、次の手順で行ってください。本機でフォーマットしていないハードディスクを装着した場合は、**「HDD のﾌｫｰﾏｯﾄが必要」**が表示されます。

1. 共通設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸﾌｫｰﾏｯﾄ」**を選択してください。
2. ［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

```
ﾌｫｰﾏｯﾄします。
よろしいですか？
⟶ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸ

[    はい    ] [    いいえ    ]
```

3. ［はい］（[Left Select]）キーを押してください。**「ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸ　ﾌｫｰﾏｯﾄ中です。」**が表示され、ハードディスクのフォーマットが開始されます。フォーマットが終了すると、待機画面に戻ります。

   ［いいえ］（[Right Select]）キーを押すと、ハードディスクのフォーマットは行わずに、共通設定メニューに戻ります。

「メモリカードフォーマット」（メモリカードのフォーマット）

本機にはメモリカードスロットが装備されています。メモリカードの取り扱いについては、**使用説明書 付録（オプションについて）**を参照してください。

未使用のメモリカードを使用するためには、最初に本機でメモリカードのフォーマットを行う必要があります。初期化すると、メモリカードへのデータの書き込みが可能になります。

注意：メモリカードフォーマットは、メモリカードが挿入されていてプロテクト オフ時に表示されます。

参考：すでにデータの書き込まれているメモリカードに対してフォーマットを行った場合は、そのメモリカード内のデータはすべて消去されます。

メモリカードのフォーマットは、必ずプリンタで行ってください。

メモリカードをフォーマットするときは、次の手順で行ってください。本機でフォーマットしていないメモリカードを装着した場合は、「ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞのﾌｫｰﾏｯﾄが必要」が表示されます。

1 共通設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞﾌｫｰﾏｯﾄ」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

3 ［はい］（[Left Select]）キーを押してください。「ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ ﾌｫｰﾏｯﾄ中です。」が表示され、メモリーカードのフォーマットが開始されます。フォーマットが終了すると、待機画面に戻ります。

［いいえ］（[Right Select]）キーを押すと、メモリーカードのフォーマットは行わずに、共通設定メニューに戻ります。

「画面の明るさ」（ディスプレイの明るさ）

メッセージディスプレイの明るさを設定します。

1 共通設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「画面の明るさ」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「画面の明るさ」が表示され、明るさの一覧が表示されます。

選択できる明るさは次のとおりです。

暗く-2
暗く-1
ふつう0
明るく+1
明るく+2

3 ［△］または［▽］キーを押して、明るさを選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。明るさが設定され、共通設定メニューに戻ります。

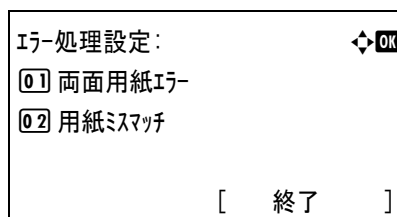
「エラー処理設定」（エラー処理動作の設定）

両面印刷時のエラーや給紙元固定時の用紙サイズ・種類のエラーの検知方法を設定できます。

エラー処理設定には以下の項目があります。

- **両面用紙エラー（両面用紙エラー時動作の設定）**
- **用紙ミスマッチ（用紙ミスマッチエラー時動作の設定）**

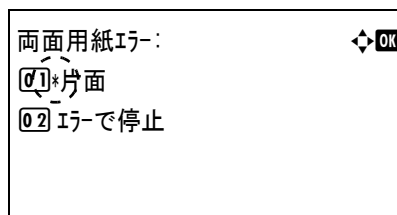
1 共通設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「ｴﾗｰ処理設定」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。エラー処理設定メニューが表示されます。

両面用紙エラー（両面用紙エラー時動作の設定）

両面印刷を行う時、両面印刷できないラベルなどの用紙種類を指定した場合に、**「この用紙は両面印刷できません。」**のメッセージを表示するか、しないかを選択できます。

エラーで停止	• ［OK］キーを押すと、片面印刷を行います。 • ［**キャンセル**］キーを押すと、印刷そのものをキャンセルします。
片面	片面印刷を行います。

1 エラー処理設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「両面用紙ｴﾗｰ」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「両面用紙ｴﾗｰ」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、両面用紙エラー時動作の設定を選択してください。

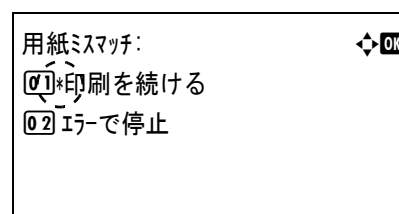
4 ［OK］キーを押してください。両面用紙エラー時動作の設定が設定され、エラー処理設定メニューに戻ります。

用紙ミスマッチ（用紙ミスマッチエラー時動作の設定）

給紙元を固定して印刷するときに、用紙サイズまたは種類が異なる場合、そのまま給紙する（印刷を続ける）、もしくは給紙エラーを表示する（エラーで停止）を選択できます。

1 エラー処理設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「用紙ﾐｽﾏｯﾁ」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「用紙ﾐｽﾏｯﾁ」**が表示されます。

用紙ﾐｽﾏｯﾁ:
01 *印刷を続ける
02 ｴﾗｰで停止

3 ［△］または［▽］キーを押して、用紙ミスマッチエラー時動作の設定を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。用紙ミスマッチエラー時動作の設定が設定され、エラー処理設定メニューに戻ります。

「タイマー設定」（タイマーの設定）

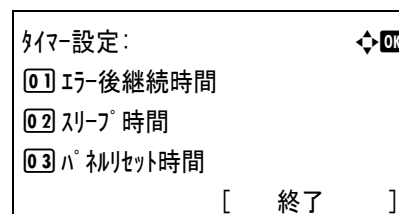
自動改ページの待ち時間やオートスリープの待ち時間など、時間に関する設定を行います。

タイマー設定には以下の項目があります。

- **エラー後継続時間（エラー後継続時間の設定）**
- **スリープ時間（スリープ時間の設定）**
- **パネルリセット時間（パネルリセット時間の設定）**
- **改ページ待ち時間（改ページ待ち時間の設定）**
- **エラー後自動継続（エラー後自動継続の設定）**
- **オートスリープ（オートスリープの設定）**
- **オートパネルリセット（オートパネルリセットの設定）**

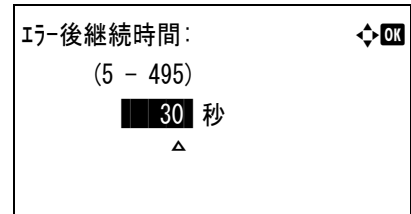
1 共通設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「ﾀｲﾏｰ設定」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。タイマー設定メニューが表示されます。

ﾀｲﾏｰ設定:
01 ｴﾗｰ後継続時間
02 ｽﾘｰﾌﾟ時間
03 ﾊﾟﾈﾙﾘｾｯﾄ時間
[終了]

エラー後継続時間（エラー後継続時間の設定）

エラー後自動継続が設定するになっているときに、継続印刷が可能なエラーが発生してから印刷を再開するまでの復帰時間を設定します。初期値は 30 秒です。

1 タイマー設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「ｴﾗｰ後継続時間」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「ｴﾗｰ後継続時間」が表示されます。

3 矢印キーを使って、復帰時間を設定します。

［△］または［▽］キーを押すと、カーソル位置の数値が増減します。

［◁］または［▷］キーを押すと、カーソル位置が左右に移動します。

4 ［OK］キーを押してください。復帰時間の設定が登録され、タイマー設定メニューに戻ります。

スリープ時間（スリープ時間の設定）

オートスリープの設定を設定するにしたとき、プリンタがスリープモードに入るまでの時間を設定します。印刷データを受信したり、操作パネルの［OK］キーを押すと、プリンタはスリープモードより復帰します。初期設定では 45 分です。

1 タイマー設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「ｽﾘｰﾌﾟ時間」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「ｽﾘｰﾌﾟ時間」が表示されます。

3 矢印キーを使って、待機時間を設定します。

［△］または［▽］キーを押すと、カーソル位置の数値が増減します。

［◁］または［▷］キーを押すと、カーソル位置が左右に移動します。

4 ［OK］キーを押してください。待機時間の設定が登録され、タイマー設定に戻ります。

パネルリセット時間（パネルリセット時間の設定）

オートパネルリセット「設定する」に設定した場合、操作終了後、オートリセットされるまでの時間を設定できます。初期設定では 120 秒です。

1 タイマー設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「ﾊﾟﾈﾙﾘｾｯﾄ時間」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「ﾊﾟﾈﾙﾘｾｯﾄ時間」が表示されます。

3 矢印キーを使って、パネルリセット時間を設定します。

［△］または［▽］キーを押すと、カーソル位置の数値が増減します。

［◁］または［▷］キーを押すと、カーソル位置が左右に移動します。

4 ［OK］キーを押してください。パネルリセット時間の設定が登録され、タイマー設定メニューに戻ります。

改ページ待ち時間（改ページ待ち時間の設定）

プリンタは PC からの印刷データを受け取る際に、PC からのデータ送信が終了したことを示す情報がないと、最後のページを印刷せずに待機します。

あらかじめ設定された待ち時間が経過すると、自動的に改ページして残りのデータを印刷します。初期設定では 5 秒です。

1 タイマー設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「改ﾍﾟｰｼﾞ待ち時間」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「改ﾍﾟｰｼﾞ待ち時間」が表示されます。

3 矢印キーを使って、改ページ待ち時間を設定します。

［△］または［▽］キーを押すと、カーソル位置の数値が増減します。

［◁］または［▷］キーを押すと、カーソル位置が左右に移動します。

4 ［OK］キーを押してください。改ページ待ち時間の設定が登録され、タイマー設定メニューに戻ります。

エラー後自動継続（エラー後自動継続の設定）

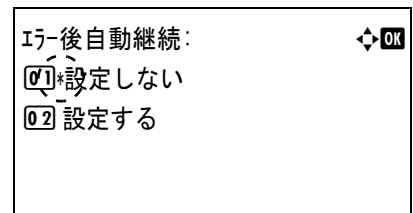
継続印刷の可能なエラーが発生した場合、一定時間が経過した後に次に受信しているデータを自動的に継続印刷します。たとえばプリンタを共有している場合、前に印刷していた人がそれらのエラーを発生させても、一定時間後には他の人の印刷を継続して印刷できます。初期設定は「設定しない」（自動継続印刷しない）です。

継続印刷可能なエラー：

- 「ﾒﾓﾘｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰです。」
- 「ﾌﾟﾘﾝﾄｵｰﾊﾞｰﾗﾝです。」
- 「KPDL ｴﾗｰです。」
- 「ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸｴﾗｰです。」
- 「RAM ﾃﾞｨｽｸｴﾗｰです。」
- 「ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞｴﾗｰです。」
- 「部門ｺｰﾄﾞが違います。」
- 「部門管理設定ｴﾗｰです。」
- 「この用紙は両面印刷できません。」
- 「部門管理の制限を超えました。」
- 「複数印刷できません。」
- 「USB ﾒﾓﾘｴﾗｰです。」

継続印刷が可能なエラーが発生してから印刷を再開するまでの時間は、エラー後継続時間の設定で行ってください。

1 タイマー設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「ｴﾗｰ後自動継続」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「ｴﾗｰ後自動継続」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、エラー後自動継続の有無を選択してください。

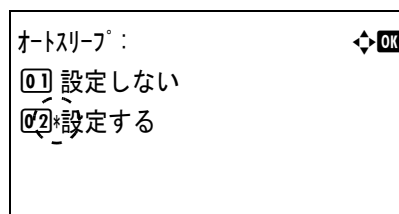
4 ［OK］キーを押してください。エラー後自動継続の有無が設定され、タイマー設定メニューに戻ります。

オートスリープ（オートスリープの設定）

本機は、データの受信や印刷などの処理を行っていないときに、電力消費を抑えるオートスリープを搭載しています。初期設定は「**設定する**」です。

オートスリープに入るまでの時間設定は、スリープ時間の設定で行ってください。

1 タイマー設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「**ｵｰﾄｽﾘｰﾌﾟ**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「**ｵｰﾄｽﾘｰﾌﾟ**」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、オートスリープの有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。オートスリープの有無が設定され、タイマー設定メニューに戻ります。

オートパネルリセット（オートパネルリセットの設定）

オートパネルリセットは、一定時間操作がないと、設定内容が自動的にリセットされて初期値に戻る機能です。初期設定は「**設定する**」です。

オートパネルリセットに入るまでの時間設定は、パネルリセット時間の設定で行ってください。

1 タイマー設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「**ｵｰﾄﾊﾟﾈﾙﾘｾｯﾄ**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「**ｵｰﾄﾊﾟﾈﾙﾘｾｯﾄ**」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、オートパネルリセットの有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。オートパネルリセット有無が設定され、タイマー設定メニューに戻ります。

「セキュリティ」（セキュリティ機能の設定）

重要：セキュリティ機能を設定するには、管理者 ID、管理者パスワードの入力が必要です。管理者 ID、管理者パスワードの設定手順は、4-94 ページの**「管理者」（管理者の設定）**を参照してください。

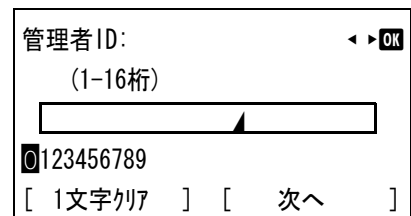
本機の操作およびデータを保護するため、セキュリティ機能の設定ができます。

セキュリティ機能の設定には以下の項目があります。

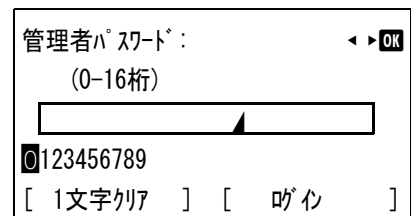
- **ネットワークセキュリティ（ネットワークセキュリティの設定）**
- **I/F ブロック設定（外部機器ブロックの設定）**

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

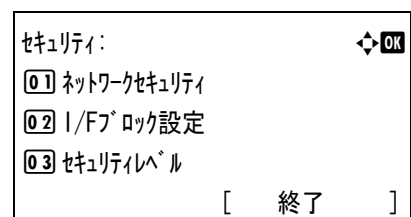
2 ［△］または［▽］キーを押して、**「ｾｷｭﾘﾃｨ」**を選択してください。

3 ［OK］キーを押してください。**「管理者 ID」**が表示されます。

4 管理者 ID を入力します。［◁］または［▷］キーで数字を選択し、［OK］キーで入力してください。

［**1 文字ｸﾘｱ**］（［Left Select］）キーで 1 文字戻すことができます。

5 ［**次へ**］（［Right Select］）キーを押してください。**「管理者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ」**が表示されます。

6 管理者パスワードを入力します。［◁］または［▷］キーで数字を選択し、［OK］キーで入力してください。

［**1 文字ｸﾘｱ**］（［Left Select］）キーで 1 文字戻すことができます。

7 ［**ﾛｸﾞｲﾝ**］（［Right Select］）キーを押してください。入力した ID とパスワードが正しければ、セキュリティメニューが表示されます。入力した ID とパスワードが間違っていると、再度**「管理者 ID」**が表示されます。（手順 3 に戻ります。）

ネットワークセキュリティ（ネットワークセキュリティの設定）

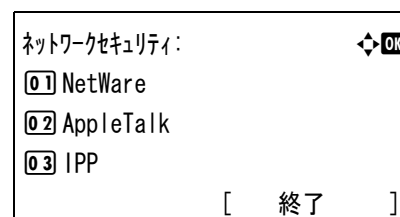
使用するネットワークプロトコルごとのセキュリティ設定を行います。

重要：ネットワークの設定は、ネットワーク管理者に確認してください。

ネットワークセキュリティ設定には以下の項目があります。

- NetWare（NetWare の設定）
- AppleTalk（AppleTalk の設定）
- IPP（IPP の設定）
- SSL 設定（SSL の設定）
- IPSec（IPSec の設定）

1 セキュリティメニューで、［△］または［▽］キーを押して、「ﾈｯﾄﾜｰｸｾｷｭﾘﾃｨ」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。ネットワークセキュリティメニューが表示されます。

NetWare（NetWare の設定）

NetWare（ネットウェア）は、PC で動作するサーバ専用のネットワーク・オペレーティング・システムです。

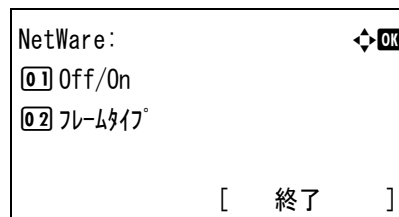
NetWare は、クライアント・サーバ型のシステムであり、サーバ機に NetWare OS を、クライアント機（MS-DOS、OS/2、Windows など）に専用のクライアントモジュール（NetWare クライアント）を導入して運用します。ネットワーク層のプロトコルは、独自の IPX (Internetwork Packet eXchange)/SPX (Sequenced Packet eXchange) を用いるのが基本ですが、TCP/IP にも対応しています。

NetWare OS の特徴は、完全にサーバ用途に特化しており、Windows NT や UNIX などの汎用 OS とは異なります。サーバ機の NetWare OS のコンソールからはサーバの運用に必要な最低限の操作しかできず、基本的にサーバやファイルの管理はクライアント機から管理ツールを用いて行います。また、ドライバやプロトコルスタックなどがすべて NetWare Loadable Module (NLM) というモジュール形式になっており、NLM の動的なロード・アンロードが自在に行えることも大きな特徴です。

NetWare の設定には以下の項目があります。

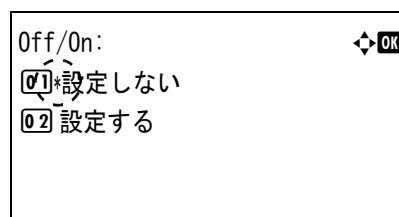
- Off/On（NetWare 動作設定）
- フレームタイプ（フレームタイプの設定）

1 ネットワークセキュリティメニューで、［△］または［▽］キーを押して、「NetWare」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。NetWare メニューが表示されます。

Off/On（NetWare 動作設定）

NetWare を使用するかどうかを設定します。初期設定は**「設定しない」**です。

1 NetWare メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「Off/On」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「Off/On」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、NetWare 使用の有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。NetWare 使用の有無が設定され、NetWare メニューに戻ります。

フレームタイプ（フレームタイプの設定）

NetWare のフレームタイプを設定します。フレームとは、ネットワークを流れるひとかたまりのデータを示します。初期設定は**「自動」**です。

注意：この設定は、NetWare の動作設定で**「設定する」**を選択したときのみ表示されます。

---

1 NetWare メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「ﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「ﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ」が表示されます。

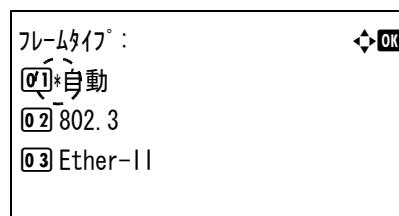
選択できるフレームタイプは次のとおりです。

自動

802.3

Ether-II

802.2

SNAP

3 ［△］または［▽］キーを押して、フレームタイプを選択してください。

4　［OK］キーを押してください。フレームタイプが設定され、NetWare メニューに戻ります。

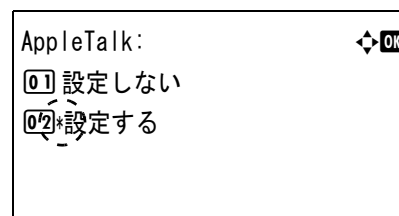
AppleTalk（AppleTalk の設定）

AppleTalk（アップルトーク）は、主に Macintosh で使用されている通信プロトコル、または Mac OS のネットワーク機能を示します。

AppleTalk は 24 ビットのネットワークアドレス（16 ビットのネットワーク部と 8 ビットのノードアドレス）を実装し、ネットワーク上で各機器（PC やプリンタなど）の識別に利用します。

電源を投入すると、ブロードキャスト信号をネットワーク上に流し、自動的にアドレスとマシン名を割り当てます。初期設定は「設定する」です。

1　ネットワークセキュリティメニューで、［△］または［▽］キーを押して、「AppleTalk」を選択してください。

2　［OK］キーを押してください。「AppleTalk」が表示されます。

3　［△］または［▽］キーを押して、AppleTalk 使用の有無を選択してください。

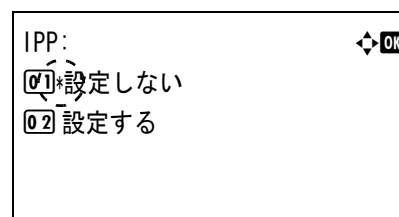
4　［OK］キーを押してください。AppleTalk 使用の有無が設定され、ネットワークセキュリティメニューに戻ります。

IPP（IPP の設定）

IPP（Internet Printing Protocol、インターネット プリンティング プロトコル）は、インターネット網に代表される TCP/IP ネットワークを利用して、遠隔地にあるプリンタと PC の間で印刷データなどのやりとりを行うための規格です。

Web ページの閲覧に使われる HTTP を拡張した規格であり、ルータによって隔てられた遠隔地のプリンタに対しても印刷操作を行うことが可能になります。また、HTTP の認証機構や、SSL によるサーバ認証、クライアント認証、および暗号化にも対応しています。初期設定は「設定しない」です。

1　ネットワークセキュリティメニューで、［△］または［▽］キーを押して、「IPP」を選択してください。

2　［OK］キーを押してください。「IPP」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、IPP 使用の有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。IPP 使用の有無が設定され、ネットワークセキュリティメニューに戻ります。

SSL 設定（SSL の設定）

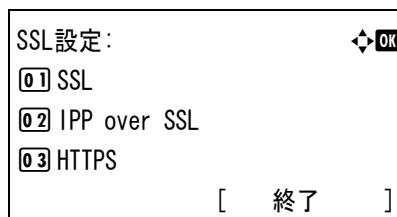
SSL（Secure Sockets Layer）はネットワーク上で情報を暗号化して送受信するプロトコルを示します。現在、インターネットで広く使われている WWW や FTP などのデータを暗号化し、プライバシーに関わる情報やクレジットカード番号、企業秘密などを安全に送受信することができます。

SSL サーバは、このプロトコルを使用し、サーバおよびクライアントの認証を行います。

SSL 設定の設定には以下の項目があります。

- SSL（SSL サーバの設定）
- IPP over SSL（SSL サーバの IPP over SSL 設定）
- HTTPS（SSL サーバの HTTPS 設定）

1 ネットワークセキュリティメニューで、［△］または［▽］キーを押して、「SSL 設定」を選択してください。

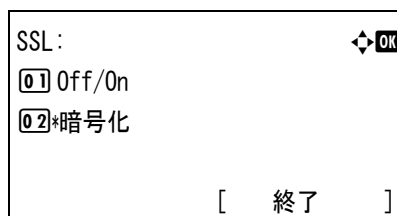
2 ［OK］キーを押してください。SSL 設定メニューが表示されます。

SSL（SSL サーバの設定）

SSL サーバの設定を行います。

SSL の設定には以下の項目があります。

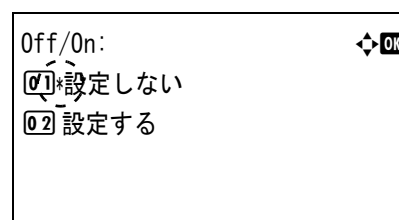
- Off/On（SSL 動作設定）
- 暗号化（暗号化設定）

1 SSL 設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「SSL」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。SSL メニューが表示されます。

Off/On（SSL 動作設定）

SSL サーバを使用するかどうかを設定します。初期設定は「設定しない」です。

1 SSL メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「Off/On」を選択してください。

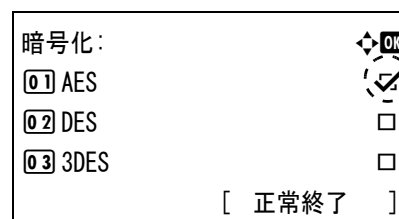
2 ［OK］キーを押してください。「Off/On」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、SSL サーバ使用の有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。SSL サーバ使用の有無が設定され、SSL メニューに戻ります。

暗号化（暗号化設定）

SSL サーバで使用する暗号化方式を設定します。

1 SSL メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「暗号化」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「暗号化」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、使用する暗号化方式をカーソルを合わせ、［OK］キーを押します。

使用できる暗号化方式には以下の項目があります。

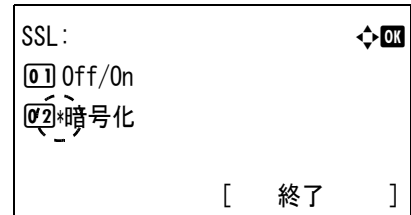
- AES
  AES（Advanced Encryption Standard）は、DES の安全性が低下してきたことを背景に、DES に代わる標準暗号として開発されました。AES は、SPN 構造（繰返し暗号の代表的な構成法）を採用したブロック長 128 ビットのブロック暗号で、鍵長は 128 ビット、192 ビット、256 ビットの 3 つを選択できます。
- DES
  DES（Data Encryption Standard）は、代表的な共通鍵暗号アルゴリズムで、データを 64 ビット長のブロックに分割し、各ブロックを 56 ビット長の鍵で暗号化する共通鍵暗号方式を使用しています。

注意：共通鍵暗号方式では、暗号鍵と復号鍵が共通なため、暗号情報をやり取りする双方で鍵を共有する。したがって鍵の漏えいを防ぐために、鍵の受け渡しや保管などにおいて厳重な管理が必要となります。

- 3DES
  3DES（Triple Data Encryption Standard）は、DES を 3 重に繰り返すことで、暗号強度を高めています。

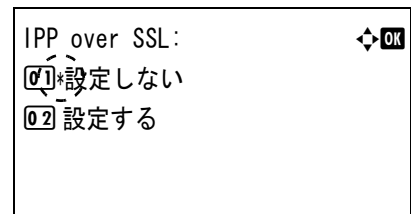
選択した暗号化方式の右にはチェックマーク（✓）が付きます。

4 選択が終了したら［正常終了］（[Right Select]）キーを押してください。使用する暗号化方式が設定され、SSL メニューに戻ります。

暗号化方式を設定すると、メニュー項目の前に、＊が表示されます。

IPP over SSL（SSL サーバの IPP over SSL 設定）

IPP over SSL は、ネットワークにおける印刷で、ユーザとサーバ間の通信を、SSL を使って暗号化する機能のことです。IPP over SSL を利用するには、サーバとクライアントが共に対応している必要があります。初期設定は「設定しない」です。

1 SSL 設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「IPP over SSL」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「IPP over SSL」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、IPP over SSL 使用の有無を選択してください。

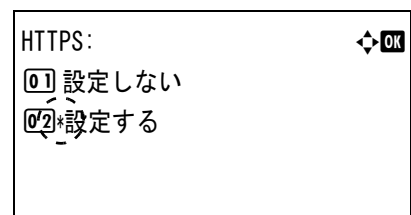
4 ［OK］キーを押してください。IPP over SSL 使用の有無が設定され、SSL 設定メニューに戻ります。

HTTPS（SSL サーバの HTTPS 設定）

HTTPS（HyperText Transfer Protocol Secure）は、WWW サーバとクライアントの間でデータ転送を行う HTTP に SSL によるデータの暗号化、メッセージ認証、ディジタル署名の機能を付加したプロトコルのことです。

同様のプロトコルに S-HTTP がありますが、HTTPS は、SSL を利用しているという点が異なります。初期設定は「設定する」です。

1 SSL 設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「HTTPS」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「HTTPS」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、HTTPS 使用の有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。HTTPS 使用の有無が設定され、SSL 設定メニューに戻ります。

IPSec（IPSec の設定）

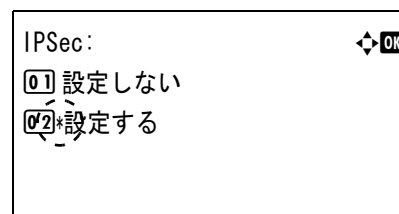
IPSec（IP Security Protocol）は、IETF で標準化された第 3 層のネットワーク層（IP 層）での認証および暗号化を行うためのセキュリティプロトコルのことです。

IPv4 と IPv6 の双方に適用できます。

参考：IPv4 では IP アドレスに 32 ビットが使用され、IPv6 では 128 ビットが使用されます。

初期設定は「設定する」です。

1 ネットワークセキュリティメニューで、［△］または［▽］キーを押して、「IPSec」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「IPSec」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、IPSec 使用の有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。IPSec 使用の有無が設定され、ネットワークセキュリティメニューに戻ります。

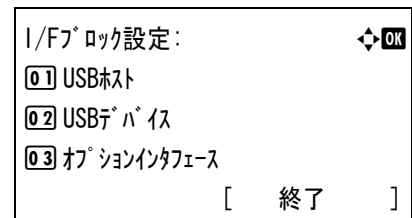
I/F ブロック設定（外部機器ブロックの設定）

インタフェースをブロックして、保護することができます。

I/F ブロック設定には以下の項目があります。

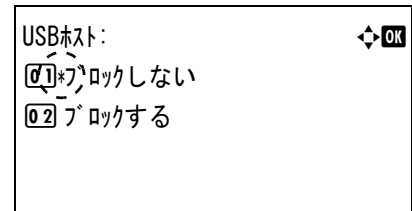
- USB ホスト（USB メモリスロットの設定）
- USB デバイス（USB インタフェースの設定）
- オプションインタフェース（ネットワークインタフェース（NIC:Network interface card）の設定）

1 セキュリティメニューで、［△］または［▽］キーを押して、「I/F ﾌﾞﾛｯｸ設定」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。I/F ブロック設定メニューが表示されます。

USB ホスト（USB メモリスロットの設定）

USB メモリスロット（USB ホスト）をブロックして保護します。初期設定は「ﾌﾞﾛｯｸしない」です。

1 I/F ブロック設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「USB ﾎｽﾄ」を選択してください。

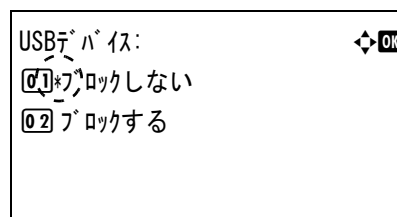
2 ［OK］キーを押してください。「USB ﾎｽﾄ」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、USB ホスト使用の有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。USB ホスト使用の有無が設定され、I/F ブロック設定メニューに戻ります。

USB デバイス（USB インタフェースの設定）

USB インタフェースをブロックして保護します。初期設定は「ﾌﾞﾛｯｸしない」です。

1 I/F ブロック設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「USB ﾃﾞﾊﾞｲｽ」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「USB ﾃﾞﾊﾞｲｽ」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、USB デバイス使用の有無を選択してください。

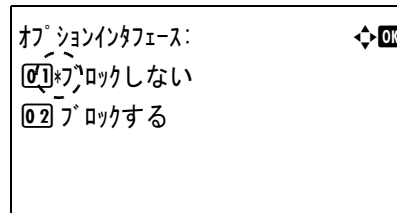
4 ［OK］キーを押してください。USB デバイス使用の有無が設定され、I/F ブロック設定メニューに戻ります。

オプションインタフェース（ネットワークインタフェース（NIC:Network interface card）の設定）

ネットワークインタフェース（NIC）をブロックして保護します。初期設定は「ﾌﾞﾛｯｸしない」です。

参考：「ｵﾌﾟｼｮﾝｲﾝﾀﾌｪｰｽ」は、ネットワークインタフェースが装着されている場合のみ表示されます。

1 I/F ブロック設定メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「ｵﾌﾟｼｮﾝｲﾝﾀﾌｪｰｽ」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「ｵﾌﾟｼｮﾝｲﾝﾀﾌｪｰｽ」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、ネットワークインタフェース使用の有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。ネットワークインタフェース使用の有無が設定され、I/F ブロック設定メニューに戻ります。

「部門管理設定」（部門管理設定）

部門管理は、部門コードを入力することにより、部門別の使用枚数を管理できる機能です。部門管理機能を設定するには、管理者 ID、管理者パスワードの入力が必要です。

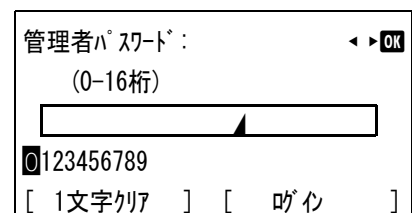
管理者 ID、管理者パスワードの設定手順は、4-94 ページの**「管理者」（管理者の設定）**を参照してください。

本機の部門管理には次の特長があります。

- 最大 100 部門までの管理ができます。
- 部門コードは、1 ～ 99999999 までの最大 8 桁を入力できます。
- 同じ部門コードで、印刷をまとめて管理できます。
- 使用枚数を部門ごとに集計することができます。
- 使用枚数を 1 ～ 9,999,999 枚の範囲で制限することができます。

「部門管理設定」（部門管理設定）メニューには以下の項目があります。

- **「部門管理」（部門管理の設定）**
- **「部門レポート」（部門管理レポートの印刷）**
- **「部門別集計」（部門別集計の表示）**
- **「部門リスト」（部門リストの操作）**
- **「制限超過時設定」（制限超過時の動作設定）**
- **「ID 不明ジョブ処理」（ID 不明部門の動作設定）**

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「部門管理設定」**を選択して［OK］キーを押してください。管理者 ID 入力メニューが表示されます。

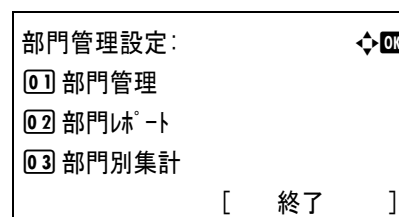
3 管理者 ID を入力します。［◁］または［▷］キーで数字を選択し、［OK］キーで入力してください。

［1 文字ｸﾘｱ］（［Left Select］）キーで 1 文字戻すことができます。

4 完了したら、［**次へ**］（［Right Select］）キーを押してください。管理者パスワード入力メニューが表示されます。

5 管理者パスワード ID を入力します。［◁］または［▷］で数字を選択し、［OK］キーで入力してください。

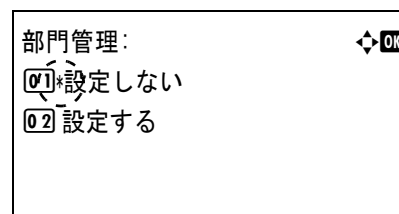
［1 文字ｸﾘｱ］（［Left Select］）キーで 1 文字戻すことができます。

6 完了したら、［ﾛｸﾞｲﾝ］（［Right Select］）キーを押してください。入力した ID とパスワードが正しければ、部門管理設定メニューが表示されます。入力した ID とパスワードが間違っていると、再度「管理者 ID」が表示されます。（手順 3 に戻ります。）

「部門管理」（部門管理の設定）

部門管理の機能をオン・オフ設定できます。

1 部門管理設定選択メニューで［△］または［▽］キーを押して、「部門管理」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。

部門管理選択メニューが一覧表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して「設定する」または「設定しない」を選んで、［OK］キーを押してください。部門管理設定選択メニューに戻ります。

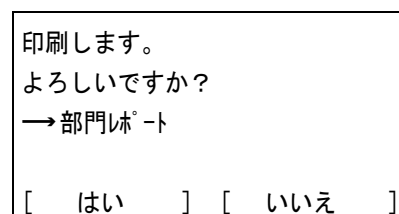
「部門レポート」（部門管理レポートの印刷）

全部門で集計された枚数を、部門管理リストとして印刷できます。

1 部門管理設定選択メニューで［△］または［▽］キーを押して、「部門ﾚﾎﾟｰﾄ」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

［はい］（［Left Select］）キーを押してください。「受け付けました。」が表示され、部門管理レポートを印刷します。

［いいえ］（［Right Select］）キーを押すと、部門管理レポートの印刷は行わず部門管理設定選択メニューに戻ります。

「部門別集計」（部門別集計の表示）

現在設定されている部門別の印刷枚数を表示します。

以下の印刷枚数を確認できます。

- 合計
- カラー
- 白黒
- 集約 (なし)
- 集約 (2in1)
- 集約 (4in1)
- 両面 (片面)
- 両面 (両面)

1 部門管理設定選択メニューで［△］または［▽］キーを押して、「**部門別集計**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。

部門別集計メニューが表示され、部門別に ID の数字が大きくなる順に一覧表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、部門を選択して［OK］キーを押してください。印刷ページ数 / カウンタリセットメニューが表示されます。

4 ［△］または［▽］キーを押して、「**印刷ﾍﾟｰｼﾞ数**」を選択してください。

5 ［OK］キーを押してください。印刷ページ数が一覧表示されます。

6 ［△］または［▽］キーを押して、必要なカウンター表示を確認します。

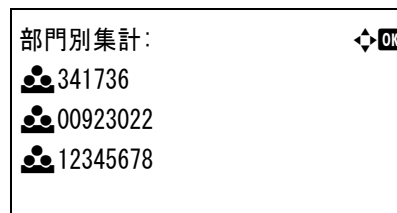
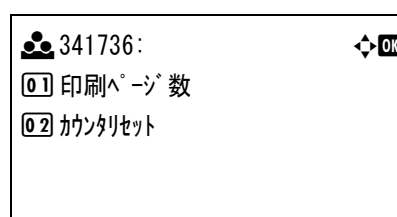
7 ［OK］キーを押してください。印刷ページ数 / カウンタリセットメニューに戻ります。

「カウンタリセット」 部門リストの操作

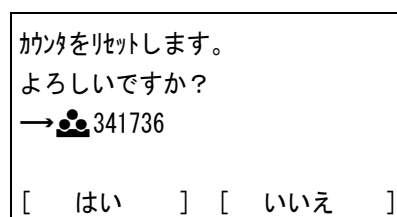
現在設定されている部門別の印刷枚数をリセットします。

1 部門管理設定選択メニューで［△］または［▽］キーを押して、**「部門別集計」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。部門別集計メニューが表示され、部門別に ID の数字が大きくなる順に一覧表示されます。

部門別集計:
341736
00923022
12345678

3 ［△］または［▽］キーを押して、部門を選択して［OK］キーを押してください。印刷ページ数 / カウンタリセットメニューが表示されます。

4 ［△］または［▽］キーを押して、**「ｶｳﾝﾀﾘｾｯﾄ」**を選択してください。

5 ［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

カウンターをリセットして構わなければ［**はい**］（[Left Select]）キーを押してください。**「完了しました。」**が表示され、カウンターリセットを行い、印刷ページ数 / カウンタリセットメニューに戻ります。

［**いいえ**］（[Right Select]）キーを押すと、カウンターのリセットを行わずに印刷ページ数 / カウンタリセットメニューに戻ります。

「部門リスト」（部門リストの操作）

部門管理の設定で使用する部門の設定をおこないます。

「新規登録」部門の登録

新しい部門を登録することができます。

注意：部門コードは、数字列で管理されますので、「1」と「001」は区別され、違う部門として管理されます。また、部門管理がオンの場合、印刷データをどの部門で印刷するかの情報を付加しないと出力されません。

1 部門管理設定選択メニューで［△］または［▽］キーを押して、**「部門ﾘｽﾄ」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。

部門リストメニューが表示され、登録済みの部門が昇順に一覧表示されます。

3 ［新規登録］（[Right Select]）キーを押してください。部門コードメニューが表示されます。

4 登録したい部門コードを入力します。［◁］または［▷］キーで数字を選択し、［OK］キーで入力してください。

［1 文字ｸﾘｱ］（[Left Select]）キーで 1 文字戻すことができます。

5 ［確定］（[Right Select]）キーを押してください。登録が完了すると選択項目の一覧が表示されます。

既に部門コードが登録されている場合このメッセージが表示されます。

「詳細 / 編集」登録済部門の設定確認・編集

登録済みの部門を確認、または編集することができます。

1 部門管理設定選択メニューで［△］または［▽］キーを押して、「部門ﾘｽﾄ」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。

部門リストメニューが表示され、登録済みの部門が昇順に一覧表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、確認または編集したい部門を選択して、［OK］キーを押してください。選択項目の一覧が表示されます。

4 ［△］または［▽］キーを押して、**「詳細 / 編集」**を選択して［OK］キーを押してください。詳細 / 編集メニューが表示されます。

5 部門コードを編集するときは、［△］または［▽］キーを押して、**「部門ｺｰﾄﾞ」**を選択して［OK］キーを押してください。部門コードメニューが表示されます。

6 新しい部門コードを入力します。［◁］または［▷］キーで数字を選択し、［OK］キーで入力してください。

［1 文字ｸﾘｱ］（[Left Select]）キーで 1 文字戻すことができます。

既に部門コードが登録されている場合このメッセージが表示されます。

この部門ｺｰﾄﾞはすでに
登録されています。

7 ［確定］（[Right Select]）キーを押してください。部門コードの編集が完了し、詳細 / 編集メニューに戻ります。

8 この部門に印刷制限をかけるときは、［△］または［▽］キーを押して、**「印刷制限 (合計)」**を選択して［OK］キーを押してください。印刷制限 (合計) メニューが表示されます。

- 設定しない
- ｶｳﾝﾀ制限
- 使用禁止

印刷制限(合計):
01 *設定しない
02 ｶｳﾝﾀ制限
03 使用禁止

9 ［△］または［▽］キーを押して、設定を選択して［OK］キーを押してください。設定が完了して、詳細 / 編集メニューに戻ります。

詳細/編集:
01 部門ｺｰﾄﾞ
02 印刷制限(合計)
03 ｶｳﾝﾀ制限(合計)

10 手順 9 で、印刷制限（合計）に「**ｶｳﾝﾀ制限**」を設定したときは、この部門の全印刷制限枚数を設定します。［△］または［▽］キーを押して、「**ｶｳﾝﾀ制限 (合計)**」を選択して［OK］キーを押してください。「**ｶｳﾝﾀ制限 (合計)**」が表示されます。

ｶｳﾝﾀ制限(合計):
(1-9999999)
1000000 ﾍﾟｰｼﾞ

注意：「**ｶｳﾝﾀ制限 (合計)**」は、印刷制限（合計）に「**ｶｳﾝﾀ制限**」を設定したときに表示されます。

11 この部門に設定したい制限枚数を入力します。

［△］または［▽］キーを押すと、カーソル位置の数値が増減します。

［◁］または［▷］キーを押すと、カーソル位置が左右に移動します。

制限枚数を入力したら［OK］キーを押してください。設定が登録され、詳細 / 編集メニューに戻ります。

詳細/編集:
01 部門ｺｰﾄﾞ
02 印刷制限(合計)
03 ｶｳﾝﾀ制限(合計)

12 この部門にカラー印刷制限をかけるときは、［△］または［▽］キーを押して、「**印刷制限 (ｶﾗｰ)**」を選択して［OK］キーを押してください。「**印刷制限 (ｶﾗｰ)**」が表示されます。

- 設定しない
- ｶｳﾝﾀ制限
- 使用禁止

印刷制限(ｶﾗｰ):
01*設定しない
02 ｶｳﾝﾀ制限
03 使用禁止

13 ［△］または［▽］キーを押して、設定を選択して［OK］キーを押してください。設定が完了して、詳細 / 編集メニューに戻ります。

詳細/編集:
01 部門ｺｰﾄﾞ
02 印刷制限(合計)
03 ｶｳﾝﾀ制限(合計)

14 手順 13 で、印刷制限（ｶﾗｰ）に「**ｶｳﾝﾀ制限**」を設定したときは、この部門のカラー印刷制限枚数を設定します。［△］または［▽］キーを押して、「**ｶｳﾝﾀ制限 (ｶﾗｰ)**」を選択して［OK］キーを押してください。カウンタ制限 (ｶﾗｰ) メニューが表示されます。

ｶｳﾝﾀ制限(ｶﾗｰ):
(1-9999999)
1000000 ﾍﾟｰｼﾞ

注意：「**ｶｳﾝﾀ制限（ｶﾗｰ）**」は、印刷制限（ｶﾗｰ）に「**ｶｳﾝﾀ制限**」を設定したときに表示されます。

---

15 この部門に設定したいカラー制限枚数を入力します。［△］または［▽］キーを押すと、カーソル位置の数値が増減します。［◁］または［▷］キーを押すと、カーソル位置が左右に移動します。

制限枚数を入力したら［OK］キーを押してください。設定が登録され、詳細 / 編集メニューに戻ります。

詳細/編集:
01 部門ｺｰﾄﾞ
02 印刷制限(合計)
03 ｶｳﾝﾀ制限(合計)

「削除」登録済部門の削除

登録済みの部門コードを削除することができます。

1 部門管理設定選択メニューで［△］または［▽］キーを押して、「**部門ﾘｽﾄ**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。

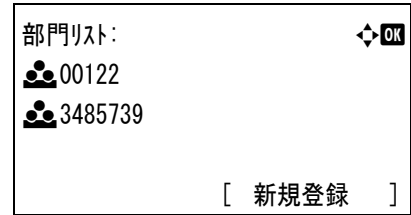
部門リストメニューが表示され、登録済みの部門が昇順に一覧表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、削除したい部門のコードを選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。

選択項目の一覧が表示されます。

5 ［△］または［▽］キーを押して、「**削除**」を選択して［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

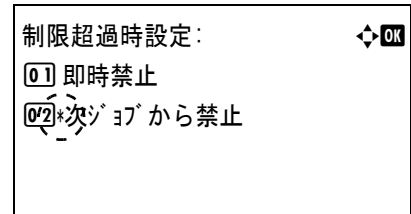
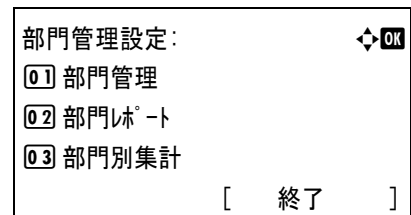
6 削除して構わなければ［はい］（[Left Select]）キーを押してください。「完了しました。」が表示され、部門削除が行われます。部門の削除が終了すると、部門リストメニューに戻ります。

7 ［いいえ］（[Right Select]）キーを押すと、部門削除を行わずに、部門リストメニューに戻ります。

「制限超過時設定」（制限超過時の動作設定）

部門の印刷制限枚数が超過した場合の動作を設定できます。

1 部門管理設定選択メニューで［△］または［▽］キーを押して、「制限超過時設定」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「制限超過時設定」が表示されます。

- 即時禁止（今回印刷から禁止）
- 次ｼﾞｮﾌﾞから禁止（次回印刷から禁止）

3 ［△］または［▽］キーを押して、設定を選択して［OK］キーを押してください。部門管理設定選択メニューに戻ります。

「ID 不明ジョブ処理」（ID 不明部門の動作設定）

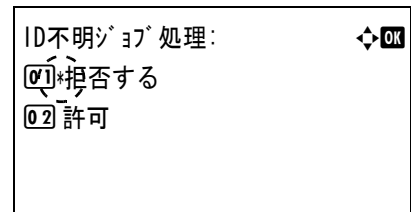
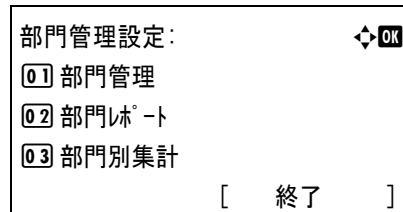
ID 未設定の部門からの印刷を許可するかを設定できます。

1 部門管理設定選択メニューで［△］または［▽］キーを押して、「ID 不明ｼﾞｮﾌﾞ処理」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。

「ID 不明ｼﾞｮﾌﾞ処理」が表示されます。

- 拒否する（印刷しない）
- 許可（印刷する）

3 ［△］または［▽］キーを押して、設定を選択して［OK］キーを押してください。部門管理設定選択メニューに戻ります。

部門管理設定:
01 部門管理
02 部門ﾚﾎﾟｰﾄ
03 部門別集計
[終了]

「管理者」（管理者の設定）

本機を使用できるユーザを特定し、使用者を管理することができる管理者の管理者 ID と管理者パスワードを設定します。

セキュリティ機能および部門管理機能を使用するときに、ここで設定した管理者 ID と管理者パスワードで認証が行われ、正しく認証されたときに設定を行うことが可能になります。

管理者の設定には以下の項目があります。

- 「管理者 ID」（管理者 ID の設定）
- 「管理者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ」（管理者パスワードの設定）

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「管理者」**を選択してください。

3 ［OK］キーを押してください。
「管理者 ID」が表示されます。

4 管理者 ID を入力します。［◁］または［▷］キーで数字を選択し、［OK］キーで入力してください。

［**1 文字ｸﾘｱ**］（［Left Select］）キーで 1 文字戻すことができます。

参考：工場出荷時は、「3500」となります。

5 ［**次へ**］（［Right Select］）キーを押してください。
「管理者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ」が表示されます。

6 管理者パスワードを入力します。［◁］または［▷］キーで数字を選択し、［OK］キーで入力してください。

［**1 文字ｸﾘｱ**］（［Left Select］）キーで 1 文字戻すことができます。

参考：工場出荷時は、「3500」となります。

7 ［ﾛｸﾞｲﾝ］（［Right Select］）キーを押してください。入力した ID とパスワードが正しければ、管理者メニューが表示されます。入力した ID とパスワードが間違っていると、再度「管理者 ID」が表示されます。（手順 3 に戻ります。）

8 ［△］または［▽］キーを押して、「管理者 ID」を選択してください。

9 ［OK］キーを押してください。

「新しい ID」が表示されます。

10 登録する管理者 ID を入力します。［◁］または［▷］キーで数字を選択し、［OK］キーで入力してください。

［1 文字ｸﾘｱ］（［Left Select］）キーで 1 文字戻すことができます。

11 完了したら、［確定］（［Right Select］）キーを押してください。「ID（確認）」が表示されます。

12 登録する管理者 ID を確認のためもう一度入力ます。［◁］または［▷］キーで数字を選択し、［OK］キーで入力してください。

［1 文字ｸﾘｱ］（［Left Select］）キーで 1 文字戻すことができます。

13 完了したら、［確定］（［Right Select］）キーを押してください。管理者メニューに戻ります。

管理者 ID が一致しない場合、「新しい ID」に戻ります。手順 10 に戻って、もう一度始めから登録する管理者 ID を入力してください。

14 管理者メニューで［△］または［▽］キーを押して、「管理者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ」を選択してください。

15 ［OK］キーを押してください。「新しいﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ」が表示されます。

16 登録する管理者パスワードを入力します。［◁］または［▷］キーで数字を選択し、［OK］キーで入力してください。

［1 文字ｸﾘｱ］（[Left Select]）キーで 1 文字戻すことができます。

17 完了したら、［確定］（[Right Select]）キーを押してください。「ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ（確認）」が表示されます。

18 登録する管理者パスワードを確認のためもう一度入力します。［◁］または［▷］キーで数字を選択し、［OK］キーで入力してください。

［1 文字ｸﾘｱ］（[Left Select]）キーで 1 文字戻すことができます。

19 完了したら、［確定］（[Right Select]）キーを押してください。管理者メニューに戻ります。

管理者パスワードが一致しない場合、「新しいﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ」に戻ります。手順 16 に戻って、もう一度始めから登録する管理者パスワードを入力してください。

「調整 / メンテナンス」（調整 / メンテナンスの選択・設定）

調整 / メンテナンスの選択・設定では、印刷品質に関する調整や本機のメンテナンスを行います。

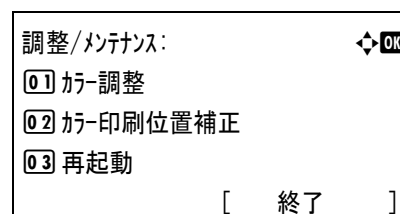
調整 / メンテナンスの選択・設定には以下の項目があります。

- **「カラー調整」（カラー調整）**
- **「カラー印刷位置補正：標準」（カラー印刷位置の補正（標準））**
- **「カラー印刷位置補正：詳細」（カラー印刷位置の補正（詳細））**
- **「再起動」（プリンタの再起動）**
- **「サービス設定」（保守・点検用）**

注意：「ｻｰﾋﾞｽ設定」は、主にサービス担当者がメンテナンスのために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「調整 / ﾒﾝﾃﾅﾝｽ」**を選択してください。

```
調整/ﾒﾝﾃﾅﾝｽ:          ✥OK
01 ｶﾗｰ調整
02 ｶﾗｰ印刷位置補正
03 再起動
              [  終了  ]
```

3 ［OK］キーを押してください。調整 / メンテナンスメニューが表示され、選択項目の一覧が表示されます。

「カラー調整」（カラー調整）

本機には、プリンタ周囲の温度や湿度、プリンタの経年変化などを補正して、最適なカラー印刷を行うよう調整する機能（キャリブレーション）があります。

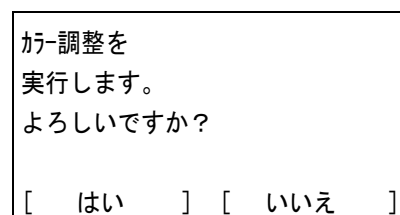
カラー調整は、プリンタの電源を入れるごとに実行されます。また、スリープモードからの復帰時や印刷中にも自動的に実行されることがあります。手動でカラー調整を行う場合は、次の手順で行ってください。

1 調整 / メンテナンスメニューで［△］または［▽］キーを押して、**「ｶﾗｰ調整」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

［**はい**］（［Left Select］）キーを押してください。カラー調整が行われ、終了後、待機画面に戻ります。

［**いいえ**］（［Right Select］）キーを押すと、カラー調整は行わず調整 / メンテナンスメニューに戻ります。

```
ｶﾗｰ調整を
実行します。
よろしいですか？

[  はい  ] [  いいえ  ]
```

「カラー印刷位置補正：標準」（カラー印刷位置の補正（標準））

プリンタを初めて設置したときや移動などで再設置したとき、または印刷時にマゼンタ、シアン、イエローの色ずれが起こる場合、次の手順で色ずれを補正してください。

カラー印刷位置の補正（標準）には以下の項目があります。

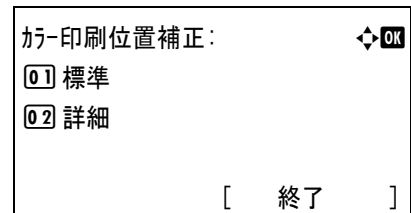
- 「チャート印刷」（カラーレジスト補正チャートの印刷）
- 「マゼンタ補正」（マゼンタの補正）
- 「シアン補正」（シアンの補正）
- 「イエロー補正」（イエローの補正）

「チャート印刷」（カラーレジスト補正チャートの印刷）

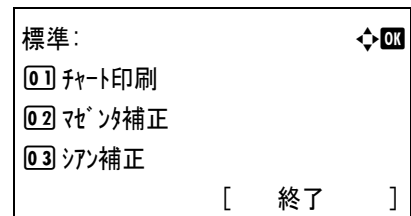
カラー印刷位置の補正に使用するカラーレジスト補正チャートが印刷できます。

1 調整 / メンテナンスメニューで［△］または［▽］キーを押して、「ｶﾗｰ印刷位置補正」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。カラー印刷位置補正メニューが表示されます。

［終了］（[Right Select]）キーを押すと、待機画面に戻ります。

3 ［△］または［▽］キーを押して、「標準」を選択してください。

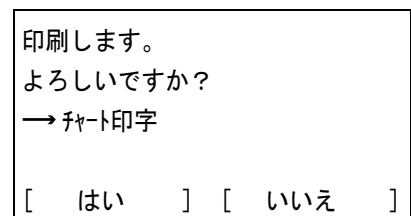
4 ［OK］キーを押してください。標準メニューが表示されます。

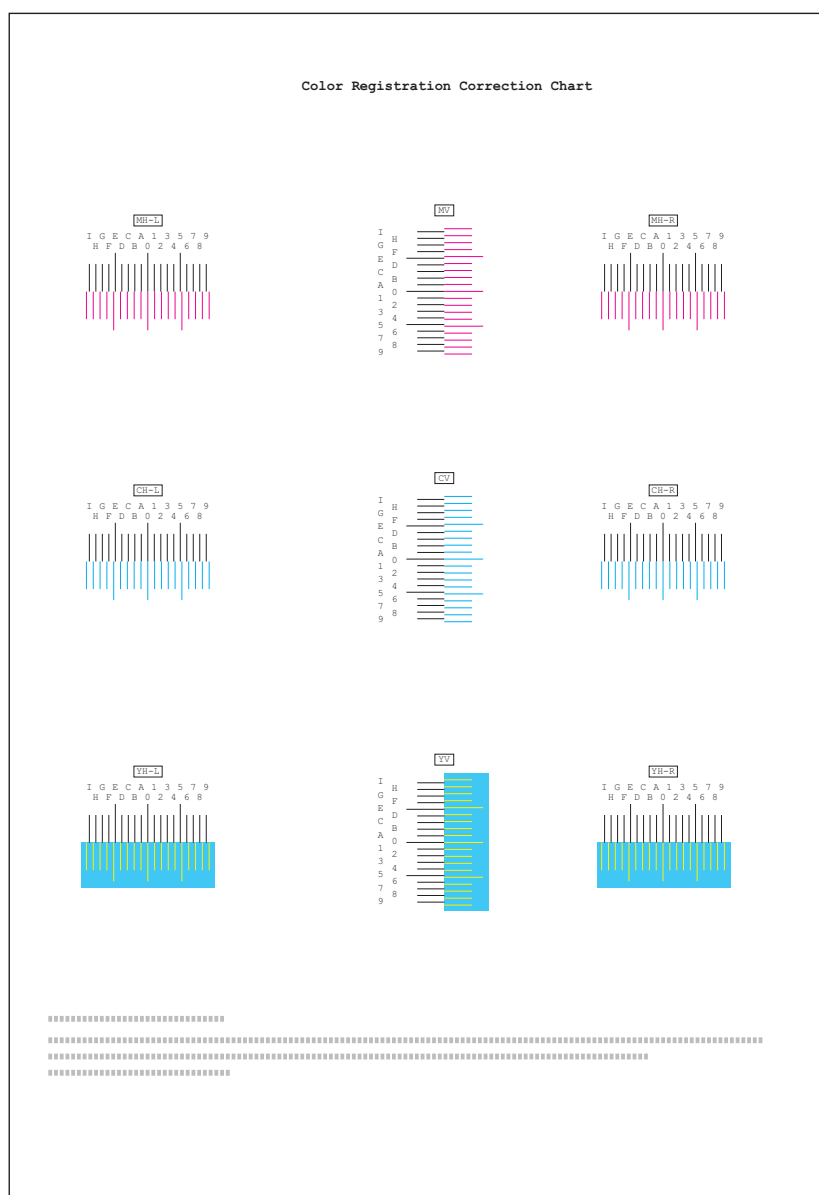
［終了］（[Right Select]）キーを押すと、待機画面に戻ります。

5 ［△］または［▽］キーを押して、「ﾁｬｰﾄ印刷」を選択してください。

6 ［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

部門管理されている場合は、ログイン画面が表示されるので、部門 ID を入力してください。ログイン後に、確認画面が表示されます。

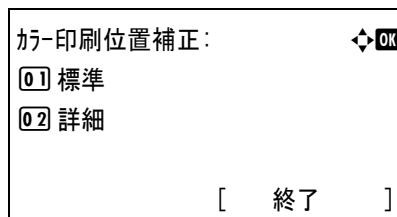
［はい］（[Left Select]）キーを押してください。「完了しました。」が表示され、印刷が実行されます。

［いいえ］（[Right Select]）キーを押すと、印刷を行わずに、標準メニューに戻ります。

印刷されるチャートは、次の図のカラーレジスト補正チャートです。カラーレジスト補正チャートには、マゼンタ、シアン、イエローそれぞれに、L（左）、V（高さ）、R（右）のチャートが印刷されています。

チャート印刷(標準)のサンプル

「マゼンタ補正」（マゼンタの補正）

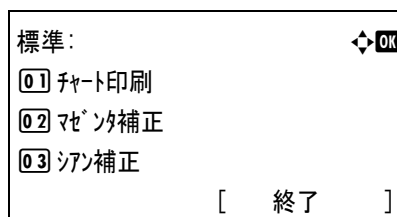
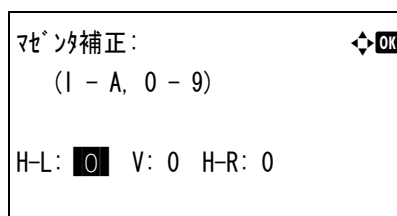
マゼンタ（赤）色の印刷位置の補正を行います

1 調整 / メンテナンスメニューで［△］または［▽］キーを押して、「カラー印刷位置補正」を選択してください。

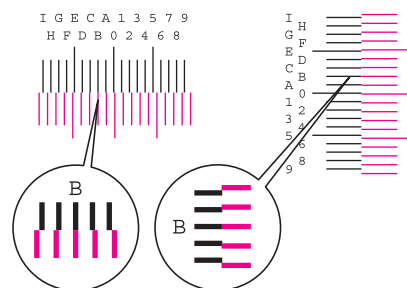
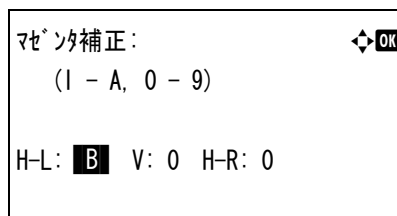
2　[OK] キーを押してください。カラー印刷位置補正メニューが表示されます。

[終了]([Right Select]) キーを押すと、待機画面に戻ります。

3　[△] または [▽] キーを押して、**「標準」**を選択してください。

4　[OK] キーを押してください。標準メニューが表示されます。

[終了]([Right Select]) キーを押すと、待機画面に戻ります。

5　[△] または [▽] キーを押して、**「ﾏｾﾞﾝﾀ補正」**を選択してください。

6　[OK] キーを押してください。**「ﾏｾﾞﾝﾀ補正」**が表示されます。

H-L、V、H-R の値に 0 が表示され、L の値でカーソル(＿)が点滅します。

7　前記のチャート印刷でプリントした、マゼンタの L のチャートから、もっとも直線に近い部分の数値を読み取ってください。次の図の場合は B です。

8　[△] または [▽] キーを押して、読み取った値を表示させてください。

9　[◁] または [▷] キーを押すと、カーソルが左右に移動します。H-L の値と同様に、V と H-R の値をカラーレジスト補正チャートから読み取った値を表示させて、[OK] キーを押してください。設定が保存され、標準メニューに戻ります。

「シアン補正」（シアンの補正）および「イエロー補正」（イエローの補正）

シアン（青）色およびイエロー（黄）色の印刷位置の補正を行います。

1 標準メニューで［△］または［▽］キーを押して、「ｼｱﾝ補正」または「ｲｴﾛｰ補正」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「ｼｱﾝ補正」または「ｲｴﾛｰ補正」が表示されます。

前記のマゼンタ同様にシアンとイエローの数値を、カラーレジスト補正チャートから読み取って設定してください。

```
ｼｱﾝ補正:
  (1 - A, 0 - 9)

H-L: 0  V: 0  H-R: 0
```

```
ｲｴﾛｰ補正:
  (1 - A, 0 - 9)

H-L: 0  V: 0  H-R: 0
```

参考：確認のため、もう一度カラーレジスト補正チャートを印刷してみてください。もっとも直線に近い部分の数値が 0 でない場合は、再度、マゼンタからの補正を行ってください。

重要：補正を行っても色ずれが起こる場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

「カラー印刷位置補正：詳細」（カラー印刷位置の補正（詳細））

カラー印刷位置の補正を、水平および垂直方向へ詳細に行うことができます。

カラー印刷位置の補正（詳細）には以下の項目があります。

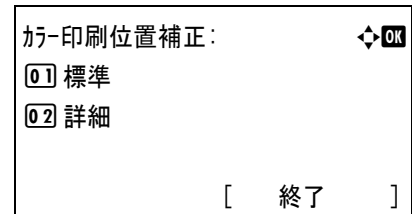
- 「チャート印刷」（カラーレジスト補正チャートの印刷）
- 「マゼンタ補正」（マゼンタの補正）
- 「シアン補正」（シアンの補正）および「イエロー補正」（イエローの補正）

「チャート印刷」（カラーレジスト補正チャートの印刷）

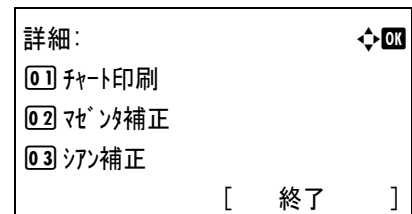
カラー印刷位置の補正に使用するカラーレジスト補正チャートが印刷できます。

1 調整 / メンテナンスメニューで［△］または［▽］キーを押して、「ｶﾗｰ印刷位置補正」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。カラー印刷位置補正メニューが表示されます。

［終了］（[Right Select]）キーを押すと、待機画面に戻ります。

3 ［△］または［▽］キーを押して、「**詳細**」を選択してください。

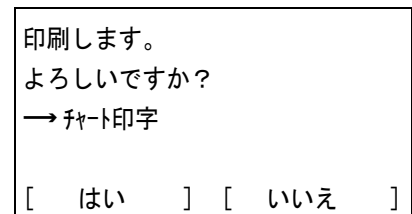
4 ［OK］キーを押してください。詳細メニューが表示されます。

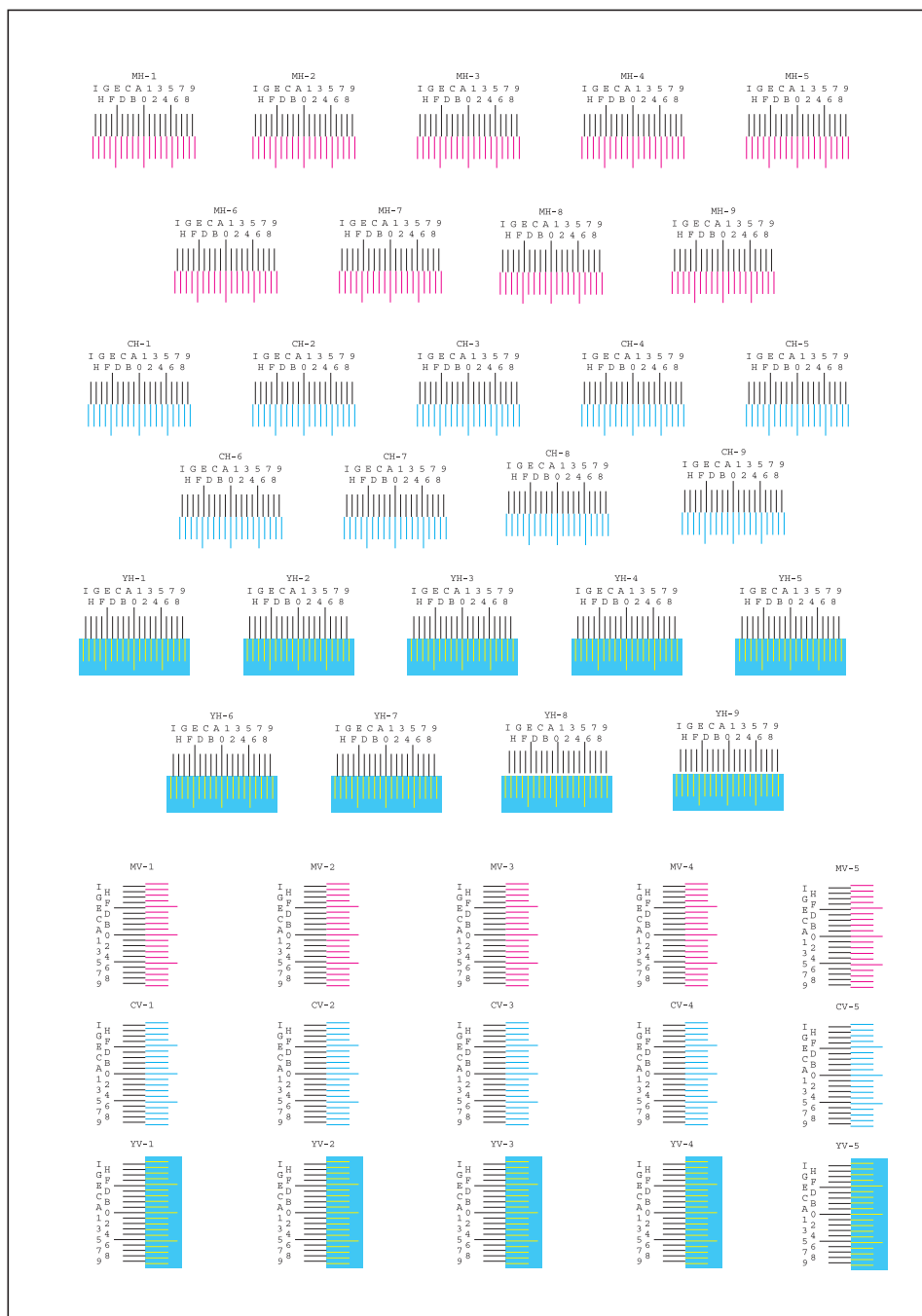
［終了］（[Right Select]）キーを押すと、待機画面に戻ります。

5 ［△］または［▽］キーを押して、「**ﾁｬｰﾄ印刷**」を選択してください。

6 ［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

部門管理されている場合は、部門ログイン後に、確認画面が表示されます。

［はい］（[Left Select]）キーを押してください。「**完了しました。**」が表示され、印刷が実行されます。

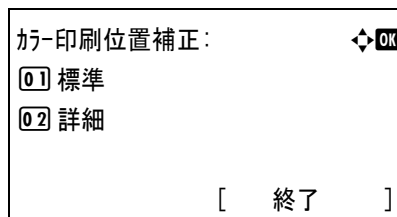
［いいえ］（[Right Select]）キーを押すと、印刷を行わずに、詳細メニューに戻ります。

印刷されるチャートは、次の図のカラーレジスト補正チャートです。カラーレジスト補正チャートには、マゼンタ、シアン、イエローそれぞれに、L（左)、V（高さ)、R（右）のチャートが印刷されています。

チャート印刷(詳細)のサンプル

「マゼンタ補正」（マゼンタの補正）

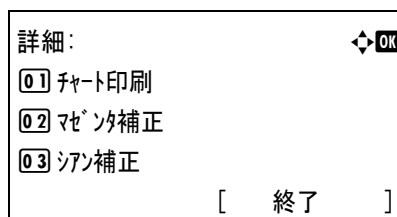
マゼンタ（赤）色の印刷位置の補正（詳細）を行います。

1 調整 / メンテナンスメニューで［△］または［▽］キーを押して、「カラー印刷位置補正」を選択してください。

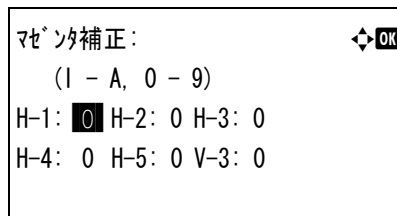
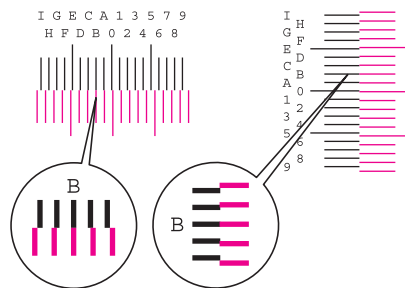
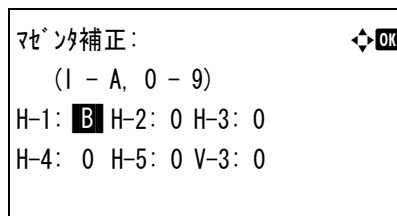
2 [OK] キーを押してください。カラー印刷位置補正メニューが表示されます。

[終了]（[Right Select]）キーを押すと、待機画面に戻ります。

3 [△] または [▽] キーを押して、**「詳細」**を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。詳細メニューが表示されます。

[終了]（[Right Select]）キーを押すと、待機画面に戻ります。

5 [△] または [▽] キーを押して、**「ﾏｾﾞﾝﾀ補正」**を選択してください。

6 [OK] キーを押してください。**「ﾏｾﾞﾝﾀ補正」**が表示されます。

H-1、H-2、H-3、H-4、H-5、V-3 に値が表示されています。

7 前記のチャート印刷でプリントした、マゼンタの H、V のチャートから、もっとも直線に近い部分の数値を読み取ってください。この図の場合は B です。

8 [△] または [▽] キーを押して、読み取った値を表示させてください。

9 [◁] または [▷] キーを押すと、カーソルが左右に移動します。H-1 の値と同様に、その他の値をチャートから読み取った値を表示させて、すべて完了したら、[OK] キーを押してください。設定が保存され、詳細メニューに戻ります。

「シアン補正」（シアンの補正）および「イエロー補正」（イエローの補正）

シアン（青）色およびイエロー（黄）色の印刷位置の補正（詳細）を行います。

1 詳細メニューで［△］または［▽］キーを押して、**「ｼｱﾝ補正」**または**「ｲｴﾛｰ補正」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「ｼｱﾝ補正」**または**「ｲｴﾛｰ補正」**が表示されます。

前記のマゼンタ同様にシアンとイエローの数値を、カラーレジスト補正チャートから読み取って設定してください。

```
ｼｱﾝ補正:
  (I - A, 0 - 9)
H-1: 0 H-2: 0 H-3: 0
H-4:  0 H-5: 0 V-3: 0
```

```
ｲｴﾛｰ補正:
  (I - A, 0 - 9)
H-1: 0 H-2: 0 H-3: 0
H-4:  0 H-5: 0 V-3: 0
```

参考：確認のため、もう一度カラーレジスト補正チャートを印刷してみてください。もっとも直線に近い部分の数値が 0 でない場合は、再度、マゼンタからの補正を行ってください。

注意：補正を行っても色ずれが起こる場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

「再起動」（プリンタの再起動）

RAM ディスクの設定や、インタフェースの設定を行ったときに、プリンタを再起動します。

1 調整 / メンテナンスメニューで［△］または［▽］キーを押して、**「再起動」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

［はい］（[Left Select]）キーを押してください。再起動が実行されます。

［いいえ］（[Right Select]）キーを押すと、再起動を行わずに、調整 / メンテナンスメニューに戻ります。

```
再起動します。
よろしいですか？

[   はい   ] [   いいえ   ]
```

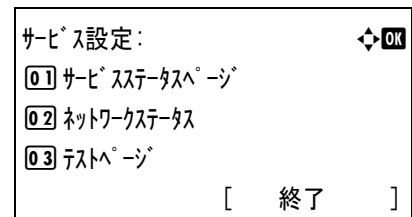
「サービス設定」（保守・点検用）

保守・点検で使用する「ｻｰﾋﾞｽ設定」には以下の項目があります。

- 「サービスステータスページ」（サービスステータスページの印刷）
- 「ネットワークステータス」（ネットワーク用ステータスページの印刷）
- 「テストページ」（テストページの印刷）
- 「メンテナンス」（新メンテナンスキットへの交換確認の設定）
- 「DEV-CLN」（現像器・リフレッシュモードの設定）
- 「ドラム」（ドラム / リフレッシュモードの設定）
- 「LSU」（LSU 清掃モードの設定）

注意：「ｻｰﾋﾞｽ設定」は、主にサービス担当者がメンテナンスのために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。また「ﾒﾝﾃﾅﾝｽ」は、「**MK を交換してください**」が表示されたときのみ表示されます。

1 調整 / メンテナンスメニューで［△］または［▽］キーを押して、「ｻｰﾋﾞｽ設定」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。サービス設定メニューが表示されます。

「サービスステータスページ」（サービスステータスページの印刷）

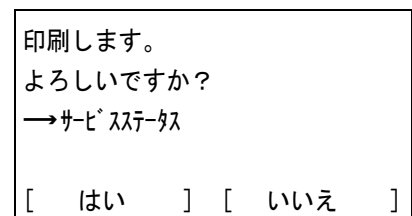
サービスステータスページは、通常のステータスページよりも詳細なプリンタ設定情報が印刷されます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用しますが、必要に応じて印刷できます。

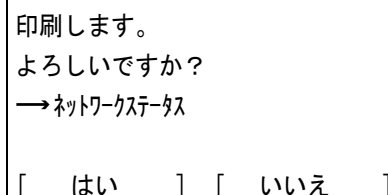
1 サービス設定メニューで［△］または［▽］キーを押して、「ｻｰﾋﾞｽｽﾃｰﾀｽﾍﾟｰｼﾞ」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

部門管理されている場合は、部門ログイン後に、確認画面が表示されます。

［はい］（[Left Select]）キーを押してください。「受け付けました。」が表示され、印刷が実行されます。

［いいえ］（[Right Select]）キーを押すと、印刷を行わずに、サービス設定メニューに戻ります。

「ネットワークステータス」（ネットワーク用ステータスページの印刷）

ネットワーク用ステータスページは、詳細なネットワーク設定情報が印刷されます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用しますが、必要に応じて印刷できます。

1 サービス設定メニューで［△］または［▽］キーを押して、「ﾈｯﾄﾜｰｸｽﾃｰﾀｽ」を選択してください。

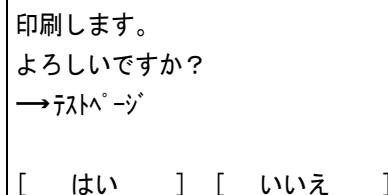
2 ［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

部門管理されている場合は、部門ログイン後に、確認画面が表示されます。

［はい］（［Left Select］）キーを押してください。「受け付けました。」が表示され、印刷が実行されます。

［いいえ］（［Right Select］）キーを押すと、印刷を行わずに、サービス設定メニューに戻ります。

「テストページ」（テストページの印刷）

テストページは、本機の調整結果を確認するために印刷します。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用しますが、必要に応じて印刷できます。

1 サービス設定［△］または［▽］キーを押して、「ﾃｽﾄﾍﾟｰｼﾞ」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

部門管理されている場合は、部門ログイン後に、確認画面が表示されます。

［はい］（［Left Select］）キーを押してください。「受け付けました。」が表示され、印刷が実行されます。

［いいえ］（［Right Select］）キーを押すと、印刷を行わずに、サービス設定メニューに戻ります。

「メンテナンス」（新メンテナンスキットへの交換確認の設定）

新メンテナンスキットへの交換確認（メンテナンスキット総印刷イメージ数のリセット）を設定します。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用します。

注意：「MK を交換してください。」が表示された場合のみ、「ﾒﾝﾃﾅﾝｽ」メニューが表示されます。

---

1 サービス設定メニューで［△］または［▽］キーを押して、「ﾒﾝﾃﾅﾝｽ」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

［はい］（[Left Select]）キーを押してください。「完了しました。」が表示され、メンテナンスのカウンターリセットが実行されます。

［いいえ］（[Right Select]）キーを押すと、メンテナンスカウンターのリセットを行わずに、サービス設定メニューに戻ります。

「DEV-CLN」（現像器・リフレッシュモードの設定）

現像器のリフレッシュモードを設定します。印刷品質が低下したとき、現像器のリフレッシュを行うと、印刷品質を回復することができます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用します。

1 サービス設定メニューで［△］または［▽］キーを押して、「DEV−CLN」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

［はい］（[Left Select]）キーを押してください。現像器のリフレッシュが実行されます。

［いいえ］（[Right Select]）キーを押すと、現像器のリフレッシュを行わずに、サービス設定メニューに戻ります。

「ドラム」（ドラム / リフレッシュモードの設定）

ドラムのリフレッシュモードを設定します。印刷品質が低下したとき、ドラムのリフレッシュを行うと、印刷品質を回復することができます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用します。

1 サービス設定メニューで［△］または［▽］キーを押して、「ﾄﾞﾗﾑ」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

［はい］（[Left Select]）キーを押してください。ドラムのリフレッシュが実行されます。

［いいえ］（[Right Select]）キーを押すと、ドラムのリフレッシュを行わずに、サービス設定メニューに戻ります。

「LSU」（LSU 清掃モードの設定）

LSU の清掃モードを設定します。印刷品質が低下したとき、LSU の清掃を行うと、印刷品質を回復することができます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用します。

1 サービス設定メニューで［△］または［▽］キーを押して、「LSU」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

［はい］（［Left Select］）キーを押してください。LSU ガラスの清掃が実行されます。

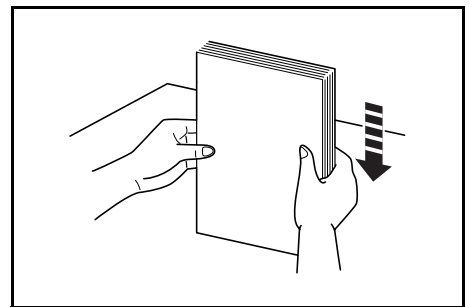
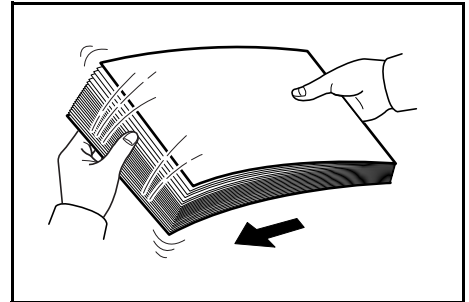
［いいえ］（［Right Select］）キーを押すと、LSU ガラスの清掃を行わずに、サービス設定メニューに戻ります。

5　日常のメンテナンス

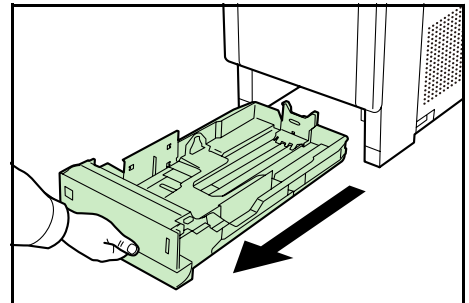
この章では、用紙の補給、トナーコンテナの交換、プリンタ内部の清掃方法について説明します。

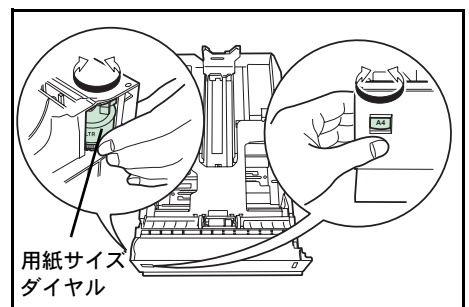
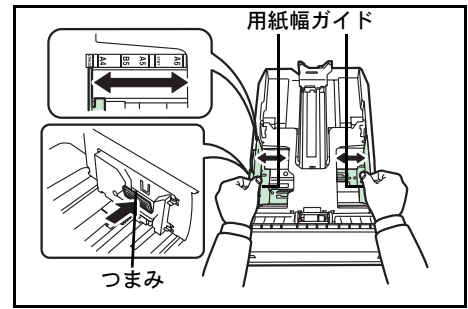
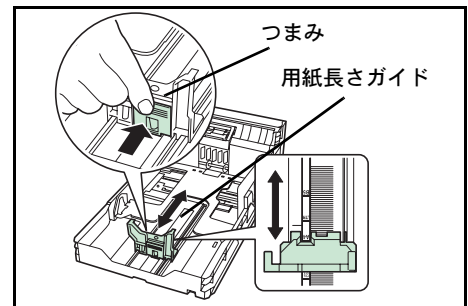
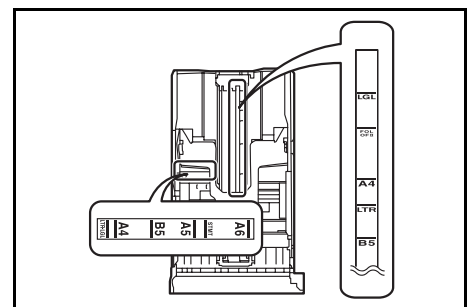
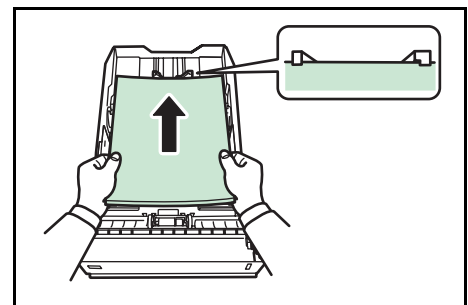
用紙の補給

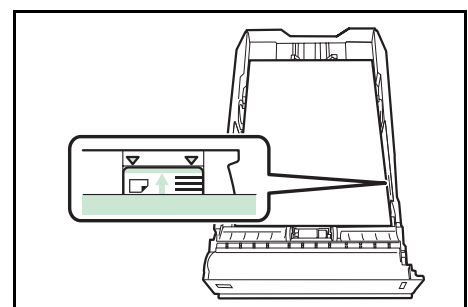
カセットや手差しトレイに用紙を補給する手順について説明します。

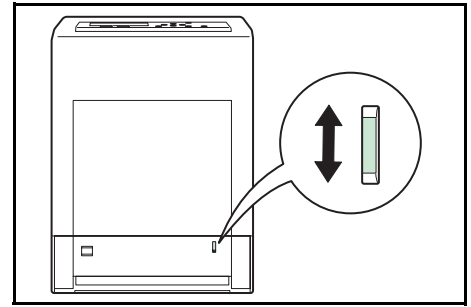
給紙カセットや手差しトレイに用紙をセットする際は、図のように用紙をさばき、平らなところで用紙の端をよく揃えてください。

給紙カセットの用紙の補給

給紙カセットに用紙を補給する場合は、次の手順で行ってください。

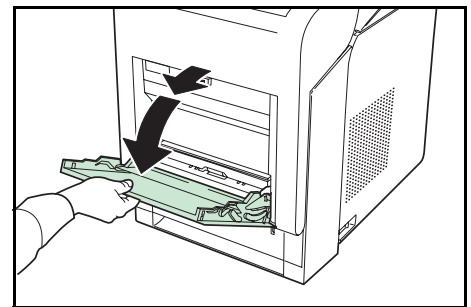
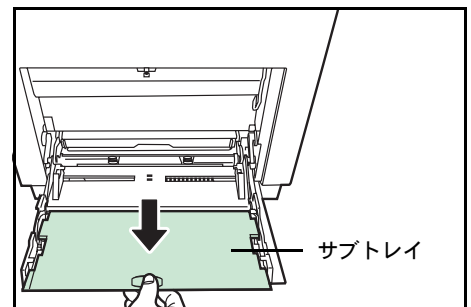
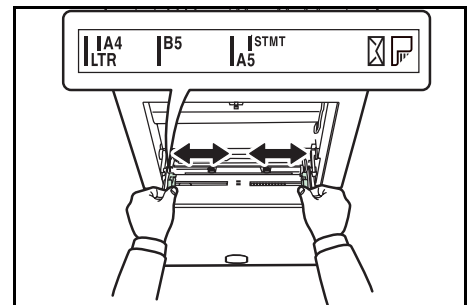
1 給紙カセットを、図のように引き出してください。

2 用紙サイズダイヤルを回して、使用する用紙サイズが見えるように合わせてください。

参考：定形外の用紙を使用する場合は、サイズダイヤルを Other にセットしてください。その際は操作パネルからその用紙サイズを設定することが必要です。詳しくは、**4 操作パネル 「用紙設定」（用紙の設定）**を参照してください。

3 左右の用紙幅ガイドの位置を調整します。つまみを引き上げながらスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせてください。

4 給紙カセット後部の用紙長さガイドの位置を調整します。つまみを引き上げながらスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせてください。

用紙サイズは図のように、給紙カセットに刻印されています。

5 用紙の端をそろえて、図のように給紙カセットに入れてください。

重要：用紙の高さは、用紙上限表示以下になるようにしてください。

厚さ 0.11 mm/ 枚の用紙で約 500 枚までです。

6 給紙カセットを奥まで押し込んでください。

給紙カセット前面の右側に用紙残量表示があります。用紙の残量に合わせて表示が上下します。

手差しトレイの用紙の補給

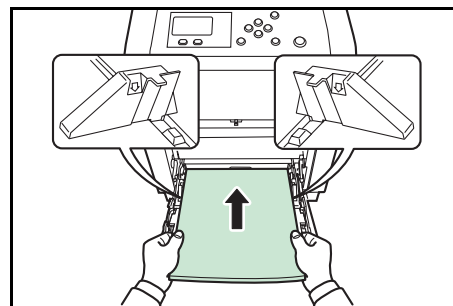
手差しトレイに用紙を補給する場合は、次の手順で行ってください。

1 手差しトレイの中央を押してください。少し開きますので、手前に止まるまで開いてください。

2 サブトレイを隙間がないように、手前に止まるまで引き出してください。

3 用紙ガイドの位置を調整します。用紙サイズは手差しトレイに刻印されていますので、用紙ガイドをスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせてください。

4 用紙の先端をそろえて、手差しトレイに入れてください。

重要：用紙の高さは、用紙上限表示以下になるようにしてください。

OHP フィルムを印刷する場合、1 枚ずつ給紙してください。

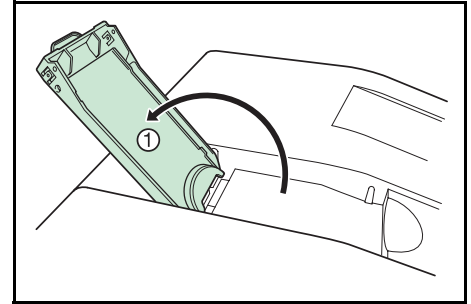
すでに印刷されている用紙の裏面を使用するときなど、用紙がカールしている場合は、まっすぐにのばしてからセットしてください。

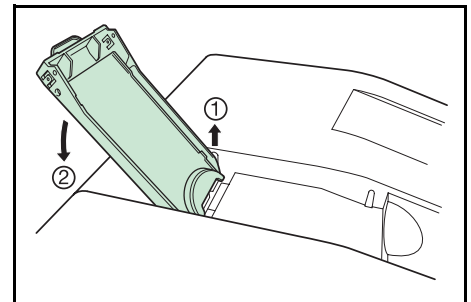
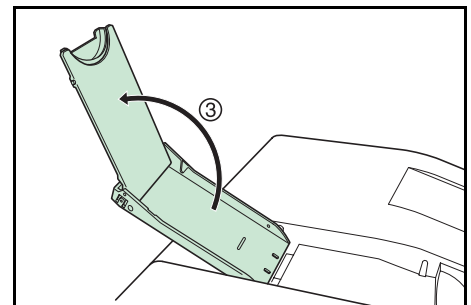
---

5 操作パネルで、手差しトレイの用紙サイズを設定してください。詳しくは、4 **操作パネル 「用紙設定」（用紙の設定）**を参照してください。

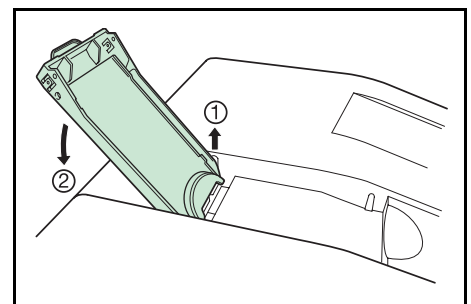
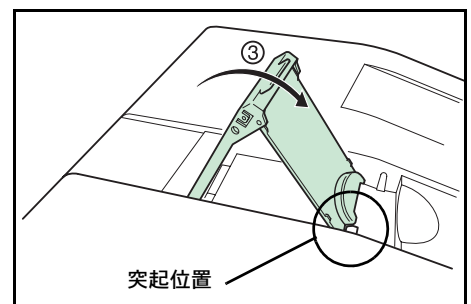
排紙ストッパ

用紙サイズに合わせて排紙ストッパを設定してください。

- A4、LTR の場合

  排紙ストッパを①の位置まで展開します。

- LGL の場合

  排紙ストッパを上に向け、①のように上に引き出してから②の位置まで展開します。

  排紙ストッパ内部の羽を、③の位置まで展開してロックします。

- A5 の場合

  排紙ストッパを上に向け、①のように上に引き出してから②の位置まで展開します。

  排紙ストッパ内部の羽を開き、③のように手前に倒して、羽の先端を本体の突起位置に合わせてください。

トナーコンテナの交換

トナーが残り少なくなると、メッセージディスプレイに「ﾄﾅｰが少なくなりました」が表示されます。（メッセージと交互に表示される [C][M][Y][K] は、交換の必要があるトナーの色を示しています。）このメッセージの表示後もそのまま印刷を続けることが可能ですが、一定枚数の印刷を行うと「上ｶﾊﾞｰを開け、ﾄﾅｰを交換してください。」が表示されて、プリンタは停止します。最初のメッセージが表示されたら、早めに以下のトナーキットを準備してください。

トナーの色	トナーコンテナの型番
ブラック（K）	TK-571K
シアン（C）	TK-571C
マゼンタ（M）	TK-571M
イエロー（Y）	TK-571Y

トナーコンテナの交換時期

1 本のトナーコンテナで印刷可能な枚数は、印刷データ（どれだけのトナーを使うか）によって変わります。ISO/IEC 19798 に準拠し、エコプリントモードをオフで使用した場合、トナーコンテナの平均的な印刷可能枚数は以下のとおりです。（A4 で印刷の場合。）

トナーの色	トナーコンテナの寿命（印刷枚数）
ブラック（K）	16000 イメージ
シアン（C）	12000 イメージ
マゼンタ（M）	12000 イメージ
イエロー（Y）	12000 イメージ

参考：プリンタに付属しているトナーコンテナは、それぞれ約 50％の容量です。（例えば、ブラック（K）の印刷枚数は約 8000 イメージです。）

トナーキットの内容

- トナーコンテナ
- 廃棄トナーボックス
- 廃棄用ポリ袋： 2 枚（古いトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスを入れてください。）
- 使用説明書

重要：トナーコンテナの交換の際には、フロッピーディスク、および USB メモリなどを近くに置かないでください。

トナーコンテナの交換後は、プリンタ内部の清掃を行ってください。詳しくは 5-12 ページの**清掃**を参照してください。

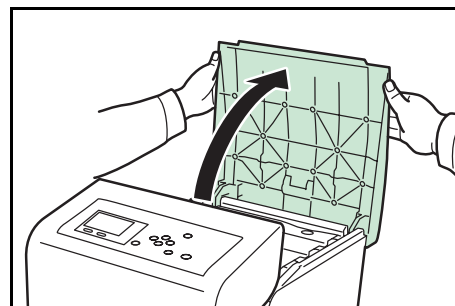
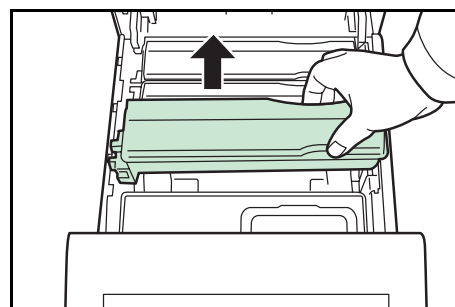
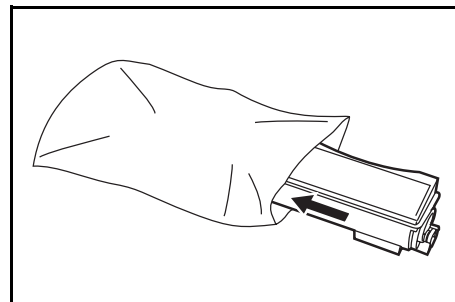
プリンタのトラブル防止や、末永くプリンタをご使用いただくため、純正トナーキットをご使用ください。純正トナーキット以外を使用した場合は、プリンタの品質を損なうなどのトラブルの原因となります。

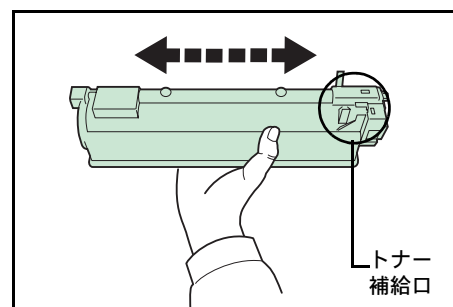
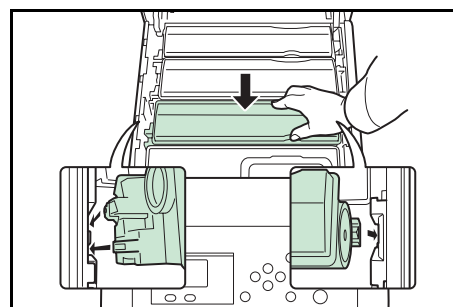
トナーコンテナの交換方法

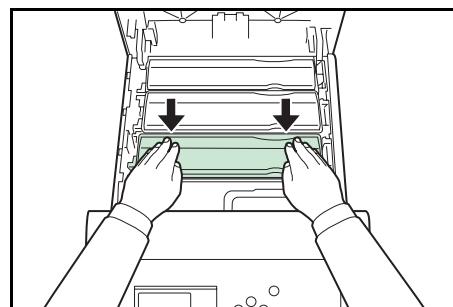
注意：トナーコンテナは火中に投じないでください。火花が飛び散り、やけどの原因となることがあります。また、無理に開けたり壊したりしないでください。

参考：トナーコンテナの交換は、プリンタの電源を入れたまま行えます。

トナーコンテナの交換の際は、最初に交換が必要なトナーコンテナの色を確認してください。次の例は、イエロー（Y）のトナーコンテナの交換手順です。

1 プリンタの上カバーを開いてください。

2 図のように古いトナーコンテナをゆっくりと取り外してください。

3 新しいトナーコンテナをトナーキットから取り出してくだい。

注意：使用済みのトナーコンテナは、トナーが飛散しないように、新しいトナーキットに付属の廃棄用ポリ袋に入れてください。

4 内部のトナーが均一になるように、注意などの刻印表示面を下側にして図のように 5 ～ 6 回振ってください。その際、トナーコンテナ中央部を強く押したり、トナー補給口に手を触れないでください。

5 新しいトナーコンテナの刻印表示面を上側にし、左右のミゾに合わせて、水平にプリンタに装着してください。

6 トナーコンテナを押して、カチッと音がするまで確実に装着してください。

その他の色のトナーコンテナを交換する場合にも、同じ手順で行ってください。

7 上カバーを閉じてください。

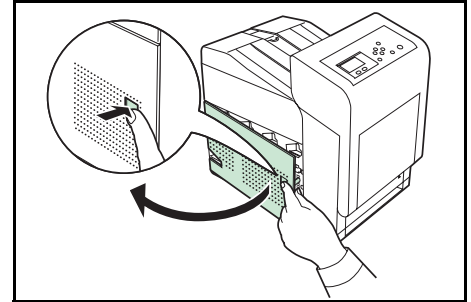
参考：上カバーが閉まらない場合は、トナーコンテナが正しい位置にあるか（手順 6）もう一度確認してください。

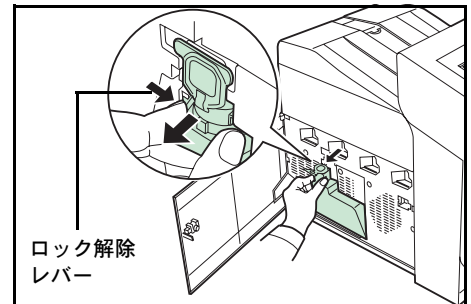
京セラミタでは環境問題を考慮し、使用済みトナーコンテナの無償回収を実施しております。詳しくは、トナーキットに同梱されている**「トナーコンテナ引き取り回収依頼書」**または京セラミタ株式会社のホームページを参照してください。
http://www.kyoceramita.co.jp/support/

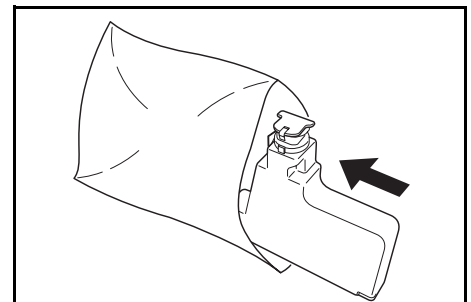
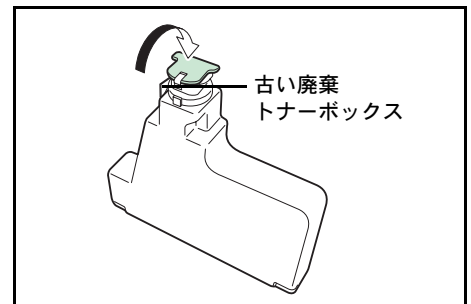
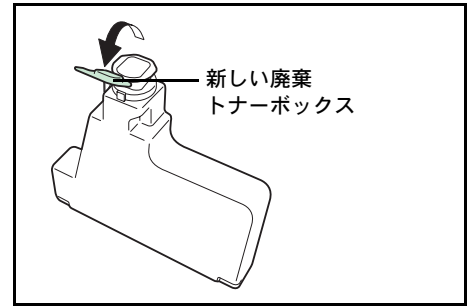
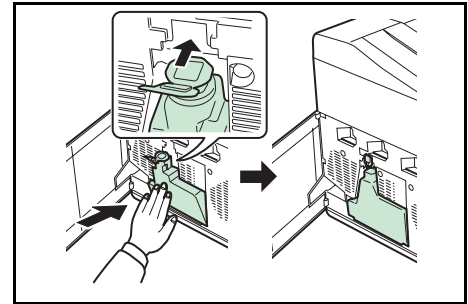
廃棄トナーボックスの交換

廃棄トナーボックスの交換方法

メッセージディスプレイに「**廃棄トナーボックスを確認してください。**」と表示された場合は、次の手順で廃棄トナーボックスを交換してください。交換用の廃棄トナーボックスは、新しいトナーキットに付属しています。

1 プリンタの左カバーを開いてください。

2 廃棄トナーボックスを押さえながらロック解除レバーを押し、ゆっくりと廃棄トナーボックスを取り外してください。

参考：廃棄トナーボックスを取り外すときは、トナーがこぼれないように注意してください。キャップが開いている状態で廃棄トナーボックスを下に向けたりしないでください。

3 取り出した古い廃棄トナーボックスに、図のようにキャップをしてください。

注意：古い廃棄トナーボックスは、トナーが飛散しないよう、付属の廃棄用ポリ袋に密封して処理してください。

4 新しい廃棄トナーボックスのキャップを開けてください。

5 図のように新しい廃棄トナーボックスの下側を装着部に合わせ、ロックされるまで押し込んで、プリンタに装着してください。

6 廃棄トナーボックスが正しく装着されていることを確認し、左カバーを閉めてください。

トナーコンテナの交換後は、プリンタ内部の清掃を行ってください。5-12 ページの**清掃**を参照してください。

清掃

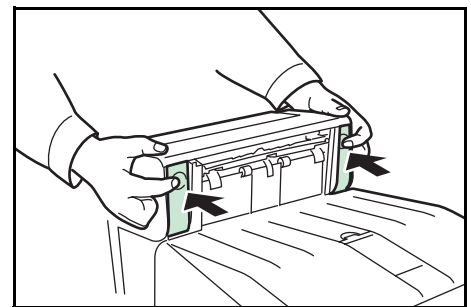
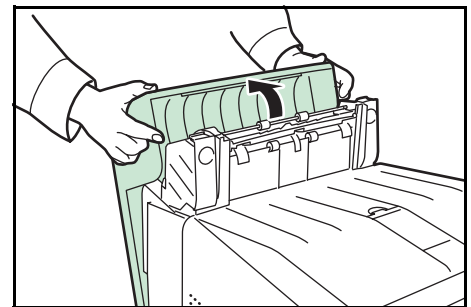
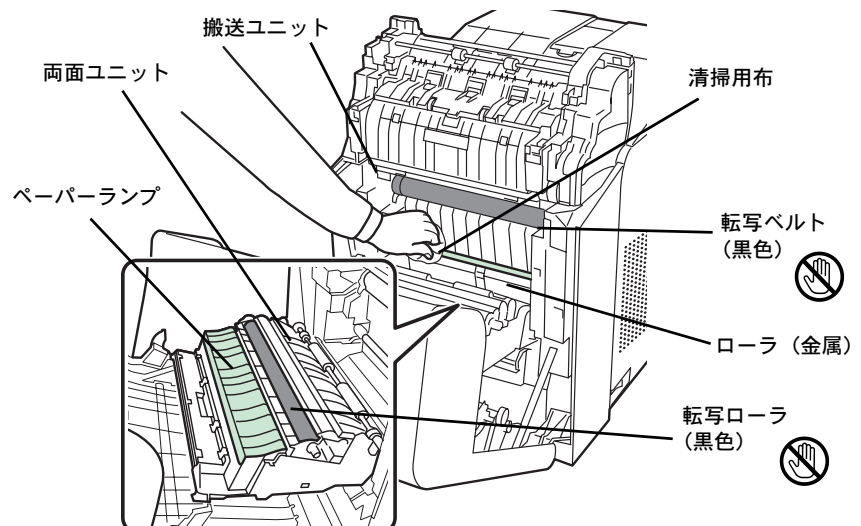
トナーコンテナや廃棄トナーボックスの交換時は、搬送ユニットの清掃をしてください

最良の印刷品質を保つために、トナーコンテナ交換時以外にも月に 1 回程度はプリンタ内部を清掃することをおすすめします。

また、印刷にスジなどの汚れが出たり、印刷が薄かったりぼやける場合にも清掃してください。

搬送ユニットの清掃

搬送ユニットが汚れると、印刷した用紙の裏が汚れるなどの問題が起こる場合があります。搬送ユニットは次の手順で清掃してください。

1 レバーを押してロックを外します。

2 前カバーを手前に倒してください。

3 乾いた柔らかい清掃用布で、金属のローラに付着している紙粉やペーパーランプ上の汚れを拭き取ってください。

重要：清掃中は転写ローラ（黒色）や転写ベルト（黒色）に触れないようにご注意ください。印刷品質が低下する原因になります。

4 前カバーを元に戻してください。

注意：前カバーを閉じるとき、手を挟まないように注意してください。

6　困ったときは

この章では、トラブルが発生したときの対処方法を説明します。

一般的な問題について

問題と見られる症状の中には、お客様ご自身で解決できるものが少なくありません。ここでは、このような問題に対する処置方法について説明します。プリンタに何らかの問題が発生した場合は、故障とお考えになる前に次のチェックを行ってみてください。

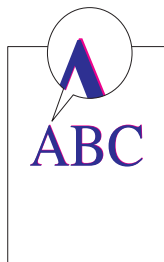
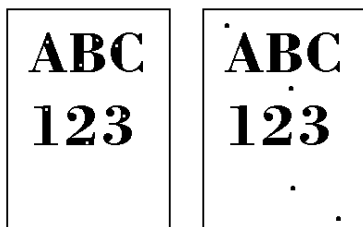
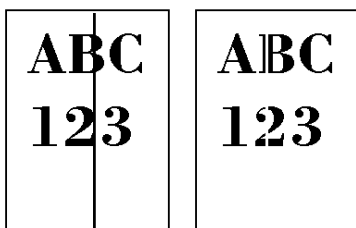
現象	確認事項	処置
印刷品質が悪い。		6-3 ページの**印刷品質の問題**を参照してください。
用紙がつまった。		6-15 ページの**紙づまりの処置**を参照してください。
電源を入れても、操作パネルに何も表示されず、ファンの回る音もしない。	電源コードがプリンタとコンセントに差し込まれているか、確認してください。	電源を一度切ってから、電源コードを確実に差し込み、もう一度電源を入れなおしてください。
	電源スイッチがオン（｜）の位置になっているか確認してください。	電源スイッチをオン（｜）の位置にしてください。
ステータスページは正常に印刷するが、PC からのデータが正常に印刷されない。	接続しているケーブルを確認してください。	接続しているケーブルを両端とも確実に接続してください。ケーブルを別のものと交換してみてください。 インタフェースの仕様については、**付録（インタフェース）**を参照してください。
	プログラムファイルや、アプリケーションソフトを調べてみてください。	別のファイルを印刷してみてください。または、別のアプリケーションで印刷してみてください。ある一定のファイルやアプリケーションのみに問題が発生するようであれば、そのアプリケーションのプリンタ設定等を確認してください。
排紙トレイ付近から湯気が出る	プリンタを使用している場所の温度が低くないか、かつ湿気を帯びた用紙が使用されていないか確認してください。	プリンタを使用する環境や用紙の状態によっては、用紙に含まれる水分が、印刷時の熱によって蒸発し、その水蒸気が煙のように見える場合があります。そのまま印刷を続けても問題はありません。 水蒸気が気になる場合は、室内温度を上げるか、湿気の少ない新しい用紙に交換してください。

さらに、次の点を確認してください。

- プリンタに接続している PC を再起動してください。
- 最新バージョンのプリンタドライバを使用してください。京セラミタ株式会社のホームページからダウンロードできます。
http://www.kyoceramita.co.jp/download/

以上のチェックを行ってみても、問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

印刷品質の問題

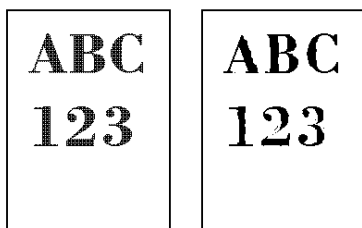
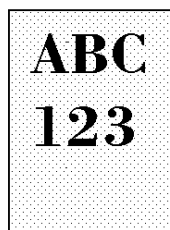
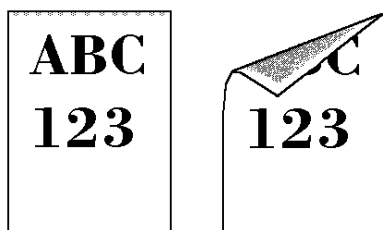
印刷品質の問題には、印刷ムラなどさまざまな症状があります。ここではそれぞれの症状に応じた処置の方法を説明します。ここで説明する処置を行っても問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

印刷例	処置
色ずれが起こる 	操作パネルからカラーの位置補正を実行してください。詳しくは、4-98 ページの**「カラー印刷位置補正：標準」（カラー印刷位置の補正（標準））**を参照してください。
全体に一色が印刷される。 	メインチャージャユニットを確認してください。 プリンタの左カバーを開き、メインチャージャユニットが正しく装着されているかを確認してください。
白抜けや点が印刷される。 ABC 123 ABC 123	LSU ガラスクリーニングを実行してください。 詳しくは、4-109 ページの**「LSU」（LSU 清掃モードの設定）**を参照してください。

<table>
<tr><th>印刷例</th><th>処置</th></tr>
<tr><td rowspan="3">縦線が入る。
ABC 123 ABC 123 給紙方向</td><td>操作パネルを確認してください。

「トナーが少なくなりました」が表示されているときは、トナーコンテナを交換してください。詳しくは、5-7 ページのトナーコンテナの交換を参照してください</td></tr>
<tr><td>LSU ガラスクリーニングを実行してください。

詳しくは、4-109 ページの「LSU」（LSU 清掃モードの設定）を参照してください。</td></tr>
<tr><td>ドラムリフレッシュを実行してください。

操作パネルから、以下の手順を操作して、ドラムのクリーニングを実行してください。

1. モード選択メニューで[△]または[▽]キーを押して、「調整/メンテナンス」を選択してください。
2. [OK]キーを押してください。調整/メンテナンスメニューが表示されます。
3. 調整/メンテナンスメニューで[△]または[▽]キーを押して、「サービス設定」を選択してください。
4. [OK]キーを押してください。サービス設定メニューが表示されます。
5. サービス設定メニューで[△]または[▽]キーを押して、「ドラム」を選択してください。
6. [OK]キーを押してください。確認画面が表示されます。
7. [はい]（[Left Select]）キーを押してください。ドラムのクリーニングが開始されます。ドラムの清掃が終わると、サービス設定メニューに戻ります。</td></tr>
</table>

印刷例	処置
画像が薄い、またはぼやける。	ドラムリフレッシュを実行してください。 詳しくは、4-108 ページの **「ドラム」（ドラム / リフレッシュモードの設定）** を参照してください。
	用紙種類の設定が正しいか確認してください。詳しくは、**4 操作パネル「用紙設定」（用紙の設定）** を参照してください。
	プリンタの電源スイッチを一度切ってから入れ直すか、または、操作パネルからカラーの調整を実行してください。詳しくは、4-97 ページの **「カラー調整」（カラー調整）** を参照してください。
	プリンタドライバから色の設定を調節してください。
	操作パネルを確認してください。 **「ﾄﾅｰが少なくなりました」** が表示されているときは、トナーコンテナを交換してください。詳しくは、5-8 ページの **トナーコンテナの交換方法** を参照してください。
	ドラムリフレッシュを実行してください。 操作パネルから、以下の手順を操作して、ドラムのクリーニングを実行してください。 1. モード選択メニューで[△]または[▽]キーを押して、**「調整/ﾒﾝﾃﾅﾝｽ」** を選択してください。 2. [OK]キーを押してください。調整/メンテナンスメニューが表示されます。 3. 調整/メンテナンスメニューで[△]または[▽]キーを押して、**「ｻｰﾋﾞｽ設定」** を選択してください。 4. [OK]キーを押してください。サービス設定メニューが表示されます。 5. サービス設定メニューで[△]または[▽]キーを押して、**「ﾄﾞﾗﾑ」** を選択してください。 6. [OK]キーを押してください。確認画面が表示されます。 7. [はい]（[Left Select]）キーを押してください。ドラムのクリーニングが開始されます。ドラムの清掃が終わると、サービス設定メニューに戻ります。
背景が一様にうすい色になる。	プリンタの電源スイッチを一度切ってから入れ直すか、または、操作パネルからカラー調整を実行してください。詳しくは、4-97 ページの **「カラー調整」（カラー調整）** を参照してください。
用紙の先端や裏側が汚れる。 	搬送ユニット内部を確認してください。 前カバー、両面ユニットを開き、搬送ユニット内部がトナーなどで汚れていないか確認してください。汚れている場合は、乾いた柔らかい清掃用布で拭き取ってください。詳しくは、5-12 ページの **搬送ユニットの清掃** を参照してください。
	LSU ガラスクリーニングを実行してください。 詳しくは、4-109 ページの **「LSU」（LSU 清掃モードの設定）** を参照してください。

エラーメッセージ

次の表では、お客様で対処可能なメンテナンスメッセージを挙げています。

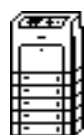
「故障が発生しました。ｻｰﾋﾞｽ担当者に連絡してください。」や「Machine failure. Call service.」、「主電源ｽｲｯﾁを入れ直してください。」や「Turn the main power switch off and on.」が表示された場合、電源を入れ直して復帰するかご確認ください。改善されない場合、プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

メッセージとともにブザーが鳴る場合もあります。ブザーを止めるには、[キャンセル] キーを押してください。

メッセージ	処置
故障が発生しました。 ｻｰﾋﾞｽ担当者に 連絡してください。 F###	プリンタコントローラのエラーが発生してプリンタは停止しました。「###」の表示をメモに控え、その後プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
故障が発生しました。 ｻｰﾋﾞｽ担当者に 連絡してください。 F000	プリンタコントローラと操作パネル間のデータのやり取りができません。プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
故障が発生しました。 ｻｰﾋﾞｽ担当者に 連絡してください。 ####	機械的なエラーが発生してプリンタは停止しました。「#」に 4 桁の数字やアルファベットが表示され、プリンタの総印刷ページ数も同時に表示されます。「#」の表示をメモに控え、その後プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
ｴﾗｰが発生しました。 主電源ｽｲｯﾁを 入れ直してください。 F###	プリンタコントローラのエラーが発生してプリンタは停止しました。「###」の表示をメモに控え、その後プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
ｴﾗｰが発生しました。 主電源ｽｲｯﾁを 入れ直してください。 F000	プリンタコントローラと操作パネル間のデータのやり取りができません。プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

メッセージ	処置
IDが違います。	• 部門管理メニューに入る時に、入力したアクセスコードと設定したアクセスコードが違います。正しいアクセスコードを確認してください。詳しくは、4-84ページの**「部門管理設定」(部門管理設定)**を参照してください。 • プライベートプリントで印刷する時に、入力したアクセスコードと設定したアクセスコードが違います。正しいアクセスコードを確認してください。詳しくは、4-19ページの**「ジョブボックス」(ジョブボックスの選択)**を参照してください。
部門ｺｰﾄﾞが 違います。	
KPDLｴﾗｰです。 [OK]を押して ください。 ##	KPDL（PostScript Level 3 互換のページ記述言語）のエラーです。印刷を再開するために［OK］キーを押します。印刷を中止する場合は、［**キャンセル**］キーを押します。オートエラークリアがオンのときは、一定時間が経つと、自動的に印刷を開始します。モード選択メニューから**「KPDL ｴﾗｰﾚﾎﾟｰﾄ」**を選択し、オンにするとエラーレポートが出力されます。詳しくは、4-44 ページの**「印刷設定」（印刷の設定）**を参照してください。
MKを交換してください	メンテナンスキットの交換が必要です。メンテナンスキットは、約 300000 イメージの印刷ごとに交換します。お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
RAMﾃﾞｨｽｸｴﾗｰです。 [OK]を押して ください。 ##	RAM ディスクエラーが起こりました。「##」にエラーコードが表示されます。RAM ディスクエラーは 6-14 ページの **RAM ディスクのエラー ##** を参照してください。［OK］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
USBﾒﾓﾘｴﾗｰです。 [OK]を押して ください。 ##	USB メモリにエラーが起こりました。［OK］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。USB メモリエラーは 6-14 ページの**メモリカードおよび USB メモリのエラー ##** を参照してください。［OK］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
部門管理で禁止されて います。[OK]を 押してください。	部門管理機能がオンの状態で、部門ごとに設定された印刷の制限方法が印刷禁止の時、印刷しようとした場合に表示されます。［OK］キーを押すと印刷可能な状態に戻ります。詳しくは、4-84 ページの**「部門管理設定」（部門管理設定）**を参照してください。

メッセージ	処置
部門管理の制限を 超えました。[OK]を 押してください。	部門管理機能がオンの状態で、部門ごとに設定された印刷の制限枚数を超えて印刷しようとした場合に表示されます。[OK] キーを押すと印刷可能な状態に戻ります。詳しくは、4-84 ページの「**部門管理設定**」（**部門管理設定**）を参照してください。
上ｶﾊﾞｰを 閉じてください。	プリンタの上カバーが開いています。上カバーを閉じてください。
上ﾄﾚｲの用紙が いっぱいです。 用紙を取り除いて ください。	上トレイに用紙がたまっています。上トレイにある用紙をすべて取り除いてください。上トレイには約 500 枚まで収納できます。用紙をすべて取り除くと、印刷が再開されます。
ｶｾｯﾄ#をｾｯﾄしてください。	給紙カセットが入っていません。表示された番号の給紙カセットを正しく入れてください。オプションのペーパーフィーダが装着されている場合のみ給紙元の数字が表示されます。
ｶｾｯﾄ#を確認して ください。	給紙元のカセットにリフト異常が発生しています。表示された給紙元（給紙カセットまたはオプションのペーパーフィーダ）のカセットを引き出し、用紙のセット状態を確認してください。 このエラーが繰り返し発生した場合、「**故障が発生しました。ｻｰﾋﾞｽ担当者に連絡してください。**」のエラー表示になります。
用紙を入れてください	給紙元の用紙がなくなりました。給紙元（給紙カセット、手差しトレイまたはオプションのペーパーフィーダ）に、要求された用紙を補給してください。 プリンタの状態を示すメッセージ（「**待機中です。**」、「**お待ちください。**」、「**ﾃﾞｰﾀ処理中です。**」）が交互に表示されます。（コピー枚数を 2 枚以上に設定している場合、「**ﾃﾞｰﾀ処理中です。**」は、交互表示されません。）
ｶｾｯﾄ準備中です。	選択している給紙カセットが準備中です。

メッセージ	処置
本体の電源ｺｰﾄﾞを抜き ﾏﾙﾁﾍﾟｰﾊﾟｰﾌｨｰﾀﾞに 接続してください。	オプションのペーパーフィーダ（PF-510）に電源が接続されてなく、用紙種類の設定が**「加工紙」（ｺｰﾄ紙）**の場合に表示されます。ペーパーフィーダに電源接続をしてください。
######で 紙づまり です。	紙づまりが起こりました。紙づまりの場所は、**「#...#」**に表示されます。詳しくは 6-15 ページの**紙づまりの処置**を参照してください。
給紙できません。 ｶｾｯﾄを ｾｯﾄしてください。	ペーパーフィーダに給紙カセットが装着されていないか、正しく装着されていません。給紙カセットを正しく装着してください。オプションのペーパーフィーダを装着し、下段のペーパーフィーダを給紙元として選択している際に、上段のペーパーフィーダまたはプリンタの給紙カセットが正しく装着されていない場合に表示されます。
指定外のﾄﾅｰが 装着されています。	装着されたトナーが指定品でない場合に表示されます。指定されたトナーを装着してください。
指定外のﾄﾅｰが 装着されています。 PC [C][M][Y][K]	装着されたトナーが指定品でない場合に表示されます。指定されたトナーを装着してください。
指定のﾄﾅｰが 装着されています。	装着されたトナーが指定品の場合に表示されます。
ｼﾞｮﾌﾞが保存できません [OK]を押して ください。	ジョブボックス機能を使った印刷時に、ハードディスクや RAM ディスクの容量が不足している、またはハードディスク未装着時に RAM ディスクが無効となっているため、印刷できませんでした。［OK］キーを押すと、エラーレポートを出力し、印刷可能な状態に戻ります。

メッセージ	処置
ｾｷｭﾘﾃｨﾚﾍﾞﾙが低いです	セキュリティレベルを低い設定にしているとき表示されます。
給紙元の選択： 2 A5 普通紙 3 A4 ﾗﾍﾞﾙ紙 4 B4 普通紙	印刷データと一致した給紙カセット内（用紙サイズ、用紙種類）に用紙が無いとき、この代用給紙のメッセージで代わりに使用する給紙カセットを指定できます。オプションのペーパーフィーダが装着されている場合のみ給紙元の数字が表示されます。違う給紙元から印刷をしたい場合は、4-44 ページの**「印刷設定」（印刷の設定）**を参照してください。
中止中です。	データのキャンセル中に表示されます。
使用中のため取り外す ことができません。	USB メモリ使用中に、取り外しメニューを実行した場合に表示されます。1，2 秒表示された後、直前の表示に戻ります。
ﾄﾅｰが少なくなりました ↓↑ [C][M][Y][K]	2 つのメッセージが交互に表示されます。表示されたの色のトナー（[C] シアン、[M] マゼンタ、[Y] イエロー、[K] ブラック）が少なくなりました。早めに新しいトナーコンテナを準備してください。詳しくは、5-7 ページの**トナーコンテナの交換**を参照してください。

メッセージ	処置
ﾄﾅｰ交換してください [C][M][Y][K] ↓↑ ﾄﾅｰ交換してください [C][M][Y][K] ﾌﾟﾘﾝﾀ清掃してください	2 つのメッセージが交互に表示されます。表示されたの色の新しいトナーキットを使用してトナーコンテナを交換してください。このメッセージが表示されているときは、プリンタは動作しません。例えば、「ﾄﾅｰがありません。[C][K]」が表示された場合は、シアンとブラックのトナーを交換してください。詳しくは、5-7 ページの**トナーコンテナの交換**を参照してください。
ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸｴﾗｰです。 [OK]を押して ください。 ##	ハードディスクエラーが起こりました。「##」にそのエラーコードが表示されます。詳しくは 6-14 ページの**記憶装置のエラーコード**を参照してください。 ［OK］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
HDDのﾌｫｰﾏｯﾄが必要	プリンタに装着されたハードディスクがフォーマットされていません。ハードディスクをフォーマットしてください。詳しくはハードディスクの使用説明書を参照してください。
廃棄ﾄﾅｰﾎﾞｯｸｽを 確認してください。	廃棄トナーボックスが装着されていないか、または廃棄トナーボックスがほぼ満杯です。廃棄トナーボックスを装着または交換してください。詳しくは、5-10 ページの**廃棄トナーボックスの交換**を参照してください。
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞが 違います。	入力したパスワードと設定したパスワードが違います。正しいパスワードを確認してください。詳しくは、**4-84 ページの「部門管理設定」（部門管理設定）**、4-94 ページの**「管理者」（管理者の設定）**を参照してください。
左ｶﾊﾞｰを 閉じてください。	プリンタの左カバーが開いています。左カバーを閉じてください。

メッセージ	処置
複数印刷できません。 [OK]を押して ください。	ハードディスクあるいは RAM ディスクが装着されていないため、複数部印刷できません。ハードディスクを装着するか、拡張メモリを増設して、RAM ディスクの設定を行ってください。
部門管理設定ｴﾗｰです。 [OK]を押して ください。 ##	部門管理機能がオンの状態で、部門管理の設定や部門の登録、削除が失敗した場合に表示されます。［OK］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
部門ｺｰﾄﾞが違います。 [OK]を押して ください。	部門管理機能がオンの状態で、送信された印刷ジョブに部門指定がされていなかった場合や、指定された部門が登録されていなかった（誤った部門が指定されていた）場合に表示されます。［OK］キーを押すと印刷可能な状態に戻ります。詳しくは、4-84 ページの**「部門管理設定」（部門管理設定）**を参照してください。
この部門ｺｰﾄﾞはすでに 登録されています。	部門管理メニューで、部門を登録する際に入力された部門コードがすでに存在するとき表示されます。詳しくは、4-84 ページの**「部門管理設定」（部門管理設定）**を参照してください。
ﾌﾟﾘﾝﾄｵｰﾊﾞｰﾗﾝです。	メモリ（VRAM）への展開遅れが発生すると表示されます。［OK］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
ﾌﾟﾘﾝﾀを ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ してください。	プリンタ内部を清掃してください。詳しくは 5-12 ページの**清掃**を参照してください。 **「ﾄﾅｰ交換してください」**が表示された後にトナーコンテナを交換した場合、このメッセージが表示されます。プリンタ内部を清掃し、［OK］キーを押すと印刷可能な状態に戻ります。
前ｶﾊﾞｰを 閉じてください。	プリンタの前カバーが開いています。前カバーを閉じてください。

メッセージ	処置
ﾒﾓﾘｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰです。 一部印刷されないﾍﾟｰｼﾞ があります。	プリンタのメモリが不足しています。ステータスページを印刷すると、現在のメモリ量を確認できます。 メモリを増設してください。印刷を再開するには［OK］キーを押します。印刷を中止する場合は、［**キャンセル**］キーを押します。オートエラークリアがオンの場合は、一定時間が経つと自動的に印刷を開始します。詳しくは、4-61 ページの**「共通設定」（デバイス全般の選択・設定）**を参照してください。
ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞｴﾗｰです。 [OK]を押して ください。 ##	メモリカードエラーが起こりました。**「##」**にエラーコードが表示されています。詳しくは 6-14 ページの**メモリカードおよび USB メモリのエラー ##** を参照してください。［OK］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞのﾌｫｰﾏｯﾄが必要	メモリカードがフォーマットされてないため、データの読み取りまたは書き込みができません。メモリカードをフォーマットしてください。詳しくは、4-61 ページの**「共通設定」（デバイス全般の選択・設定）**を参照してください。
この用紙は両面印刷 できません。	両面印刷できない用紙サイズまたは用紙種類が選択されているため、両面印刷ができません。［OK］キーを押すと片面で印刷を行います。

記憶装置のエラーコード

ハードディスクのエラー

「##」に表示されるエラーコード（数字）を確認して、次を参照してください。

コード	意味
01	ハードディスクのフォーマットエラーです。再度プリンタの電源を入れ直してみてください。
02	ディスクシステムがインストールされていません。システムおよび機器に必要な環境を確認してください。
04	ハードディスクに必要な容量が不足しています。ハードディスク内のデータを整理し、領域を拡大してください。
06	ハードディスクに必要なメモリーが不足しています。メモリーの拡張を行ってください。
10	ホストデータがハードディスクにスプールされているので、フォーマットできません。**「待機中です。」**になってからフォーマットしてください。
97	文書データが制限値に達しており、これ以上保存できません。文書データを整理するか、制限値を上げてください。
98	読み取れないページがあります。
99	指定された ID に対する文書データが存在しません。

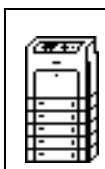
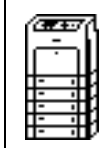
メモリカードおよび USB メモリのエラー##

「##」に表示されるエラーコード（数字）を確認して、次を参照してください。

コード	意味
01	メモリカードがこのプリンタの仕様に適していません。または壊れています。適応するメモリカードを挿入してください。詳しくは付録 -15 ページの**メモリカード**を参照してください。
02	メモリカードが装着されていません。メモリカードの使用に必要な環境を確認してください。
03	メモリカードがライトプロテクトされています。メモリカードの状態を確認してください。
04	メモリカードの容量が不足しています。不要なファイルを削除するなどしてください。
05	指定したファイルが、メモリカードまたは USB メモリ内にありませんでした。
06	メモリカードに必要なメモリが不足しています。メモリの拡張を行ってください。
50	メモリカードがライトプロテクトされているか、無効なデバイスです。メモリカードの状態を確認してください。

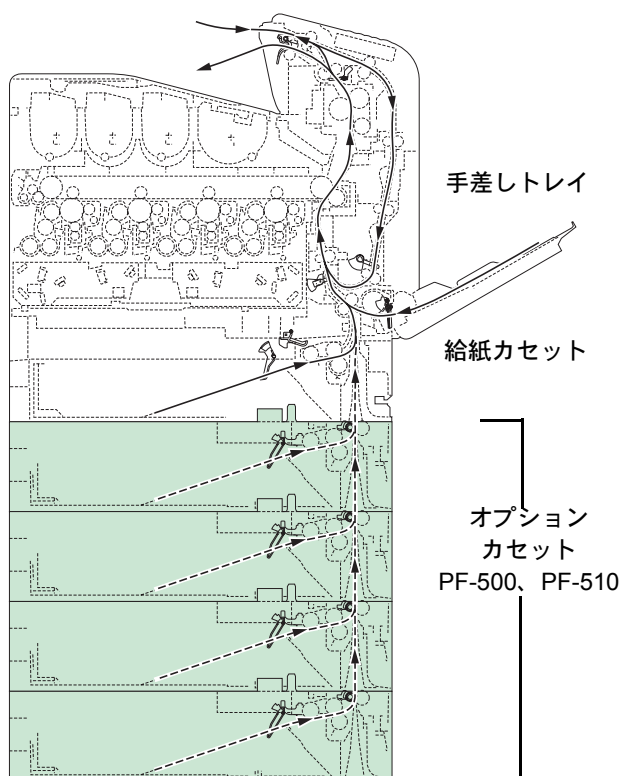
RAM ディスクのエラー

「##」に表示されるエラーコード（数字）を確認して、次を参照してください。

コード	意味
01	フォーマットエラーです。再度プリンタの電源を入れ直してみてください。
02	RAM ディスクモードがオフになっています。RAM ディスクモードをオンにしてください。
04	RAM ディスクの容量が不足しています。RAM ディスク内のデータを整理してから、再度作業を行ってください。または、RAM ディスクの領域を拡大してください。
06	ディスクシステムで使用できるメモリが足りません。プリンタにオプションの拡張メモリを増設してください。

紙づまりの処置

用紙がプリンタ内でつまったときや、用紙が給紙カセットより給紙されなかったときなどにはプリンタは停止し、紙づまりのメッセージと紙づまり発生位置を表示します。つまった用紙を取り除くと通常の状態に戻り、印刷が再開します。

紙づまりのメッセージが表示された場合、プリンタはオフラインになります。

メッセージと紙づまり位置の詳細は次のとおりです。参照ページを参照して、つまった用紙を取り除いてください。

紙づまりメッセージ	内容	参照ページ
ﾌﾟﾘﾝﾀで 紙づまり です。 [　ﾍﾙﾌﾟ　]	プリンタ内部、または手差しトレイで紙づまりを起こしています。	6-16 ページ 6-17 ページ
ｶｾｯﾄ#で 紙づまり です。 [　ﾍﾙﾌﾟ　]	給紙カセット（1)、またはオプションカセット（2 〜 5）で紙づまりを起こしています。	6-18 ページ

紙づまりについて

紙づまりがしばしば起こる場合は、用紙の仕様が本機に合っていない可能性が考えられますので、用紙の種類を変えてみてください。用紙の仕様については 3 **用紙について**を参照してください。用紙を変えて試してみても、紙づまりがしばしば起こる場合は、プリンタに何らかの問題がある場合が考えられますので、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

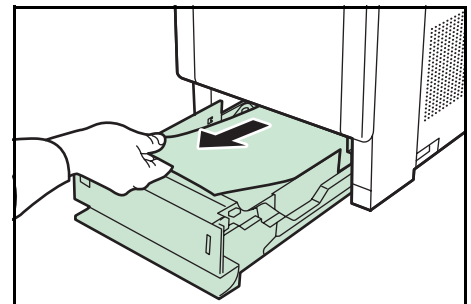
重要：つまった用紙を取り除く際は、プリンタ内に紙片を残さないようご注意ください。

紙づまりを起こしたページは、紙づまりが発生した場所によって再印刷されない場合があります。

給紙カセット内での紙づまり

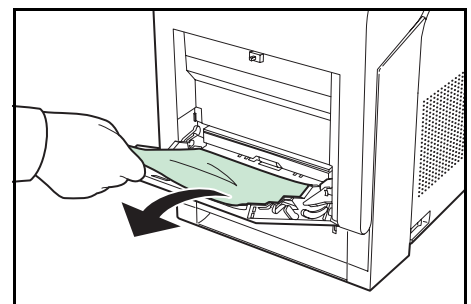
給紙カセットで紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1 プリンタの前カバーを開け、搬送ユニットの紙づまりを先に確認してください。詳しくは 6-17 ページの**搬送ユニットでの紙づまり**を参照してください。

2 給紙カセットを引き出し、つまった用紙を取り除いてください。

手差しトレイでの紙づまり

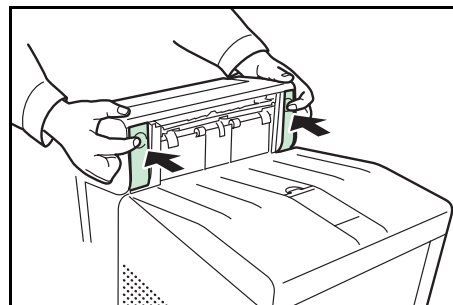
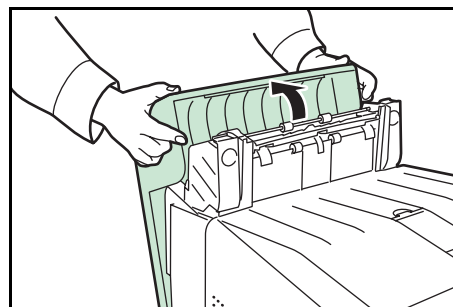
手差しトレイで紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1 プリンタの前カバーを開け、搬送ユニットの紙づまりを先に確認してください。詳しくは 6-17 ページの**搬送ユニットでの紙づまり**を参照してください。

2 手差しトレイにつまった用紙を取り除いてください。

搬送ユニットでの紙づまり

搬送ユニットで紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

注意：定着カバーの内部は高温になっています。やけどのおそれがありますのでご注意ください。

1 レバーを押してロックを外します。

2 前カバーを手前に倒してください。

3 図 A のようなローラ（金属）に達していない紙づまりの場合は、用紙の先端から引き出して取り除いてください。

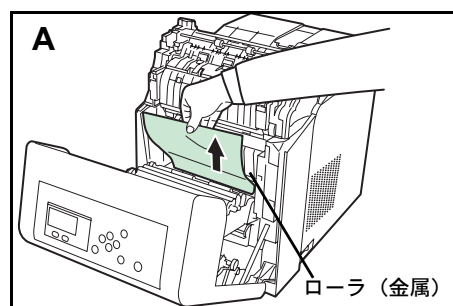



図 B のような定着部に達した紙づまりの場合は、定着カバーを開いて、用紙の先端から引き出して取り除いてください。

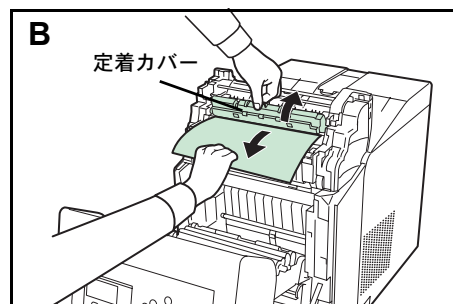
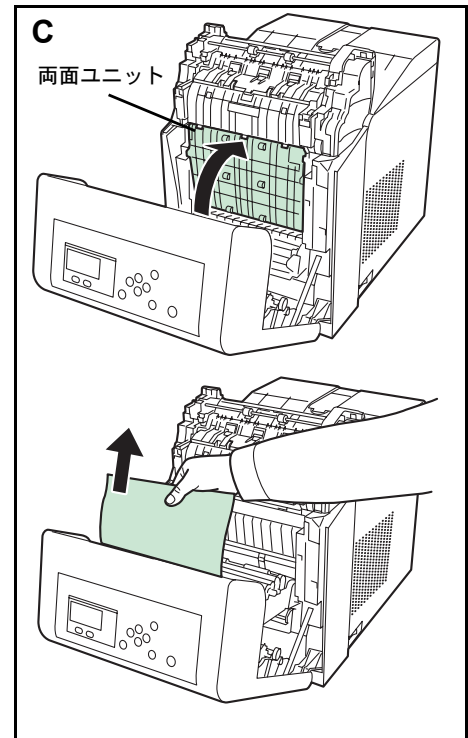
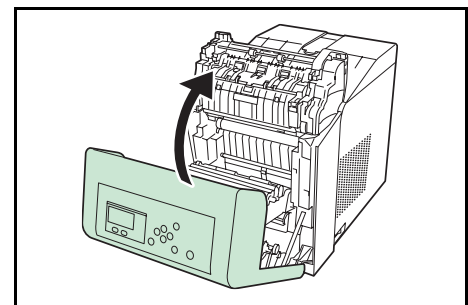
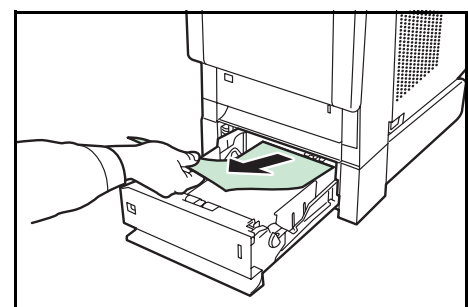



図 C のような両面ユニットに達した紙づまりの場合は、両面ユニットを持ち上げ、用紙の先端から引き出して取り除いてください。

4 前カバーを元に戻してください。

オプションカセットでの紙づまり

オプションカセットで紙づまりが起きた場合は、ペーパーカセットを引き出し、つまった用紙を取り除いてください。

付録

ここでは、プリンタに内蔵されているフォント、インタフェースの詳細、環境設定コマンド、プリンタに装着できるオプション、および本機の仕様について説明してます。

フォント

本機は、欧文アウトラインフォント（PCL、KPDL）93 書体、欧文アウトラインフォント（Windows Vista）8 書体、欧文ビットマップフォント 1 書体を搭載しています。

内蔵フォント一覧

次は、本機の内蔵フォントのリスト（一例）です。このフォントリストは、操作パネルから印刷できます。手順については、4-12 ページの**「フォントリスト」（フォントサンプルの印刷）**を参照してください。

フォントはオプションのメモリカードから、プリンタのメモリにダウンロードすることもできます。

フォントリストの印刷

一例（PCL/KPDL アウトラインフォント 93 書体、ビットマップフォント 1 書体、Windows Vista アウトラインフォント 2 書体）

AlbertusMd
ABCDEabcde?*‘012345’
AlbertusExtBd
ABCDEabcde?*‘012345’
AntiqueOlive
ABCDEabcde?*‘012345’
AntiqueOlive-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
AntiqueOlive-It
ABCDEabcde?‘012345’*
Arial
ABCDEabcde?*‘012345’
Arial-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
Arial-It
ABCDEabcde?‘012345’*
Arial-BdIt
ABCDEabcde?*‘012345’
CGOmega
ABCDEabcde?*‘012345’
CGOmega-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
CGOmega-It
ABCDEabcde?‘012345’*
CGOmega-BdIt
ABCDEabcde?*‘012345’
CGTimes
ABCDEabcde?*‘012345’
CGTimes-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
CGTimes-It
ABCDEabcde?‘012345’*
CGTimes-BdIt
ABCDEabcde?*‘012345’
Clarendon-Cd
ABCDEabcde?*‘012345’
Courier
ABCDEabcde?*`012345’
Courier-Bd
ABCDEabcde?*`012345’
Courier-It
ABCDEabcde?`012345’*
Courier-BdIt
ABCDEabcde?*`012345’
CourierPS
ABCDEabcde?*`012345’
CourierPS-Bd
ABCDEabcde?*`012345’
CourierPS-Ob
ABCDEabcde?`012345’*
CourierPS-BdOb
ABCDEabcde?*`012345’
Coronet
ABCDEabcde?‘012345’*
GaramondAntiqua
ABCDEabcde?*‘012345’
Garamond-Hlb
ABCDEabcde?*‘012345’
Garamond-Krsv
ABCDEabcde?‘012345’*
Garamond-HlbKrsv
ABCDEabcde?‘012345’*
Helvetica
ABCDEabcde?*‘012345’
Helvetica-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
Helvetica-Ob
ABCDEabcde?‘012345’*
Helvetica-BdOb
ABCDEabcde?*‘012345’
Helvetica-Nr
ABCDEabcde?*‘012345’
Helvetica-NrBd
ABCDEabcde?*‘012345’
Helvetica-NrOb
ABCDEabcde?‘012345’*
Helvetica-NrBdOb
ABCDEabcde?*‘012345’
ITCAvantGardeGothic-Bk
ABCDEabcde?*`012345’
ITCAvantGardeGothic-Dm
ABCDEabcde?*‘012345’
ITCAvantGardeGothic-BkOb
ABCDEabcde?`012345’*
ITCAvantGardeGothic-DmOb
ABCDEabcde?*‘012345’
ITCBookman-Lt
ABCDEabcde?*‘012345’
ITCBookman-Dm
ABCDEabcde?*‘012345’
ITCBookman-LtIt
ABCDEabcde?‘012345’*
ITCBookman-DmIt
ABCDEabcde?*‘012345’
ITCZapfChancery-MdIt
ABCDEabcde?‘012345’*
ITCZapfDingbats
✡✢✣✤✥❁❂✻❄❉✝☛ ✐✑➭✔✕
LetterGothic
ABCDEabcde?*‘012345’
LetterGothic-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
LetterGothic-It
ABCDEabcde?‘012345’*
Marigold
ABCDEabcde?‘012345’*
NewCenturySchoolbook-Rom
ABCDEabcde?*‘012345’
NewCenturySchoolbook-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
NewCenturySchoolbook-It
ABCDEabcde?‘012345’*
NewCenturySchoolbook-BdIt
ABCDEabcde?*‘012345’

Palatino
ABCDEabcde?*'012345'
Palatino-Bd
ABCDEabcde?*'012345'
Palatino-It
ABCDEabcde?'012345'*
Palatino-BdIt
ABCDEabcde?*'012345'
Symbol
ΑΒΧΔΕαβχδε?∗012345
SymbolPS
ΑΒΧΔΕαβχδε?∗012345
TimesNewRoman
ABCDEabcde?*'012345'
TimesNewRoman-Bd
ABCDEabcde?*'012345'
TimesNewRoman-It
ABCDEabcde?'012345'*
TimesNewRoman-BdIt
ABCDEabcde?*'012345'
Times-Rom
ABCDEabcde?*'012345'
Times-Bd
ABCDEabcde?*'012345'
Times-It
ABCDEabcde?'012345'*
Times-BdIt
ABCDEabcde?*'012345'
Univers-Md
ABCDEabcde?*'012345'
Univers-Bd
ABCDEabcde?*'012345'
Univers-MdIt
ABCDEabcde?'012345'*
Univers-BdIt
ABCDEabcde?*'012345'
Univers-MdCd
ABCDEabcde?*'012345'
Univers-BdCd
ABCDEabcde?*'012345'
Univers-MdCdIt
ABCDEabcde?'012345'*
Univers-BdCdIt
ABCDEabcde?*'012345'
Windings
✌✍✎✏♋♌♍♎✍✉❻🗀🗁🗎🗏🗐
LinePrinterBM8.5-Roman (Bitmap font)
ABCDEabcde?*'012345'

Calibri
ABCDEabcde?*'012345'
Calibri-Bd
ABCDEabcde?*'012345'
Calibri-It
ABCDEabcde?'012345'*
Calibri-BdI
ABCDEabcde?*'012345'
Cambria
ABCDEabcde?*'012345'
Cambria-Bd
ABCDEabcde?*'012345'
Cambria-It
ABCDEabcde?'012345'*
Cambria-BdIt
ABCDEabcde?*'012345'
Ryadh
ABCEDabcde?*'012345'
Ryadh-Bd
ABCEDabcde?*'012345'
Malka
ABCEDabcde?*'012345'
Malka-Bd
ABCEDabcde?*'012345'
Malka-It
ABCEDabcde?'012345'*
Dorit
ABCEDabcde?*'012345'
Dorit-Bd
ABCEDabcde?*'012345'
Naamit
ABCEDabcde?*'012345'
Naamit-Bd
ABCEDabcde?*'012345'
Naskh
ABCEDabcde?*'012345'
Naskh-Bd
ABCEDabcde?*'012345'
Koufi
ABCEDabcde?*'012345'
Koufi-Bd
ABCEDabcde?*'012345'

環境設定コマンド

本機は、印刷設定に関する各種の情報を内部メモリに記憶しています。これらの情報はプリスクライブ FRPO コマンドによって登録・変更でき、電源投入時のプリンタの初期状態として設定されます。

ここでは、FRPO コマンドとそのパラメータの使用例を説明します。

プリスクライブコマンドの詳細については、付属の CD-ROM（Product Library）に収録されている、**プリスクライブコマンド・リファレンスマニュアル**を参照してください。プリスクライブコマンドごとの書式や機能について、実行例を含めて説明しています。

環境設定コマンドの設定

現在の FRPO パラメータの設定値は、サービスステータスページで確認できます。

参考：FRPO パラメータを変更する前に、サービスステータスページを印刷しておくことをおすすめします。なお、FRPO INIT コマンドですべての FRPO パラメータを、プリンタの初期状態にもどすこともできます。（!R! FRPO INIT; EXIT;）

FRPO コマンドは次の書式で実行します。

```
!R! FRPO パラメータ , 設定値 ; EXIT;
```

例ーエミュレーションを PCL6 に設定

```
!R! FRPO P1, 6; EXIT;
```

FRPO パラメータ

項目	FRPO	設定値	工場設定
起動時のパターン解像度	B8	0:300 dpi 1:600 dpi	0
ページ方向	C1	0: 縦置き（ポートレート） 1: 横置き（ランドスケープ）	0
起動フォント†	C2 C3 C5	起動フォント番号の中 2 桁 起動フォント番号の最後 2 桁 起動フォント番号の最初の 2 桁	0 0 0
受信データバッファ容量	H8	0 ～ 99　FRPO S5 の値で積算（0: 10 K バイト）	5
タイムアウトの時間	H9	1 ～ 99　5 秒単位	6（30 秒）
両面印刷モードの選択	N4	0: オフ 1: ロングエッジモード（長辺とじ） 2: ショートエッジモード（短辺とじ）	0
スリープ時間	N5	1 ～ 240　1 分単位	45
エコプリントモード	N6	0: オフ 2: オン	2
エミュレーションモード	P1	6:PCL 6 9:KPDL	6

項目	FRPO	設定値	工場設定
キャリッジリターンの処理	P2	0: 無視 1:CR 2:CR+LF	1
改行の処理	P3	0: 無視 1:LF 2:CR+LF	1
KPDL 自動切り替え	P4	0: なし 1: 自動切り替え	0
AES オプション 自動エミュレーション切り替え（AES）が起動するページ排出コマンドおよび処理動作	P7	**AES 起動後、KPDL または代替エミュレーションのどちらにも該当しないデータは、KPDL で処理** 0: すべてのページ排出コマンド 1: なし 2: すべてのページ排出コマンドおよびプリスクライブ EXIT コマンド 3: プリスクライブ EXIT コマンドのみ 4:^L コマンドのみ 6: プリスクライブ EXIT コマンドおよび ^L コマンド **AES 起動後、KPDL または代替エミュレーションのどちらにも該当しないデータは代替エミュレーションで処理** 10:KPDL 印刷データ以外では、自動切替先エミュレーションで印刷処理	10
コマンド認識文字	P9	33 ～ 99 の ASCII コード	82（R）
用紙サイズ（起動時）	R2	0: 給紙カセットのサイズ（R4 参照） 1:Envelope Monarch 2:Envelope #10 3:Envelope DL 4:Envelope C5 5:Executive 6:Letter 7:Legal 8:ISO A4 9:JIS B5 13:ISO A5 14:ISO A6 15:JIS B6 16:Envelope #9 17:Envelope #6-3/4 18:ISO B5 19:Custom 31: はがき 32: 往復はがき 33:Oficio II 40:16K 50:Statement 51:Folio 52: 洋形 2 号（封筒） 53: 洋形 4 号（封筒）	0

項目	FRPO	設定値	工場設定
初期給紙元	R4	0: 手差しトレイ 1: カセット 1 2: カセット 2 3: カセット 3 4: カセット 4 5: カセット 5	1
手差しトレイの用紙サイズ	R7	0: 最大用紙サイズ その他のパラメータは R2 と同じ	8 (A4)
A4/Letter の共通給紙	S4	0: オフ 1: オン	1
ホストバッファサイズ積算値 (H8 の値と積算)	S5	0:10 KB 1:100 KB 2:1 MB	1
RAM ディスクサイズ	S6	0 ～ 1024　1MB 単位	400
RAM ディスクモード	S7	0: オフ 1: オン	0
ワイド A4 対応	T6	0: オフ 1: オン	0
行間隔†	U0	インチあたりの行数 / 整数部分	6
行間隔†	U1	インチあたりの行数 / 小数部分	0
文字間隔†	U2	インチあたりの文字数 / 整数部分	10
文字間隔†	U3	インチあたりの文字数 / 小数部分	0
内蔵フォントの国別コード	U6	0:US 1: フランス 2: ドイツ 3: イギリス 4: デンマーク 5: スウェーデン 6: イタリア 7: スペイン 8: 日本 9:US リーガル 10:IBM PC-850（マルチ言語） 11:IBM PC-860（ポルトガル語） 12:IBM PC-863（カナダフランス語） 13:IBM PC-865（ノルウェー語） 14: ノルウェー語 15: デンマーク語 2 16: スペイン語 2 17: ラテンアメリカ 21:US ASCII（U7=50 に設定） 77:HP Roman-8（U7=52 に設定）	0

項目	FRPO	設定値	工場設定
シンボルセット	U7	0: エミュレーションと同じ 1:IBM 6:IBM PC-8（US） 50:US ASCII（U6=21 に設定） 52:HP Roman-8（U6=77 に設定）	0
デフォルトフォントのピッチ†	U7	デフォルトフォントのピッチ設定 / 整数部分	10
デフォルトフォントのピッチ†	U8	デフォルトフォントのピッチ設定 / 小数部分	0
	U9	インチあたりの文字数／小数分：00 〜 99	0
初期 ANK アウトラインフォント･サイズ†	V0	起動時の ANK アウトラインフォント・サイズの整数 上位 2 桁 / 設定有効範囲値：00 〜 09	0
	V1	起動時の ANK アウトラインフォント・サイズの整数 下位 2 桁 / 設定有効範囲値：00 〜 99	12
	V2	起動時の ANK アウトラインフォント・サイズの小数 2 桁 設定有効値：00, 25, 50, 75	0
初期 ANK アウトラインフォント名†	V3	起動時の ANK アウトラインフォント名	Courier
クーリエおよびレターゴシックのフォントタイプ選択	V9	0: クーリエ＝ダーク レターゴシック＝ダーク 1: クーリエ＝レギュラー レターゴシック＝ダーク 4: クーリエ＝ダーク レターゴシック＝レギュラー 5: クーリエ＝レギュラー レターゴシック＝レギュラー	5
カラーモード	W1	0: シロクロ 1: カラー	1
光沢モード	W6	0: なし 1: 光沢モードオン	0
用紙種類（手差しトレイ）	X0	1: 普通紙 2:OHP シート 3: プレ印刷用紙 4: ラベル用紙 5: ボンド紙 6: 再生紙 7: 薄い用紙 9: レターヘッド 10: カラー紙 11: パンチ済み用紙 12: 封筒 13: はがき 14: コート紙 16: 厚い用紙 17: 上質紙 21 〜 28: カスタム 1 〜カスタム 8	1

項目	FRPO	設定値	工場設定
用紙種類（本体カセット 1）	X1	1: 普通紙 3: プレ印刷用紙 5: ボンド紙 6: 再生紙 9: レターヘッド 10: カラー紙 11: パンチ済み用紙 17: 上質紙 21 ～ 28: カスタム 1 ～カスタム 8	1
用紙種類（カセット 2、3、4、5）	X2 X3 X4 X5	（PF-500 の場合） 1: 普通紙 3: プレ印刷用紙 5: ボンド紙 6: 再生紙 9: レターヘッド 10: カラー紙 11: パンチ済み用紙 17: 上質紙 21 ～ 28: カスタム 1 ～カスタム 8 （PF-510 の場合） 1: 普通紙 3: プレ印刷用紙 4: ラベル用紙 5: ボンド紙 6: 再生紙 7: 薄い用紙 9: レターヘッド 10: カラー紙 11: パンチ済み用紙 12: 封筒 13: はがき 14: コート紙 16: 厚い用紙 17: 上質紙 21 ～ 28: カスタム 1 ～カスタム 8	1
給紙カセット選択モード（PCL）	X9	0: 用紙種類の設定によって給紙カセットを切り替え 1: カセットの用紙サイズによって自動的に給紙カセットを切り替え	0
エラー時のオートエラークリア（［**印刷可 / 解除**］キーを押して解除するエラーのみ）	Y0	0: オフ 1: オン	0
オートエラークリアのエラー解除時間	Y1	1 ～ 99　5 秒単位	6（30 秒）
両面印刷時の用紙エラー検知 給紙元固定時の用紙サイズ・種類のエラー検知	Y3	0: 検知しない 1: 検知する	0

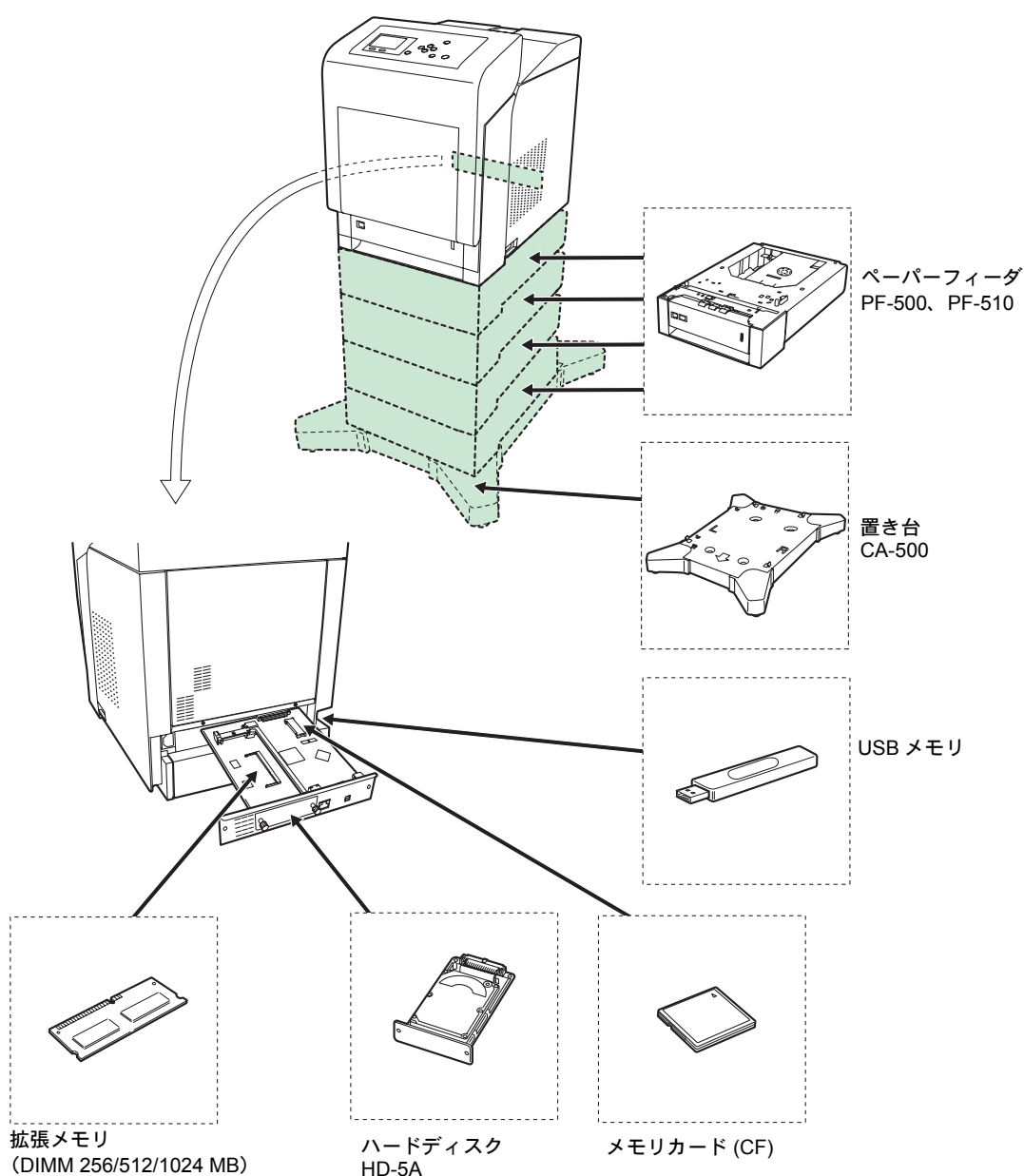
項目	FRPO	設定値	工場設定
強制両面印刷設定（用紙種類が**プレプリント**、**パンチズミシ**および**レターヘッド**のみ）	Y4	0: オフ 1: オン	0
PDF ダイレクト動作	Y5	0: 用紙に合わせて拡大縮小 1:PDF 内の紙サイズ指定で用紙選択 2:PDF 内の紙サイズ指定によって、A3、A4、Letter から選択し、用紙に合わせて拡大縮小 3:PDF 内の紙サイズ指定で、A3、A4、Letter から印刷 8: 等倍で印刷 9:PDF 内の紙サイズ指定によって、Letter、Legal、A4 から選択 10:PDF 内の紙サイズ指定によって、Letter、Legal、A4 から選択し、用紙に合わせて拡大縮小 13 ～ 99：初期値（0）と同じ動作	0
ジョブボックス　エラー制御	Y6	0: エラー制御をしない 1: エラーレポートを出力する 2: エラーを表示する 3: エラーを表示、およびエラーレポートを出力する	3

† エミュレーションによっては無視されます。

オプションについて

本機は次のオプションが取り付け可能です。お客様の印刷上の用途に適したオプションをお選びください。
オプションの入手方法などについては、京セラミタジャパン株式会社正規特約店または弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。電話番号は最終ページを参照してください。

参考：プリンタの本体内に装着する拡張メモリなどは、外部に装着するオプション機器よりも先に装着してください。

オプションの取り付け手順について、詳しくは各オプション付属の説明書を参照してください。

拡張メモリ

メモリを増設するとより複雑なデータの印刷が可能になります。

本機にはメモリ増設のために空きスロットが用意されています。メイン基板にあるスロットにオプションの拡張メモリを装着することで、最大 1280MB までプリンタのメモリを拡張できます。

重要：拡張メモリの増設は京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へお申し付けください。電話番号は最終ページを参照してください。お客様自身が装着を行って起きた破損、障害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

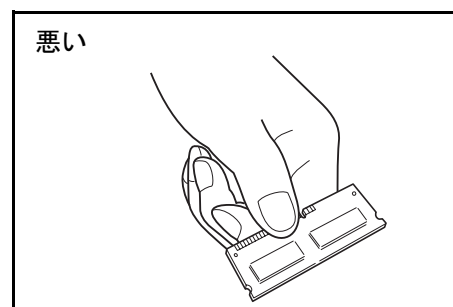
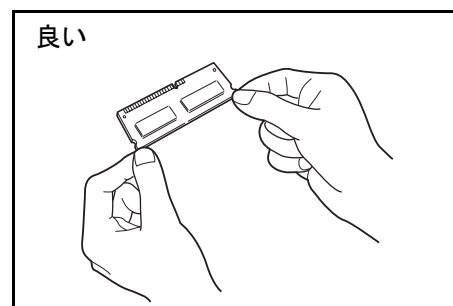
参考：メモリを 1280MB に増設するときは、1024MB のメモリを追加装着します。（出荷時は、256MB のメモリが装着されています。）

対応拡張メモリ

拡張メモリには、256 MB、512 MB、1024MB があります。詳しくは京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へお問い合わせください。電話番号は最終ページを参照してください。

メイン基板およびメモリ取り扱い上の注意

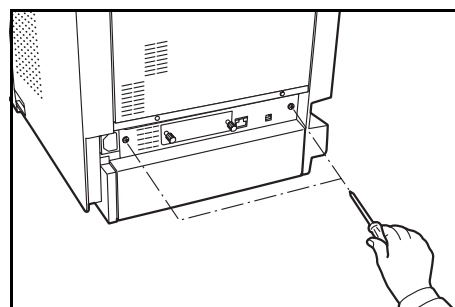
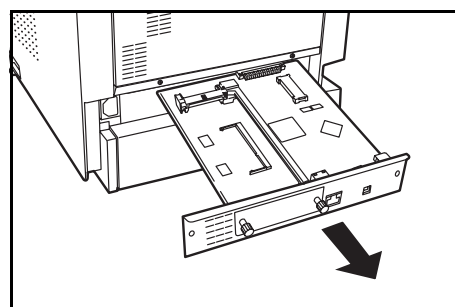
衣類やカーペットなどを通して人体に蓄積される静電気は、半導体チップを数多く搭載したメモリには大敵です。静電気による破壊からメモリを保護するために、装着前に次の事柄にご注意ください。

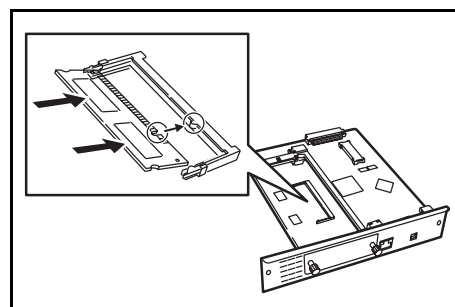
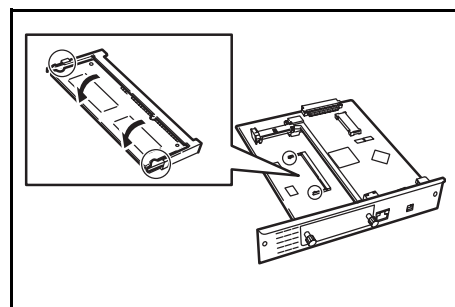
- メモリは、プリンタに装着する直前まで静電気防止袋より取り出さないでください。
- メモリに触れる前に、水道の蛇口や金属製のものに触って人体の静電気を除去してください。できれば、静電気対策用のリストバンドを手首にお付けください。
- メモリを取り扱う際は、図のようにプリント配線部分には触れずに必ず基板の端を持ってください。メイン基板も電子部品を傷めないように端を持ってください。

メモリの取り付け

重要：メイン基板をプリンタより引き出す際には、プリンタ後面に十分なスペースを確保してから行ってください。万一異物がメイン基板に接触した場合には、プリンタが破損するおそれがあります。

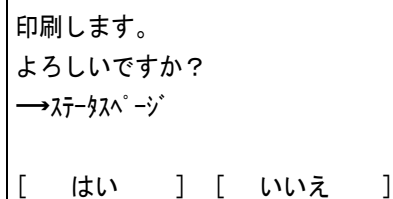
プリンタの USB メモリスロットに、USB メモリを装着している場合には取り外してください。

1 プリンタの電源を切り、電源コードとプリンタに接続しているケーブルをすべて取り外してください。

2 プリンタ背面にあるメイン基板の取り付けネジ 2 本を外してください。

3 メイン基板をプリンタからゆっくりと引き出してください。

4 オプションの拡張メモリをパッケージから取り出してください。メモリの端子部を下側にし、切り欠き部分とソケットの突起部分を合わせて斜めにまっすぐ奥まで差し込んでください。

注意：メモリソケットに対して、逆向きに取り付けないでください。

5 拡張メモリをソケット部を支点にし、メイン基板と水平の位置まで倒してフックに固定してください。

6 拡張メモリの装着後、メイン基板を取り外したときと逆の手順でプリンタに装着し、ネジで固定してください。

メモリの取り外し

取り付けたメモリを取り外す場合は、メイン基板を取り外し、ソケット両端にあるストッパを外側に開いてください。拡張メモリをソケットから外すことができます。

拡張メモリの確認

拡張メモリを装着してから、正しく装着されたかどうか、次の方法で確認してください。

1 レポート印刷メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「ｽﾃｰﾀｽﾍﾟｰｼﾞ」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認メッセージが表示されます。

3 ［はい］([Left Select]) キーを押してください。「受け付けました。」が表示され、ステータスページを印刷します。

印刷されたステータスページで、メモリの量を確認してください。メモリの増設が正しく行われていれば、トータルメモリの数値が増加しています。（工場出荷時、メモリの量は 256 MB です。）

メモリカード

メモリカード（最大 4 GB）は、メイン基板にあるメモリカードスロットに差し込みます。メモリカードはオプションフォント、マクロ、フォームなどを書き込めるマイクロチップカードです。

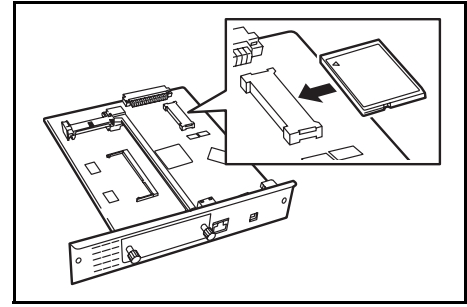
メモリカードの読み込み

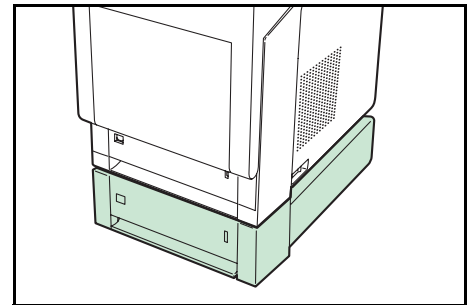
プリンタの電源を入れるとメモリカードの内容が、プリンタに読み込まれます。

メモリカードのフォーマット

未使用のメモリカードを使用するためには、最初に本機でメモリカードのフォーマットを行う必要があります。操作手順については、4-66 ページの「**メモリカードフォーマット**」（**メモリカードのフォーマット**）を参照してください。

1 プリンタの電源を切ってから電源コードを抜き、メイン基板を取り外します。メイン基板の取り外しは、前述の**メモリの取り付け**を参考にしてください。

2 メモリカードをメモリカードスロットに差し込みます。

ペーパーフィーダ（PF-500、PF-510）

オプションの**ペーパーフィーダ** PF-500（**普通紙用**）、PF-510（**多用途メディア用**）には約 500 枚の用紙が収納できます。プリンタの下に 4 台まで重ねて装着できるので、プリンタの給紙カセットと合わせると最大 2500 枚を連続給紙できます。

注意：ペーパーフィーダへの給紙は、印刷面を上に収納してください。

ペーパーフィーダ付属の給紙カセットで、使用できる用紙は以下の通りです。

PF-500：

用紙サイズ：Envelope Monarch、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope DL、Envelope C5、ISO A5、JIS B5、ISO B5、ISO A4、Executive、Letter、Legal、往復はがき、Oficio II、Statement、Folio、洋形 2 号、洋形 4 号、16K、Other（92 mm × 162 mm ～ 216 mm × 356 mm）

用紙種類：普通紙、プレ印刷紙、ボンド紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み用紙、カラー印刷用紙、カスタム１（～８）

PF-510：

用紙サイズ：Envelope Monarch、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope DL、Envelope C5、ISO A5、JIS B5、ISO B5、ISO A4、Executive、Letter、Legal、往復はがき、Oficio II、Statement、Folio、洋形 2 号、洋形 4 号、16K、Other（92 mm × 162 mm ～ 216 mm × 356 mm）

用紙種類：普通紙、プレ印刷紙、ラベル用紙、ボンド紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み用紙、封筒、はがき、コート紙、厚紙、カラー印刷用紙、カスタム１（～８）

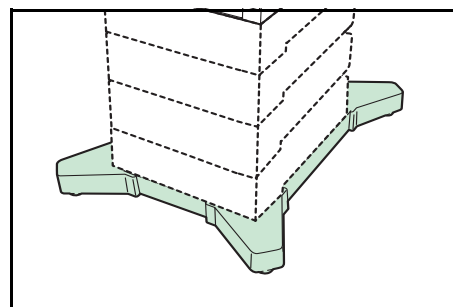
ペーパーフィーダの取り付け手順については、ペーパーフィーダ付属の**インストールガイド**を参照してください。

注意：ペーパーフィーダは、据わりのよい机、置き台の上に設置し、安定を図ってお使いください。

置き台（CA-500）

オプションの**ペーパーフィーダ** PF-500（**普通紙用**）、PF-510（**多用途メディア用**）を接続しフロアに設置する場合、専用の置き台を機器の安定を図るためにお使いください。

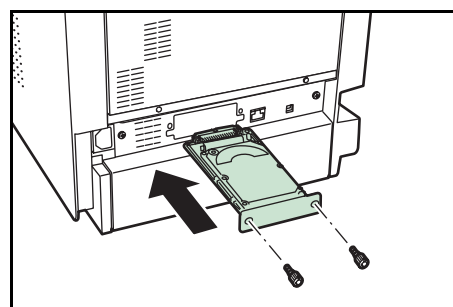
置き台の取り付け手順については、置き台付属の**インストールガイド**を参照してください。

注意：置き台の足につまずかないようご注意ください。

ハードディスク（HD-5A）

ハードディスクは印刷データの保存に使います。複数部印刷する時は、電子ソート機能で高速な印刷が可能になるなどのメリットがあります。また、ジョブボックス機能を使用する場合は、ハードディスクが必要です。

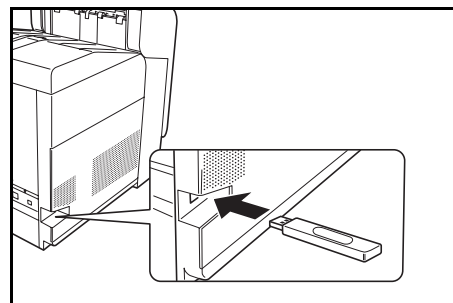
1. プリンタ背面にあるオプションインターフェーススロットの取り付けネジをゆるめ、カバーを外してください。
2. ハードディスクをプリンタに装着し、ネジで固定してください。

装着後は、プリンタの操作パネルや KM-NET Viewer でフォーマットを行ってください。

ハードディスクをプリンタに装着する際は、プリンタの電源を切り、電源コードを抜いて行ってください。

USB メモリ

USB メモリは、USB メモリスロットに接続して使用する、持ち運びが簡単なフラッシュメモリです。USB メモリを本体に装着し、印刷したいファイル名を操作パネルから指定することで、ファイルを印刷できます。

表示されるファイル名は、PDF、TIFF、JPEG、XPS ファイルの場合です。

USB メモリが印刷できるファイル数は、最大 100 件です。ファイル名が半角英数字で 99 文字までのファイルであれば印刷できます。ただし、メッセージディスプレイには 12 文字までしか表示されないため、13 文字以上のファイルはメッセージディスプレイで識別できません。

ファイル名に漢字やひらがななどの 2 バイト文字が含まれていると、メッセージリストで 2 バイト文字が文字化けして表示されます。また、印刷を実行するとエラーメッセージが表示され、印刷ができません。

USB メモリ内の PDF ファイルを印刷する操作については、**4 操作パネル USB メモリファイルの印刷**を参照してください。

使用できる USB メモリについては、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社)、または当社お客様相談窓口へお問い合わせください。電話番号は最終ページを参照してください。

仕様

重要：本機の仕様は改良などのために予告なしに変更することがあります。

項目		仕様
印刷方式		レーザ露光方式乾式静電転写方式、 4 連タンデム中間転写方式
印刷速度		A4：35 ページ / 分 Letter：37 ページ / 分
両面印刷速度		A4：35 ページ / 分 Letter：37 ページ / 分
解像度		600 dpi
ファースト プリント（A4、23 ℃、60%RH）		モノクロ 8 秒 / カラー 9 秒 （スリープモード時：54 秒）
ウォームアップ 時間（22 ℃、60%RH）		スリープから（3 時間以内）：45 秒以下 電源 ON から：約 60 秒以下
CPU		PowerPC750FL (733 MHz)
メインメモリ		256 MB（最大 1280 MB）
OS		Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003、 Mac OS 10.x
インタフェース	USB	Hi-Speed USB
	ネットワーク	プロトコルサポート：TCP/IP、TCP/IP(IPv6)、NetWare、IPP、SSL サーバ、AppleTalk
メモリカードスロット		1（コンパクトフラッシュ、4 GB 以下）
最大印刷許容 ページ枚数		瞬間最大印字枚数：150000 枚 / 月（標準 A4 普通紙）
		平均最大印字枚数：5000 枚 / 月（標準 A4 普通紙）
用紙サイズ	給紙カセット（本体）	Envelope C5、A6、A5、B5、ISO B5、A4、Executive、Letter、Legal、カスタム、Oficio II、Statement、Folio、16K
	給紙カセット（オプション、ペーパーフィーダ＜ PF-500、PF-510 ＞）	Envelope Monarch、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope DL、Envelope C5、A5、B5、ISO B5、A4、Executive、Letter、Legal、カスタム、往復はがき、Oficio II、Statement、Folio、洋形 2 号、洋形 4 号、16K
	手差しトレイ	Envelope Monarch、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope DL、Envelope C5、A6、B6、A5、B5、ISO B5、A4、Executive、Letter、Legal、カスタム、はがき、往復はがき、Oficio II、Statement、Folio、洋形 2 号、洋形 4 号、16K
用紙種類†	給紙カセット（本体、オプション、ペーパーフィーダ＜ PF-500 ＞）	普通紙、プレ印刷用紙、ボンド紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み用紙、カラー印刷用紙、カスタム 1（～ 8）
	給紙カセット（オプション、ペーパーフィーダ＜ PF-510 ＞）	普通紙、プレ印刷用紙、ラベル用紙、ボンド紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み用紙、封筒、はがき、コート紙、厚紙、カラー印刷用紙、カスタム 1（～ 8）

項目		仕様
用紙種類	手差しトレイ	普通紙、OHP フィルム、プレ印刷用紙、ラベル用紙、ボンド紙、再生紙、薄紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み用紙、封筒、はがき、コート紙、厚紙、カラー印刷用紙、カスタム 1（～ 8）
用紙容量	給紙カセット	500 枚
	手差しトレイ	150 枚
印刷不能領域		上下左右マージン 4 mm
排紙トレイ容量	上トレイ	500 枚（80 g/m²）
設置環境	温度	10 ～ 32.5 ℃
	湿度	15 ～ 80 %RH
	海抜	2000 m 以下
	照度	1,500 lux 以下
電源		AC100 V、50/60 Hz
消費電力	最大消費電力	1153 W 以下
	通常使用時	426 W
	待機時	70 W
	スリープモード時	7 W
	電源オフ時	0 W
稼動音††	プリント時	55 dB（A）
	待機時	36 dB（A）
	スリープモード時	測定限界以下
外形寸法	本体	幅 345 ×高さ 518 ×奥行き 510 mm
質量	本体	37 kg（トナーコンテナを除く）

† カスタム 1（～ 8）を使用する場合、105 mm × 148 mm より小さいサイズの用紙は手差しトレイをお使いください。手差しトレイは、70 mm × 138 mm 以上のサイズの用紙を使用することができます。

†† ISO7779 に準拠（バイスタンド位置、正面音圧レベル）

用語集

AppleTalk

Macintosh とプリンタでデータを転送するプロトコルです。Macintosh を複数台接続したり、プリンタを共有する際に使われます。

bpp（bits per pixel）

色深度を表す単位です。1 ピクセル当たりのビット数を表します。4 bpp の場合は 16 階調になります。

dpi（dots per inch）

解像度を表す単位です。1 インチ（25.4 mm）当たりのドット数を表します。

KM-NET for Direct Printing

Adobe Acrobat/Adobe Reader を起動せずに、PDF ファイルを印刷できるユーティリティです。付属の CD-ROM に収録されています。

KM-NET VIEWER

ネットワーク上のプリンタの状態を確認できるネットワークマネージメントツールです。付属の CD-ROM に収録されています。

KPDL

本機に搭載されている PostScript 3 互換のページ記述言語です。アウトラインフォントや図形の印刷に高い機能を持ちます。

PCL

ページ記述言語のひとつです。TrueType フォントをプリンタで扱える機能などがあります。本機は PCL6 エミュレーションモードを搭載しています。

PostScript

印刷物の出力などで一般的なページ記述言語のひとつです。本機は PostScript 互換のページ記述言語 KPDL を搭載しています。

RAM ディスク

プリンタのメモリの一部を利用した仮想ディスクで、プリンタの総メモリの中から、任意のメモリサイズを RAM ディスクとして設定することによって、電子ソート（印刷時間の短縮）などの機能が使えるようになります。

TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

PC とプリンタでデータを転送するプロトコルです。PC を複数台接続したり、プリンタを共有する際に使われます。

USB

プリンタと PC を接続するインタフェースです。本機は Hi-Speed モードに対応し、最大 480 Mbps のデータ転送ができます。

アウトラインフォント

フォントの輪郭を数式によって記録しており、拡大しても輪郭のなめらかな美しい印刷が行えます。フォントサイズは 0.25 ポイント単位で最大 999.75 ポイントまで設定できます。

エミュレーション

他のプリンタのページ言語を解釈し、実行する機能です。本機は PCL 6、KPDL のエミュレーションを備えています。

オートスリープ

プリンタ本体の操作やデータの送受信が一定の時間行われないと起動されます。スリープモード時は電力の消費は最小に抑えられます。

拡張メモリ

本機は 1 つの拡張スロットを装備しており増設できます。使用できる DIMM については京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。電話番号は最終ページを参照してください。

環境設定コマンド（FRPO コマンド）

本機は印刷設定を内部のメモリに記憶しています。環境設定コマンドで設定すると、電源を入れたときの初期設定にすることができます。

ジョブボックス

印刷データを本機に保存し、後から操作パネルで印刷したり、複数部印刷したりできる機能です。

ステータスページ

プリンタに関する様々な情報を確認することができるページです。

プリスクライブ（PRESCRIBE）コマンド

京セラミタプリンタに搭載されている独自のプリンタ制御言語で、プリンタに必要な様々な設定を行うことができます。また、ニーモニックで記述されたわかりやすいコマンドであるため、プログラミングを容易にします。

プリンタドライバ

アプリケーションで作成したデータを印刷するために使用するソフトウェアです。付属の CD-ROM に収録されています。

ラスタライズ

文字や画像の印刷データを、プリンタで印刷するためにビットマップデータとして表現することです。

索引

印字品質を維持するため、京セラミタ・純正トナーコンテナの使用をお勧めします。

京セラミタ製品には、数々の品質検査をパスした純正トナーをご使用ください。
純正以外のトナーを使用した場合、故障の原因となることがあります。
純正トナー以外の使用により、不具合が生じた場合、保証期間内であっても責任を負いかねます。

QUALITY CERTIFICATE

この製品はすべての品質管理および最終検査に合格しました。